

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		()	
実施計画 掲載ページ	P 63		中 事 業	民生委員関係費				
事業コード	004-001-001-00088		事 業 名	民生委員・児童委員関係事業				
目的及び事業内容	民生委員法及び児童福祉法に基づき、社会の奉仕者として厚生労働大臣から委嘱を受け、配置されている「民生委員・児童委員」の活動を推進し、社会福祉の向上を図るため、石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付する。また、民生委員推薦会を開催し、後候補者を県に進達する。							
取組実績	<p>1 石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金の交付 (1) 活動費 @38,700円×実数347人=13,428,900円 (2) その他の経費 「民生委員・児童委員の日」啓発活動費 100,000円 ・委員活動や各地区民児協の取組み等を掲載した広報誌の発行（年2回・計1,000部発行）</p> <p>2 委嘱状況 (1) 令和元年12月1日一斉改選により330人を委嘱（任期3年：R1.12.1～R4.11.30）</p> <p>3 民生委員・児童委員の欠員数 41人（うち8人は復興枠）令和2年3月末現在</p>							
成 果	石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金を交付することで、各種活動を支援することができたほか、職務遂行に必要な知識及び技術の習得により相談援助の推進を図ることができた。							
成果に係る評価	<p>委員を配置することにより、地域の見守り活動の推進が図られ、困っている住民の身近な相談役として必要な支援に繋ぐなど、地域での役割も大きくなっており、地域福祉の向上のためにも本事業の継続が必要である。</p> <p>また、欠員地区については、随時自治会長に状況確認し、推薦依頼を継続するとともに、地域福祉コーディネーターと欠員地区の現状を情報共有する必要がある。</p> <p>活動費については、県内他市町村と比較し低水準となっていることから、計画的に増額し委員の負担軽減を図る。</p>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	14,533,591	13,902,857	12,000			13,890,857		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()													
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		()													
実施計画 掲載ページ	P 64		中 事 業	社会福祉関係補助成費																
事業コード	004-001-001-00089		事 業 名	社会福祉協議会運営費補助事業																
目的及び事業内容	石巻市社会福祉協議会が行う事務事業等の運営費の一部を補助することにより、地域福祉の増進を図る。																			
取組実績	<p>石巻市社会福祉協議会の本所・支所職員に係る人件費相当分の一部を補助金として交付した。</p> <p>補助金交付額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助額</th> <th>主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>148,510,320円</td> <td>補助対象人数29名</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>174,763,921円</td> <td>補助対象人数35名（復興事業縮小に伴い補助対象6名分増）</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>174,966,497円</td> <td>補助対象人数35名</td> </tr> </tbody> </table>								年度	補助額	主な増減理由	H29	148,510,320円	補助対象人数29名	H30	174,763,921円	補助対象人数35名（復興事業縮小に伴い補助対象6名分増）	R1	174,966,497円	補助対象人数35名
年度	補助額	主な増減理由																		
H29	148,510,320円	補助対象人数29名																		
H30	174,763,921円	補助対象人数35名（復興事業縮小に伴い補助対象6名分増）																		
R1	174,966,497円	補助対象人数35名																		
成 果	人口減少や少子高齢化、核家族化などにより、地域コミュニティの希薄化などが進展する中で、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりや包括的な支援体制の構築の推進を図る上で、地域福祉の中核を担う石巻市社会福祉協議会に運営費の一部を補助することで、事業の安定的な運営が確保され、地域住民や関係団体との連携及び協働による本市の社会福祉の推進が図られた。																			
成果に係る評価	<p>地域住民とともに地域福祉の推進を図るために、本市と石巻市社会福祉協議会の連携した取組が必要不可欠であることから、地域福祉計画の基本理念である「いつも自分らしく生きるために、みんなで支え合う地域づくり」の実現に向けて事業を継続する必要がある。</p> <p>また、今後の補助金のあり方については、石巻市社会福祉協議会で作成予定の「職員適正化計画」を精査しながら、他市の補助金の交付要件等も参考に適正な補助金について検討する必要がある。</p>																			
（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	187,391,000	174,966,497				174,966,497														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		()	
実施計画 掲載ページ		P 64		中 事 業	地域福祉推進関係費			
事業コード		004-001-001-00563		事 業 名	地域福祉計画策定事業			
目的及び事業内容		石巻市地域福祉委員会を開催し、本市地域福祉計画の進行管理を行い、地域共生社会の実現に向け、みんなで支え合う地域づくりを推進する。						
取 組 実 績		<p>1 地域福祉委員会の開催</p> <p>(1) 第4回地域福祉委員会 (委員任期：H29.11.1～R1.10.31) 日時：令和元年7月5日 内容：①第3期計画に係る事業の進捗管理について審議した。 ②生活困窮者自立支援制度について講話等により理解を深めた。</p> <p>(2) 第1回地域福祉委員会 (委員任期：R1.11.1～R4.3.31) ※条例化に伴い令和2年4月1日から新たに2年間の委員委嘱 日時：令和元年11月5日 内容：①地域福祉計画について説明を行い、地域共生社会の実現に向けて共通認識を図った。 ②第4期計画へ地域共生社会の理念を盛り込むため、現状について意見交換を行った。</p>						
成 果		第3期計画（平成29年度～令和3年度）で掲げている各種事業の実施状況を確認するとともに、第4期計画（令和4年度～令和8年度）の策定スケジュールについても審議した。 第4期計画では、地域包括ケアシステムをより深化させることが求められるため、今期から地域包括ケアを推進する関係団体に所属する者も委員に含め、地域共生社会の実現に向けた活発な意見交換がなされ、委員会内での意識醸成が図られた。						
成果に係る評価		第4期計画の策定に当たっては、地域共生社会の実現に向け、第3期計画で取り組んだ事業の評価や課題を整理し、関係団体から意見聴取しながら進めていく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	548,000		406,311					406,311

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																					
	1 項	社会福祉費		第7節	災害に対する備えを充実する		()																																					
	1 目	社会福祉総務費		(3)	防災意識の向上と円滑な避難体制をつくる		()																																					
実施計画 掲載ページ		P 107		中 事 業	避難行動要支援者支援事業費																																							
事業コード		004-007-003-00105		事 業 名	避難行動要支援者支援事業																																							
目的及び事業内容		避難行動要支援者の安否確認や避難支援を円滑に行うため、要支援者の登録や避難支援関係機関との情報共有、地域における支援体制づくりを推進する。																																										
取 組 実 績		<p>1 年度別登録者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>4,481人</td> <td>3,228人</td> <td>181人</td> <td>86人</td> <td>702人</td> <td>173人</td> <td>62人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,267人</td> <td>3,097人</td> <td>167人</td> <td>80人</td> <td>668人</td> <td>155人</td> <td>56人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4,030人</td> <td>2,947人</td> <td>158人</td> <td>75人</td> <td>613人</td> <td>142人</td> <td>52人</td> <td>43人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※要支援者の名簿登録者数は減少傾向にあるが、新規登録者数よりも死亡者及び転出者が上回っていることが要因である。</p> <p>2 令和元年度取組実績</p> <p>(1) 地域における支援体制づくりを推進するため、自治会に対する避難行動要支援者制度の説明を実施した。</p> <p>(2) 民生委員の協力を得て、要支援者情報の更新作業を実施した。</p> <p>(3) 民生委員に対して要配慮者名簿（70歳以上の高齢世帯）を提供した。</p> <p>(4) 自治会、民生委員等を対象とした要支援者支援に関する研修会を実施した。（188名、107団体参加）</p>							年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	H29	4,481人	3,228人	181人	86人	702人	173人	62人	49人	H30	4,267人	3,097人	167人	80人	668人	155人	56人	44人	R1	4,030人	2,947人	158人	75人	613人	142人	52人	43人
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																				
H29	4,481人	3,228人	181人	86人	702人	173人	62人	49人																																				
H30	4,267人	3,097人	167人	80人	668人	155人	56人	44人																																				
R1	4,030人	2,947人	158人	75人	613人	142人	52人	43人																																				
成 果		民生委員の協力を得て、要支援者の現況確認及び登録者情報の更新作業を行った。 また、課題としていた地域の特色に合わせた支援体制づくりを進めていくため、安全な避難支援のあり方を学ぶ機会を提供し、自身の生命と安全を最優先とする基本原則の周知を目的とする研修会を、民生委員や自治会等の避難支援関係者を対象に開催した。																																										
成果に係る評価		自治会への名簿配付率については、顔の見える関係性が構築されているなどの理由から要支援者名簿を必要としない地域もあるため40%台となっているが、要支援者の支援に関する周知・啓発により地域の特色に合わせた避難支援体制づくりの意識醸成を図るために事業を継続する必要がある。 さらに、地域での名簿を活用した実効性のある取組に繋げていく必要がある。																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	1,061,000		1,049,337					1,049,337																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																																																																																									
	1 項	社会福祉費		第2節	いきいきと働ける就業環境を創出する		()																																																																																																									
	1 目	社会福祉総務費		(1)	多様なニーズに対応した就業支援を推進する		()																																																																																																									
実施計画掲載ページ		P 43	中 事 業	地域包括ケア推進事業費																																																																																																												
事業コード	003-002-001-01128	事 業 名	奨学金返還支援事業																																																																																																													
目的及び事業内容	<p>地域包括ケアを推進していく上で必要となる医療・福祉・介護職の人材確保と定住促進を図るため、市が定める資格を有し、市内居住及び市内事業所で就労する者に対し、その者が自ら貸与された奨学金を返還した場合に、年額20万円を上限に最長3年間、助成金を交付する。</p> <p>※市が定める資格 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士</p>																																																																																																															
取組実績	1 奨学金返還支援事業助成金の交付																																																																																																															
	・交付実績																																																																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付者数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>19人</td> <td>2,143,594円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>55人</td> <td>6,712,155円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>74人</td> <td>11,297,029円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>99人</td> <td>13,225,364円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	交付者数	交付額	H28	19人	2,143,594円	H29	55人	6,712,155円	H30	74人	11,297,029円	R1	99人	13,225,364円																																																																																									
区分	交付者数	交付額																																																																																																														
H28	19人	2,143,594円																																																																																																														
H29	55人	6,712,155円																																																																																																														
H30	74人	11,297,029円																																																																																																														
R1	99人	13,225,364円																																																																																																														
・助成金交付者の保有資格内訳																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資格</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>9人</td> <td>21人</td> <td>5人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>7人</td> <td>13人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>精神保健福祉士</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> <td>10人</td> <td>13人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19人</td> <td>36人</td> <td>19人</td> <td>25人</td> <td>49人</td> <td>39人</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table>								資格	H28		H29		H30		R1		新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	看護師	12人	15人	11人	9人	21人	5人	24人	保健師	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	助産師	0人	0人	2人	0人	2人	0人	2人	理学療法士	1人	6人	1人	4人	7人	13人	10人	作業療法士	2人	3人	2人	3人	5人	3人	7人	言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	社会福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	介護福祉士	2人	1人	2人	2人	2人	3人	3人	精神保健福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	保育士	0人	10人	0人	5人	10人	13人	11人	合計	19人	36人	19人	25人	49人	39人	60人
資格	H28		H29		H30		R1																																																																																																									
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続																																																																																																								
看護師	12人	15人	11人	9人	21人	5人	24人																																																																																																									
保健師	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人																																																																																																									
助産師	0人	0人	2人	0人	2人	0人	2人																																																																																																									
理学療法士	1人	6人	1人	4人	7人	13人	10人																																																																																																									
作業療法士	2人	3人	2人	3人	5人	3人	7人																																																																																																									
言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人																																																																																																									
社会福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	1人																																																																																																									
介護福祉士	2人	1人	2人	2人	2人	3人	3人																																																																																																									
精神保健福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人																																																																																																									
保育士	0人	10人	0人	5人	10人	13人	11人																																																																																																									
合計	19人	36人	19人	25人	49人	39人	60人																																																																																																									
2 事業の周知活動																																																																																																																
<ul style="list-style-type: none"> 市報、市ホームページ及び日本学生支援機構ホームページに掲載 関係団体への周知依頼とパンフレットの設置 (石巻市医師会及び桃生郡医師会、石巻市社会福祉協議会、ハローワーク石巻等65団体) 																																																																																																																
成 果	令和元年度の新規助成金交付者数は39人と前年度に比べ大幅に増加したことで、平成28年度からの新規助成金交付者数は119人となり、医療・福祉・介護職の人材の確保が図られた。																																																																																																															
成果に係る評価	制度創設から4年が経過し、市内事業所による本制度を活用した採用活動や各関係機関への広報活動により制度の周知が進んだこともあり、新規助成金交付者数の増加がみられている。しかし、全国的な医療・福祉・介護の分野における専門職の人材不足の状況の中、制度創設時の目標である180人の人材確保に向け今後も積極的な周知を実施していく必要がある。																																																																																																															
(単位：円)																																																																																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																										
	14,402,000	13,225,364			3,100,000	10,125,364																																																																																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																
	1 項	社会福祉費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		()																																
	1 目	社会福祉総務費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		()																																
実施計画掲載ページ		P 73	中 事 業	地域包括ケア推進事業費																																			
事業コード	004-002-001-01063	事 業 名	共生型地域包括ケアサービス事業																																				
目的及び事業内容	<p>牡鹿地区において、高齢者のみならず、障がい者や子ども等も対象とした「共生型」の通所サービスを提供し、保健・福祉を必要とする人たちの居場所の確保と見守り等を行いながら、利用者の生活の質の向上、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。</p>																																						
取組実績	1 実施場所 牡鹿保健福祉センター「清優館」																																						
	<p>2 実施回数 年間55回</p> <p>3 利用登録者数 50人 (男 13人・女 37人) ※うち、障がい者は、男 8人・女 8人</p> <p>4 利用延べ人数 725人 (男 123人・女 602人)</p> <p>5 サービス実施内容 (1) 生活や健康に関する相談・指導等 (2) 健康状態の確認(血圧測定、脈拍測定等) (3) 日常動作訓練(健康体操、転倒防止体操等) (4) 教養講座・制作活動・その他レクリエーション等 (5) 利用者の送迎 (6) 昼食サービスほか</p>																																						
成 果	障がい者福祉サービス事業所の利用者が毎月参加し、地域の高齢者と一緒に制作活動やレクリエーションを行うなど利用者相互の交流が見られ、心身機能の維持向上等が図られた。																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th colspan="2">利用延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>62回</td> <td>600人</td> <td>455人</td> <td>75.8%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>598人</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>552人</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>543人</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>55回</td> <td>600人</td> <td>725人</td> <td>120.8%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	実施回数	利用延べ人数		達成率	目標	実績	H27	62回	600人	455人	75.8%	H28	60回	600人	598人	99.7%	H29	60回	600人	552人	92.0%	H30	60回	600人	543人	90.5%	R1	55回	600人	725人
区分	実施回数	利用延べ人数		達成率																																			
		目標	実績																																				
H27	62回	600人	455人	75.8%																																			
H28	60回	600人	598人	99.7%																																			
H29	60回	600人	552人	92.0%																																			
H30	60回	600人	543人	90.5%																																			
R1	55回	600人	725人	120.8%																																			
成果に係る評価	利用実績が目標を上回り、共生型デイサービスとして定着してきており、利用者の生きがいづくりや介護予防の点からも有用な事業であると言える。今後は地域包括ケアの観点から、地域住民が主体的に事業を実施していけるように支援を行っていく。																																						
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	3,924,000	3,924,000				3,924,000																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()																									
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域づくりを推進する		()																									
実施計画掲載ページ		P 63	中 事 業		地域包括ケア推進事業費																											
事業コード		004-001-001-01064	事 業 名		買物支援対策事業																											
目的及び事業内容		高齢化や身近な店舗の閉鎖等により買物弱者が多数存在する離島部において、買物支援対策事業を実施する住民団体等に対し、事業に要する経費の一部を助成することにより、買物困難地域における買物の利便性の向上を図る。																														
取組実績		<p>1 実施事業</p> <p>離島部において、日常生活に必要な物資の一括購入、買物の場の提供、無料配達等を実施する団体に対し、物資輸送費（船賃）の実費相当額を助成金として交付した。</p> <p>2 買物支援対策助成金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>309,040円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>265,530円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>274,600円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>271,310円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>283,210円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度はモデル事業として実施</p>							区分	申請件数	交付件数	交付額	H27	1件	1件	309,040円	H28	1件	1件	265,530円	H29	1件	1件	274,600円	H30	1件	1件	271,310円	R1	1件	1件	283,210円
区分	申請件数	交付件数	交付額																													
H27	1件	1件	309,040円																													
H28	1件	1件	265,530円																													
H29	1件	1件	274,600円																													
H30	1件	1件	271,310円																													
R1	1件	1件	283,210円																													
成 果		助成金を交付することで、地域包括ケアの中でも重要な役割である「支えあい（互助）」の意識醸成と買物困難地域における買物の利便性の向上が図られたほか、助成先の長渡婦人会内では、事業継続に意欲を持つ後継者が育ちつつあり、世代間の交流促進にも成果が現れている。																														
成果に係る評価		買物困難地域における地域住民の取組を支援するため、地域の実情を踏まえた検討を行っていく。																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	600,000		283,210					283,210																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域づくりを推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 63	中 事 業		地域包括ケア推進事業費			
事業コード		004-001-001-01359	事 業 名		多機関の協働による包括的支援体制構築事業			
目的及び事業内容		「福祉まるごと相談窓口」の設置により、複合的な課題を抱える困難ケース等の解消並びに「たらい回し」といった事態が生じないよう、包括的に受け止める総合的な支援体制の構築を図る。						
取組実績		<p>1 「福祉まるごと相談窓口」の設置（令和元年10月）</p> <p>相談件数：108件（うち継続相談支援件数：38件）</p> <p>相談方法：電話56件、来所49件、訪問（アウトリーチ）3件</p> <p>相談経路：家族27件、本人26件、地域包括支援センター6件、その他</p> <p>相談内容（延べ）：病気や健康、障害のこと43件、収入・生活費のこと27件、その他</p> <p>継続相談対応件数（延べ）：817件（電話対応474件、訪問対応259件、来所対応84件）</p> <p>最終結件数：必要な支援への繋ぎ9件、死亡1件、その他</p> <p>個別支援実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存で孤立傾向のケースを専門病院の入院につないだ ・ひきこもり傾向のケースを生活保護申請や就労支援につないだ ・債務整理の同行支援手続きを進めた ・ごみ問題世帯で、子どもを交えての掃除や子どもと一緒にごみを集積所に捨て、意識づけを行った。 <p>2 相談支援包括化推進会議</p> <p>(1) ネットワーク会議：8回（7月～2月の月1回） 参加者：129名</p> <p>(2) 個別検討会議：10回（随時） 参加者：95名</p>						
成 果		<p>1 「福祉まるごと相談窓口」の設置成果</p> <p>複数の関係課が係わっているが、支援が進まないケースの調整やコーディネートを行うことができた。また、制度の狭間で必要な支援を行うことで、支援が途切れていたケースのつなぎ直しを行うことができた。</p> <p>アウトリーチでの関与や伴走支援を行うことで、ケースとの信頼関係が築きやすかった。</p> <p>2 相談支援包括化推進会議</p> <p>各相談機関の顔の見える関係を築くことができた。また、各機関の相談内容について情報交換を行い、円滑な連携に向けて意識を高めることができたほか、インフォーマルサービスの必要性について共通認識を図ることができた。</p>						
成果に係る評価		今後も支援者や住民に対し制度の認知度を高めていくため、「福祉まるごと相談窓口」の周知を図る必要がある。また、関係機関の横断的な連携を推進し、インフォーマルサービスの創出を図っていく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,581,000		3,254,330		2,440,000			814,330

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域づくりを推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 65	中 事 業	地域包括ケア推進事業費				
事業コード	004-001-001-01360		事 業 名	地域力強化推進事業				
目的及び事業内容	<p>地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進を図るため、住民に身近な地域において、地域住民等が主体的に地域の生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備を行う。</p> <p>また、身近な地域で行う見守り等の互助活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体的かつ持続的な活動を支援する。</p>							
取組実績	<p>1 多世代交流拠点設置による地域力強化推進事業 市内4地区をモデル地区に指定し、地域の生活課題に関する相談を包括的に受け止める環境の整備及び多世代交流拠点の設置により、拠点を核とした地域の課題解決に向けた話し合いや交流会等を月1回実施した。 実施地区 山下、蛇田、湊、牡鹿地区 実施内容 ・地域課題解決に向けた話し合い活動及び研修会の開催 ・多世代交流「出張高校生カフェ」、地域住民の講師による「習字・宿題教室」ほか</p> <p>2 課題解決サポート（コミュニティ・カーシェアリング）事業 高齢者等の移動手段の確保等に関し、地域におけるコミュニティ・カーシェアリング活動の設立を支援した。 実施地区 山下地区（山下南カーシェア会） 設立日 令和元年7月16日</p> <p>3 地域互助活動促進事業助成金 高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等を対象として、身近な地域において行う送迎支援、買物支援、見守り・声かけ支援、交流・助け合い活動等に対し活動に要する経費の実費相当額の一部を助成金として交付した。 交付内訳 ・送迎支援 3件 360,000円 ・見守り・声かけ支援 1件 60,000円 ・送迎支援+見守り・声かけ支援 6件 1,079,000円</p> <p>4 「地域の支え合いを考える大会」の開催 住民同士の支え合い活動の推進、地域住民主体による積極的な地域づくりや地域の生活課題の解決を試みることができる地域の支援体制づくりを推進した。 開催日 令和元年11月19日 参加者 地域住民・関係者等 184人</p>							
成果	<p>1 市内4地区でサロン交流会等の実施により、地域課題の話し合いや子どもから高齢者までの多世代間の交流会を行ったことで、顔の見える関係性の構築や身近な地域における日常生活上の課題を把握する体制の構築が図られた。</p> <p>2 モデル地区のうち、山下地区内における高齢者等の移動手段の確保を目的として、山下南カーシェア会の設立を支援し、地域課題の解決につなげた。</p> <p>3 助成金の交付を機会に地域の見守り活動を行う団体を新たに立ち上げた地区もあり、地域で支え合う体制づくりの推進が図られた。</p> <p>4 地域の支え合いを考える大会では、お互い様で支える地域住民のつながりや顔の見える関係づくりの大切さについて参加者間で共有した。今後も住民同士の交流・つながる機会を増やしたい、子どもや若者、男性の参加を促すよう工夫したいなどの感想があり、地域で支え合う意識の高揚を図ることができた。</p>							
成果に係る評価	<p>各事業を通じて、身近な地域における生活課題の把握及び解決に向けた体制づくりの構築を図ることができた。</p> <p>今後も地域包括ケアシステムの推進に向けて、共に支え合う地域づくりの強化について住民や関係機関と共に積極的な取組を行っていく必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,918,000		6,559,574		4,919,000			1,640,574

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																									
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																									
	3 目	障害者福祉費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																									
実施計画掲載ページ		P 98	中 事 業	障害者福祉費																																												
事業コード	004-005-002-00107		事 業 名	障害者援護事業																																												
目的及び事業内容	<p>在宅障害者の自立更生と社会参加の促進を図る。</p> <p>1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 2 身体障害者相談員設置 3 在宅障害者等社会参加促進助成券の交付 4 知的障害者グループホーム体験ステイ事業の実施 5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成 6 難聴児補聴器購入助成 7 重症心身障害児者短期入所利用支援助成事業</p>																																															
取組実績	<p>1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 各種手帳の交付状況（所持者数） ※各年度3月31日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>身体障害者手帳</th> <th>療育手帳</th> <th>精神障害者手帳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>5,886人</td> <td>1,264人</td> <td>1,036人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5,966人</td> <td>1,319人</td> <td>957人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,922人</td> <td>1,155人</td> <td>1,024人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 身体障害者相談員設置 身体障害者相談員9名を設置</p> <p>3 在宅障害者等社会参加促進助成券（タクシー券・自動車燃料券） 在宅障害者等の移動を支援し、社会参加を促進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付者数</th> <th>助成総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>2,895人</td> <td>43,601,500円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,860人</td> <td>43,004,500円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2,856人</td> <td>42,751,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 知的障害者グループホーム体験ステイの推進 令和元年度 利用人数 1人 利用泊数 4日</p> <p>5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成 居宅において酸素濃縮器等の使用に要する電気料について、助成金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成人数</th> <th>助成総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>128人</td> <td>2,148,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>121人</td> <td>2,092,000円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>119人</td> <td>2,172,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 難聴児補聴器購入助成 身体障害者手帳の交付対象外の軽・中等度難聴児に対し、補聴器の購入費用の一部を助成した。 令和元年度実績：計7件 助成総額 224,000円</p> <p>7 重症心身障害児者短期入所利用支援助成事業 重症心身障害児者に対し、圏域外の短期入所施設を利用した際の移動に係る燃料費相当額等を助成した。 令和元年度実績：計12件（利用者3人）、助成総額 123,580円</p>								年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳	H29	5,886人	1,264人	1,036人	H30	5,966人	1,319人	957人	R1	5,922人	1,155人	1,024人	年度	交付者数	助成総額	H29	2,895人	43,601,500円	H30	2,860人	43,004,500円	R1	2,856人	42,751,000円	年度	助成人数	助成総額	H29	128人	2,148,000円	H30	121人	2,092,000円	R1	119人	2,172,000円
年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳																																													
H29	5,886人	1,264人	1,036人																																													
H30	5,966人	1,319人	957人																																													
R1	5,922人	1,155人	1,024人																																													
年度	交付者数	助成総額																																														
H29	2,895人	43,601,500円																																														
H30	2,860人	43,004,500円																																														
R1	2,856人	42,751,000円																																														
年度	助成人数	助成総額																																														
H29	128人	2,148,000円																																														
H30	121人	2,092,000円																																														
R1	119人	2,172,000円																																														
成果	<p>障害福祉ガイドブックを配布し、各種制度の周知に努め、適切な支援に繋げることができた。また、各種事業の実施により、在宅障害者の社会参加の促進や自立更生に向けた支援が図られた。</p>																																															
成果に係る評価	<p>今年度のサービス利用状況は、前年度と比べて、ほぼ横ばいであり、本市独自の各種事業を実施することにより、障害者福祉の向上に安定的に寄与しているものと思われる。</p> <p>なお、難聴児補聴器購入助成については、令和2年度において拡充及び見直しを行い、さらなる支援を図ることとしている。</p> <p>今後もサービス利用者の視点に立った見直しを進めながら、在宅障害者の自立更生や社会参加を促進できるよう取り組む必要がある。</p>																																															
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	64,941,000		59,393,383		736,000			58,657,383																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																															
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																															
	4 目	障害者自立支援費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																															
実施計画掲載ページ		P 99	中 事 業	自立支援給付費																																		
事業コード		004-005-002-00108	事 業 名	障害者自立支援給付事業																																		
目的及び事業内容																																						
<p>障害者等の福祉の増進を図るため、下記の障害福祉サービス等を実施する。</p> <p>1 介護給付（ホームヘルプ、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、施設入所支援等）</p> <p>2 訓練等給付（自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、グループホーム）</p> <p>3 補装具給付（身体障害者、障害児に対する補装具給付）</p> <p>4 自立支援医療給付（更生医療給付、療養介護医療給付、育成医療給付）</p> <p>5 医療型短期入所事業（サービス登録事業所である市立病院に対し、空床確保に要する経費を負担）</p>																																						
取組実績																																						
<p>1 障害福祉サービス給付費（介護給付・訓練等給付）</p> <p>障害者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行った。</p> <p>障害福祉サービス給付実績（介護給付・訓練等給付）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分 類</th> <th>事業所数</th> <th>実利用者</th> <th>延べ利用量</th> <th>給付費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護サービス等</td> <td>34か所</td> <td>283 人</td> <td>50,756 h</td> <td>211,927,212 円</td> </tr> <tr> <td>日中活動系サービス等・居住系</td> <td>212か所</td> <td>1,532 人</td> <td>310,914 日</td> <td>2,141,661,911 円</td> </tr> <tr> <td>サービス計画作成費</td> <td>44か所</td> <td>1,026 人</td> <td>2,505 件</td> <td>35,242,506 円</td> </tr> <tr> <td>特定障害者・高額等給付費</td> <td>72か所</td> <td>358 人</td> <td>4,028 件</td> <td>40,036,704 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,428,868,333 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 補装具給付</p> <p>身体障害者及び身体障害児の機能障害を補い、日常生活を容易にするため、補聴器、義肢、装具、車イス等の厚生労働大臣が定めた補装具の交付及び修理</p> <ul style="list-style-type: none"> 給付実績額：50,122,145円 給付件数：356件（交付：226件 修理：130件） <p>3 自立支援医療給付（更生医療・育成医療・療養介護医療）</p> <p>身体障害者手帳所持者（18歳以上）で、更生医療の給付が必要と判定された方及び児童福祉法第4条第2項に規定する障害児（18歳未満）で、指定医療機関における障害程度の軽減、除去又は障害の進行を防ぐための治療に要する医療費の一部を支給</p> <p>療養介護入所施設において医療が提供された障害者に療養介護医療費として支給</p> <ul style="list-style-type: none"> 給付実績 更生医療 対象者 435人 公費負担額 235,297,733円 育成医療 対象者 15人 公費負担額 747,471円 療養介護医療 実対象者 28人 公費負担額 26,632,285円 <p>4 医療型短期入所事業（H30年1月事業開始） 延べ利用人数30人</p>									分 類	事業所数	実利用者	延べ利用量	給付費	居宅介護サービス等	34か所	283 人	50,756 h	211,927,212 円	日中活動系サービス等・居住系	212か所	1,532 人	310,914 日	2,141,661,911 円	サービス計画作成費	44か所	1,026 人	2,505 件	35,242,506 円	特定障害者・高額等給付費	72か所	358 人	4,028 件	40,036,704 円	計	-	-	-	2,428,868,333 円
分 類	事業所数	実利用者	延べ利用量	給付費																																		
居宅介護サービス等	34か所	283 人	50,756 h	211,927,212 円																																		
日中活動系サービス等・居住系	212か所	1,532 人	310,914 日	2,141,661,911 円																																		
サービス計画作成費	44か所	1,026 人	2,505 件	35,242,506 円																																		
特定障害者・高額等給付費	72か所	358 人	4,028 件	40,036,704 円																																		
計	-	-	-	2,428,868,333 円																																		
成 果																																						
<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者、障害児及び難病等対象者が能力・適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付、その他の支援を行うことにより、福祉の増進が図られた。</p>																																						
成果に係る評価																																						
<p>障害のある人が、必要な支援を利用し自ら行動できるための支援を行い、在宅・施設での日常生活の安定と質の向上を図ることができた。今後も様々な障害の状況に応じたきめ細かなより効果的なサービスを提供することで、障害者自立支援の質的、量的な充実に努める必要がある。</p>																																						
（単位：円）																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																
	277,514,900	2,756,436,527	2,055,452,766		383,900	700,599,861																																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																									
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																									
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																									
実施計画掲載ページ		P 99	中 事 業	相談支援事業費																																												
事業コード		004-005-002-00110	事 業 名	相談支援事業																																												
目的及び事業内容																																																
<p>障害者支援専門の相談窓口を設置し、障害者及び障害者の介護を行う者並びに障害児の保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行う。</p> <p>1 障害者相談支援事業</p> <p>2 精神障害者コミュニティサロン運営事業</p> <p>3 基幹相談支援センター運営事業</p>																																																
取組実績																																																
<p>1 障害者相談支援事業</p> <p>障害者等の相談に応じ、情報提供や福祉サービスの利用援助等必要な相談援助を行った。</p> <p>相談方法 訪問、来所、同行、電話等</p> <p>相談内容 福祉サービス利用、健康、医療、家計、家族関係、就労 等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>委託先</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3箇所</td> <td>17,635件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3箇所</td> <td>18,481件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4箇所</td> <td>22,560件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 精神障害者コミュニティサロン運営事業</p> <p>創作活動、レクリエーション等の各種活動及び専任指導員による生活相談、生活指導を行い、精神障害者の社会復帰や自立に向けての支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用決定者数</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>65人</td> <td>2,573</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>66人</td> <td>2,322</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>59人</td> <td>1,832</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 基幹相談支援センター運営事業</p> <p>地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として「基幹相談支援センター」を平成26年4月1日から設置（委託）し、障害者等からの様々な相談に応じる他、地域の相談支援事業所間の連絡調整、関係機関との連携支援等の業務を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> <th>自立支援協議会、研修会等の開催</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>6人</td> <td>176回</td> <td>11,079件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6人</td> <td>66回</td> <td>7,560件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6人</td> <td>80回</td> <td>3,551件</td> </tr> </tbody> </table>										委託先	相談件数	H29	3箇所	17,635件	H30	3箇所	18,481件	R1	4箇所	22,560件		利用決定者数	延利用者数	H29	65人	2,573	H30	66人	2,322	R1	59人	1,832		人員体制	自立支援協議会、研修会等の開催	相談件数	H29	6人	176回	11,079件	H30	6人	66回	7,560件	R1	6人	80回	3,551件
	委託先	相談件数																																														
H29	3箇所	17,635件																																														
H30	3箇所	18,481件																																														
R1	4箇所	22,560件																																														
	利用決定者数	延利用者数																																														
H29	65人	2,573																																														
H30	66人	2,322																																														
R1	59人	1,832																																														
	人員体制	自立支援協議会、研修会等の開催	相談件数																																													
H29	6人	176回	11,079件																																													
H30	6人	66回	7,560件																																													
R1	6人	80回	3,551件																																													
成 果																																																
<p>基幹相談支援センターを中心に委託先である相談支援事業所も参加している自立支援協議会相談支援部会において、事例検討会や学習会を行うことにより、相談支援専門員の質の向上が図られてきている。また、ケース会議等を通して、医療機関や保健師等の多職種間の連携も積極的に進んでおり、様々な相談に対応している。</p>																																																
成果に係る評価																																																
<p>相談支援体制を強化するため、委託相談支援事業所を3箇所から4箇所に増やしたことにより、より多くのニーズに対応することができた。</p> <p>また、基幹相談支援センターの業務体制を見直し、地域拠点整備の一環として緊急時対応体制の整備をしたことにより、家族の疾病による緊急ショートステイの調整や台風第19号の影響による調整など、緊急時の対応に効果を発揮できたので、今後も相談支援体制の充実を図っていく必要がある。</p>																																																
（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	119,062,000	109,734,963	26,012,460			83,722,503																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()	
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業		日常生活用具給付等事業費 小児慢性特定疾患児日常生活給付事業費			
事業コード		004-005-002-00112	事 業 名		日常生活用具給付等事業			
目的及び事業内容		日常生活用具給付等事業として、日常生活上の便宜を図るため、重度障害者等（身体、知的、精神障害児者又は難病患者）に対し日常生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修費）を給付又は貸与する。 小児慢性特定疾患児日常生活給付事業として、日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児に対し、特殊寝台等の日常生活用具を給付する。						
取組実績		日常生活用具の給付件数						
		区分	H29	H30	R1			
		1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)	10件 (0件)	21件 (0件)	17件 (6件)			
		2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具等)	15件 (0件)	26件 (0件)	17件 (3件)			
		3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー等)	38件 (5件)	36件 (7件)	41件 (2件)			
		4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)	72件 (1件)	87件 (1件)	67件 (0件)			
		5 排泄管理支援用具 (ストーマ(蓄便・蓄尿)、紙オムツ等)	3,765件 (218件)	3,685件 (210件)	3,734件 (220件)			
		6 住宅改修	3件 (0件)	7件 (1件)	7件 (1件)			
		7 小児慢性	0件 (0件)	1件 (1件)	2件 (2件)			
		計	3,903件 (224件)	3,863件 (220件)	3,885件 (234件)			
		※()内は児童分の再掲						
成 果		重度障害者等が日常生活を送るために必要とされる、生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修等）の給付を行うことにより、日常生活の便宜が図られた。						
成果に係る評価		重度障害者等の日常生活を安心して暮らしていくために必要な用具については、今後とも継続が必要である。なお、令和元年度は基準額、給付条件、給付品目等も含めた見直しを行い、障害者への支援の拡充を図った。						
		(単位：円)						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		42,525,224	42,229,513	17,107,527			25,121,986	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()															
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()															
	5 目	地域生活支援事業費		(4)	「だれもが暮らしやすい」まちづくりを推進する		()															
実施計画掲載ページ		P102	中 事 業		移動支援事業費																	
事業コード		004-005-004-00113	事 業 名		障害者移動支援事業																	
目的及び事業内容		屋外での移動が困難な障害者及び障害児について、外出のための支援を行うことにより、障害者等の地域での自立生活及び社会参加を促進する。移動支援事業の内容は、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出（原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限る。）に対し行う個別移動支援及びグループ移動支援としている。																				
取組実績		個別に支援が必要な障害者等の外出に対しホームヘルパーを派遣し、移動の支援を行う個別移動支援と、複数の障害者等のグループの外出に対しヘルパーを派遣し移動の支援を行うグループ移動支援を行った。																				
		<p><移動支援の実績件数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>サービス提供事業所数</th> <th>サービス実利用人数</th> <th>サービス利用実績（時間数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>16</td> <td>143人（うち児童 2人）</td> <td>4,668 時間（うち児童 6時間）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19</td> <td>141人（うち児童 0人）</td> <td>5,558 時間（うち児童 0時間）</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>15</td> <td>147人（うち児童 0人）</td> <td>5,741 時間（うち児童 0時間）</td> </tr> </tbody> </table>							年度	サービス提供事業所数	サービス実利用人数	サービス利用実績（時間数）	H29	16	143人（うち児童 2人）	4,668 時間（うち児童 6時間）	H30	19	141人（うち児童 0人）	5,558 時間（うち児童 0時間）	R1	15
年度	サービス提供事業所数	サービス実利用人数	サービス利用実績（時間数）																			
H29	16	143人（うち児童 2人）	4,668 時間（うち児童 6時間）																			
H30	19	141人（うち児童 0人）	5,558 時間（うち児童 0時間）																			
R1	15	147人（うち児童 0人）	5,741 時間（うち児童 0時間）																			
成 果		外出や社会参加のため、自力での移動が困難な障害者及び障害児の個々のニーズに応じ、必要な移動支援サービスを提供し、障害者の自立生活への支援が図られた。																				
成果に係る評価		利用人数の増加とともに、利用時間も伸びている状況にあるが、サービス提供事業所が減少している。今後は障害者等の地域における自立支援など社会参加を安定的に促進するため、サービス提供体制については、十分に確保できるよう努める必要がある。																				
		(単位：円)																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
		15,167,500	15,167,500	6,142,838			9,024,662															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																	
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業		地域活動支援センター費																			
事業コード		004-005-002-00114	事 業 名		地域活動支援センター事業																			
目的及び事業内容		地域活動支援センターの利用給付を行い、地域の実情に応じ、障害者等の通所による創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流を促進することにより障害者等の自立の促進と社会参加促進を図る。																						
取組実績		<p>1 基礎的事業 通所による創作的活動、生産活動及び社会との交流機会を提供している</p> <p>2 機能強化事業 地域において、雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練や社会適応訓練などを実施している。</p> <p>3 送迎支援 自宅から事業所までの送迎に係る支援</p> <p>4 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>サービス提供事業所数</th> <th>実利用者数</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>508</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6</td> <td>36</td> <td>407</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>7</td> <td>41</td> <td>396</td> </tr> </tbody> </table>							年度	サービス提供事業所数	実利用者数	延利用者数	H29	7	45	508	H30	6	36	407	R1	7	41	396
年度	サービス提供事業所数	実利用者数	延利用者数																					
H29	7	45	508																					
H30	6	36	407																					
R1	7	41	396																					
成 果		障害者の日中活動の場として、創作活動や生産活動等を通じ、地域社会との交流が図られ、障害者の自立と社会参加を促進した。																						
成果に係る評価		休止していた事業所が再開し、事業所数及び利用者数が増加した。障害の状況により就労支援等のサービスの利用が困難な利用者も存在しており、社会参加の機会を確保するため今後も事業を継続する必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	30,741,000	30,406,199	4,058,567			26,347,632																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																													
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																																																													
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																																																													
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業		生活支援事業費																																																																															
事業コード		004-005-002-00116	事 業 名		生活支援事業																																																																															
目的及び事業内容		<p>障害者が地域社会で自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な事業を推進する。</p> <p>1 声の市報発行</p> <p>2 社会参加促進事業補助</p> <p>3 障害者自動車改造・運転免許取得費助成金</p> <p>4 訪問入浴サービス事業</p> <p>5 日中一時支援事業</p>																																																																																		
取組実績		<p>1 声の市報発行…情報入手困難な視覚障害者に音声版（CD）の市報を配付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>委託額等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>23人</td> <td>801,640円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>23人</td> <td>682,204円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>24人</td> <td>716,984円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 社会参加促進事業補助…事業費補助金の交付により社会参加促進事業を奨励した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助件数</th> <th>補助団体数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>10件</td> <td>7団体</td> <td>522,264円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9件</td> <td>7団体</td> <td>524,095円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>7件</td> <td>5団体</td> <td>384,990円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 障害者自動車改造・運転免許取得費助成金…自動車改造や運転免許取得にかかる費用の一部を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成件数（改造）</th> <th>助成件数（免許）</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>681,333円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6件</td> <td>6件</td> <td>1,104,332円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>754,666円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 訪問入浴サービス事業…訪問入浴に係る費用について給付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実利用者数</th> <th>延利用回数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>23人</td> <td>1,328回</td> <td>16,251,914円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>27人</td> <td>1,455回</td> <td>17,948,068円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>27人</td> <td>1,847回</td> <td>22,988,400円</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 日中一時支援事業…日中の一時預かりに係る費用について給付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実利用者数</th> <th>延利用日数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>204人</td> <td>9,871日</td> <td>33,684,699円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>179人</td> <td>11,550日</td> <td>32,614,250円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>173人</td> <td>12,538日</td> <td>32,338,342円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用者数	委託額等	H29	23人	801,640円	H30	23人	682,204円	R1	24人	716,984円	年度	補助件数	補助団体数	補助額	H29	10件	7団体	522,264円	H30	9件	7団体	524,095円	R1	7件	5団体	384,990円	年度	助成件数（改造）	助成件数（免許）	助成額	H29	3件	4件	681,333円	H30	6件	6件	1,104,332円	R1	4件	4件	754,666円	年度	実利用者数	延利用回数	給付額	H29	23人	1,328回	16,251,914円	H30	27人	1,455回	17,948,068円	R1	27人	1,847回	22,988,400円	年度	実利用者数	延利用日数	給付額	H29	204人	9,871日	33,684,699円	H30	179人	11,550日	32,614,250円	R1	173人	12,538日	32,338,342円
年度	利用者数	委託額等																																																																																		
H29	23人	801,640円																																																																																		
H30	23人	682,204円																																																																																		
R1	24人	716,984円																																																																																		
年度	補助件数	補助団体数	補助額																																																																																	
H29	10件	7団体	522,264円																																																																																	
H30	9件	7団体	524,095円																																																																																	
R1	7件	5団体	384,990円																																																																																	
年度	助成件数（改造）	助成件数（免許）	助成額																																																																																	
H29	3件	4件	681,333円																																																																																	
H30	6件	6件	1,104,332円																																																																																	
R1	4件	4件	754,666円																																																																																	
年度	実利用者数	延利用回数	給付額																																																																																	
H29	23人	1,328回	16,251,914円																																																																																	
H30	27人	1,455回	17,948,068円																																																																																	
R1	27人	1,847回	22,988,400円																																																																																	
年度	実利用者数	延利用日数	給付額																																																																																	
H29	204人	9,871日	33,684,699円																																																																																	
H30	179人	11,550日	32,614,250円																																																																																	
R1	173人	12,538日	32,338,342円																																																																																	
成 果		障害者が地域生活支援事業の各種サービスを利用することにより、日常生活の支援、障害者等家族の介護負担の軽減、社会参加の促進等が図られた。																																																																																		
成果に係る評価		障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むための必要な事業であり、今後も障害者本人や家族のニーズに応じた助成、給付を継続する必要がある。																																																																																		
(単位：円)																																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																														
	58,503,276	57,184,688	22,853,629			34,331,059																																																																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																					
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																					
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																					
実施計画掲載ページ		P102	中 事 業	理解促進研修啓発・自発的活動推進事業費																								
事業コード		004-005-002-01214	事 業 名	理解促進研修啓発・自発的活動推進事業																								
目的及び事業内容		<p>障害者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去し、共生社会の実現を図るため、地域住民に対して、障害者等の理解を深めるための研修・啓発事業を行う。</p> <p>また、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者や地域住民による地域における自発的な取組み（ピアサポート、災害対策、孤立防止活動、ボランティア活動等）を支援する。</p>																										
取組実績		<p>1 理解促進啓発研修事業</p> <p>(1) 教室等開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>開催日</th> <th>対象者</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者理解促進講演会 テーマ：発達障害について</td> <td>11/21 (木)</td> <td>市民、事業所等</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>いしのまき・おながわハートフルフェア "Shitte&Katte" 「障害者就労施設等販売会」</td> <td>11/16 (土)</td> <td>市民</td> <td>243人</td> </tr> <tr> <td>障害者理解啓発職員研修会 テーマ：聴覚障害の基礎知識とコミュニケーションのこつ</td> <td>1/28 (火)</td> <td>市職員</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>535人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 広報活動 障害者週間啓発ポケットティッシュの配布</p> <p>2 自発的活動支援事業 ・障害者等の自発的活動を行う団体等に対し、補助金を交付した。 R1年度補助金交付件数：5件 交付金額：149,912円</p>							内 容	開催日	対象者	参加者数	障害者理解促進講演会 テーマ：発達障害について	11/21 (木)	市民、事業所等	229人	いしのまき・おながわハートフルフェア "Shitte&Katte" 「障害者就労施設等販売会」	11/16 (土)	市民	243人	障害者理解啓発職員研修会 テーマ：聴覚障害の基礎知識とコミュニケーションのこつ	1/28 (火)	市職員	63人	計			535人
内 容	開催日	対象者	参加者数																									
障害者理解促進講演会 テーマ：発達障害について	11/21 (木)	市民、事業所等	229人																									
いしのまき・おながわハートフルフェア "Shitte&Katte" 「障害者就労施設等販売会」	11/16 (土)	市民	243人																									
障害者理解啓発職員研修会 テーマ：聴覚障害の基礎知識とコミュニケーションのこつ	1/28 (火)	市職員	63人																									
計			535人																									
成 果		<p>令和元年度は、これまでの講演会等の開催に加え、就労支援事業所等で働く障害者の制作した製品を販売、紹介することで、市民に障害者施策等の理解啓発を促すためのイベントを開催したことより不特定の市民に対し障害に対する理解啓発が図られた。</p> <p>また、障害者等やその家族がお互いの悩みを共有したり交流活動等を行うピアサポートや社会活動支援等の自発的活動を行う団体等への補助事業を継続して行い、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むための支援が図られた。</p>																										
成果に係る評価		<p>市民一人ひとりが障害に関する理解が深まるよう、継続して研修会等を開催するとともに、体験型イベントの開催や様々な機会を捉えて、啓発活動に取り組んでいく必要がある。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	384,000	308,973	125,133			183,840																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																										
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																										
	6 目	特別障害者手当等措置費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																										
実施計画掲載ページ		P101	中 事 業	特別障害者手当等措置費																																													
事業コード		004-005-002-00117	事 業 名	特別障害者手当等措置事業																																													
目的及び事業内容		<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律等に基づき、精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当等を支給することにより、福祉の増進を図る。</p> <p>1 特別障害者手当制度 2 障害児福祉手当制度</p>																																															
取組実績		<p>(1) 特別障害者手当 20歳以上で著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の者</p> <p>(2) 障害児福祉手当 20歳未満で重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特別障害者手当</td> <td>支給額</td> <td>42,955,260円</td> <td>41,265,090円</td> <td>43,099,060円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>128人</td> <td>128人</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害児福祉手当</td> <td>手当月額</td> <td>26,810円</td> <td>26,940円</td> <td>27,200円</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>12,074,920円</td> <td>11,798,310円</td> <td>11,414,750円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害児福祉手当</td> <td>支給者数</td> <td>67人</td> <td>64人</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>手当月額</td> <td>14,580円</td> <td>14,650円</td> <td>14,790円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>支給額</td> <td>55,030,180円</td> <td>53,063,400円</td> <td>54,513,810円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>195人</td> <td>192人</td> <td>204人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分		H29	H30	R1	特別障害者手当	支給額	42,955,260円	41,265,090円	43,099,060円	支給者数	128人	128人	139人	障害児福祉手当	手当月額	26,810円	26,940円	27,200円	支給額	12,074,920円	11,798,310円	11,414,750円	障害児福祉手当	支給者数	67人	64人	65人	手当月額	14,580円	14,650円	14,790円	合 計	支給額	55,030,180円	53,063,400円	54,513,810円	支給者数	195人	192人	204人
区 分		H29	H30	R1																																													
特別障害者手当	支給額	42,955,260円	41,265,090円	43,099,060円																																													
	支給者数	128人	128人	139人																																													
障害児福祉手当	手当月額	26,810円	26,940円	27,200円																																													
	支給額	12,074,920円	11,798,310円	11,414,750円																																													
障害児福祉手当	支給者数	67人	64人	65人																																													
	手当月額	14,580円	14,650円	14,790円																																													
合 計	支給額	55,030,180円	53,063,400円	54,513,810円																																													
	支給者数	195人	192人	204人																																													
成 果		<p>在宅で生活している重度障害者等への生活支援の一助として、経済的支援を図ることができた。</p>																																															
成果に係る評価		<p>在宅重度障害者等への相談支援を行っている関係機関・団体等への制度周知を徹底するとともに、適正な決定・支給事務を行っていく必要がある。</p>																																															
(単位：円)																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	54,513,810	54,513,810	40,800,577			13,713,233																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()	
	7 目	心身障害者医療対策費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()	
実施計画掲載ページ	P101		中 事業	心身障害者医療対策費				
事業コード	004-005-002-00119		事業名	心身障害者医療対策事業				
目的及び事業内容	<p>重度心身障害者等の医療費を助成することにより、重度心身障害者等の生活の安定を図る。重度心身障害者については、助成対象者に係る医療費（入院時食事療養費を除く。）のうち医療保険各法に定める一部負担金（各法による公費負担額、高額療養費、附加給付額を控除した額）を対象者又はその保護者に助成する。</p> <p>中度心身障害者（特別児童扶養手当2級該当者）については、上記一部負担金の95%の額を助成する。</p>							
取組実績	重・中度心身障害者医療費助成の実施 重度心身障害者及び中度心身障害者の医療費の一部を助成した。							
				H29	H30	R1		
	受給者数	重度心身障害者	3,162人	3,143人	3,145人			
		中度心身障害者	50人	43人	57人			
計		3,212人	3,186人	3,202人				
対象者数	重度心身障害者	3,390人	3,334人	3,318人				
	中度心身障害者	124人	125人	141人				
	計	3,514人	3,459人	3,459人				
種別	重度	身体障害 1級	1,993人	1,972人	1,905人			
		身体障害 2級	709人	676人	645人			
		身体障害 3級	263人	262人	253人			
		療育A	418人	417人	420人			
	中度	特別児童 1級	7人	7人	9人			
		精神障害 1級	0人	0人	86人			
		特別児童 2級	124人	125人	141人			
		助成額	280,386,061円	306,734,395円	313,732,007円			
※令和元年10月から精神障害者保健福祉手帳1級所持者が適用								
成果	重度心身障害者等の適正な医療の機会を確保するとともに、経済的負担の軽減が図られた。							
成果に係る評価	令和元年10月から精神障害者も新たに助成対象となり、制度の拡充が図られた。今後も障害者の適正な医療の確保のため、事業を継続する必要がある。							
予算の執行状況	(単位：円)							
予算額	決算額	決算額の財源内訳						
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
314,891,519	313,732,007	154,112,000			159,620,007			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																											
	1 項	社会福祉費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		()																																																																																											
	8 目	子ども医療対策費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		()																																																																																											
実施計画掲載ページ	P72		中 事業	子ども医療対策費																																																																																														
事業コード	004-002-001-00074		事業名	子ども医療費助成事業																																																																																														
目的及び事業内容	<p>子どもに対する適正な医療の機会を確保し、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として、出生から中学3年生までの入院・通院に係る医療費の一部負担金を助成する。</p>																																																																																																	
取組実績	<p>・出生から中学3年生までの入院及び通院に係る医療費の一部負担金を助成した。</p> <p>・平成30年度から所得制限を撤廃しているが、依然として未申請者がいることから、市報、ホームページ及び各種子育て情報誌（子育てハンドブック等）による周知を行うとともに、未申請者への申請案内を送付した。</p>																																																																																																	
	<p>【受給者内訳】 (令和2年3月末現在)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>対象者数</td> <td>16,254人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>受給者数</td> <td>10,815人</td> <td>66.54%</td> </tr> <tr> <td>未申請者数</td> <td>90人</td> <td>0.55%</td> </tr> </table>								項目	人数	割合	対象者数	16,254人	—	受給者数	10,815人	66.54%	未申請者数	90人	0.55%																																																																														
項目	人数	割合																																																																																																
対象者数	16,254人	—																																																																																																
受給者数	10,815人	66.54%																																																																																																
未申請者数	90人	0.55%																																																																																																
成果	<p>子育て世代の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>【一部負担金の助成状況】 (助成額の単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">受給者数</th> <th colspan="2">県補助対象</th> <th colspan="2">独自拡大対象</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>国保</td> <td>2,814人</td> <td>14,829</td> <td>21,902,301</td> <td>14,375</td> <td>29,992,723</td> <td>29,204</td> <td>51,895,024</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>14,255人</td> <td>103,476</td> <td>168,343,502</td> <td>87,757</td> <td>183,457,311</td> <td>191,233</td> <td>351,800,813</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,069人</td> <td>118,305</td> <td>190,245,803</td> <td>102,132</td> <td>213,450,034</td> <td>220,437</td> <td>403,695,837</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>国保</td> <td>2,598人</td> <td>15,639</td> <td>23,487,019</td> <td>18,171</td> <td>38,065,283</td> <td>33,810</td> <td>61,552,302</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,956人</td> <td>99,340</td> <td>156,442,709</td> <td>121,703</td> <td>245,435,680</td> <td>221,043</td> <td>401,878,389</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,554人</td> <td>114,979</td> <td>179,929,728</td> <td>139,874</td> <td>283,500,963</td> <td>254,853</td> <td>463,430,691</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>国保</td> <td>2,411人</td> <td>13,552</td> <td>20,680,666</td> <td>17,974</td> <td>36,729,354</td> <td>31,526</td> <td>57,410,020</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,753人</td> <td>96,175</td> <td>149,729,024</td> <td>129,685</td> <td>259,030,022</td> <td>225,860</td> <td>408,759,046</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,164人</td> <td>109,727</td> <td>170,409,690</td> <td>147,659</td> <td>295,759,376</td> <td>257,386</td> <td>466,169,066</td> </tr> </tbody> </table>								年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象		計		件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額	H29	国保	2,814人	14,829	21,902,301	14,375	29,992,723	29,204	51,895,024	社保	14,255人	103,476	168,343,502	87,757	183,457,311	191,233	351,800,813	計	17,069人	118,305	190,245,803	102,132	213,450,034	220,437	403,695,837	H30	国保	2,598人	15,639	23,487,019	18,171	38,065,283	33,810	61,552,302	社保	13,956人	99,340	156,442,709	121,703	245,435,680	221,043	401,878,389	計	16,554人	114,979	179,929,728	139,874	283,500,963	254,853	463,430,691	R1	国保	2,411人	13,552	20,680,666	17,974	36,729,354	31,526	57,410,020	社保	13,753人	96,175	149,729,024	129,685	259,030,022	225,860	408,759,046	計	16,164人	109,727	170,409,690	147,659	295,759,376	257,386	466,169,066
	年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象		計																																																																																										
				件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額																																																																																									
	H29	国保	2,814人	14,829	21,902,301	14,375	29,992,723	29,204	51,895,024																																																																																									
社保		14,255人	103,476	168,343,502	87,757	183,457,311	191,233	351,800,813																																																																																										
計		17,069人	118,305	190,245,803	102,132	213,450,034	220,437	403,695,837																																																																																										
H30	国保	2,598人	15,639	23,487,019	18,171	38,065,283	33,810	61,552,302																																																																																										
	社保	13,956人	99,340	156,442,709	121,703	245,435,680	221,043	401,878,389																																																																																										
	計	16,554人	114,979	179,929,728	139,874	283,500,963	254,853	463,430,691																																																																																										
R1	国保	2,411人	13,552	20,680,666	17,974	36,729,354	31,526	57,410,020																																																																																										
	社保	13,753人	96,175	149,729,024	129,685	259,030,022	225,860	408,759,046																																																																																										
	計	16,164人	109,727	170,409,690	147,659	295,759,376	257,386	466,169,066																																																																																										
<p>【未申請者割合】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3.50%</td> <td>1.58%</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0.00%</td> <td>1.00%</td> <td>99.00%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0.00%</td> <td>0.55%</td> <td>99.45%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	成果指標		達成率	目標	実績	H29	3.50%	1.58%	100.00%	H30	0.00%	1.00%	99.00%	R1	0.00%	0.55%	99.45%																																																																									
区分	成果指標		達成率																																																																																															
	目標	実績																																																																																																
H29	3.50%	1.58%	100.00%																																																																																															
H30	0.00%	1.00%	99.00%																																																																																															
R1	0.00%	0.55%	99.45%																																																																																															
成果に係る評価	<p>所得制限を撤廃することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を拡充することができた。</p> <p>また、制度周知や未申請者に対する案内通知（年2回）により未申請者割合を減少させることができたが、目標を達成できるよう周知方法等について検討する必要がある。</p>																																																																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																	
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																													
505,315,000	477,602,383	146,623,000			330,979,383																																																																																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																													
	1 項	社会福祉費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		()																													
	11 目	市民相談センター費		(2)	青少年を健全に育成する		()																													
実施計画掲載ページ		P32	中 事業	少年センター運営費																																
事業コード	002-002-002-00144	事業名	青少年健全育成事業																																	
目的及び事業内容		少年の非行防止及び非行対策に関し、関係機関、学校、関係団体及び民間有志者の密接な連携のもとに、広く地域社会の理解と協力を求め、総合的かつ効果的な活動を推進し、少年の健全な育成を図る。																																		
取組実績		<p>1 少年補導員による街頭補導活動の実施 各地区に配置している少年補導員による毎月の街頭補導、川開き祭り特別街頭補導及び県下一斉警戒パトロール等を実施した。街頭補導活動においては、少年補導員144名により、少年非行の早期発見、未然防止及び少年の健全育成を目的に、遊技場、駅、公園などを中心に実施した。</p> <p>2 少年相談 引きこもりや教育問題に悩む親等からの相談に対応した。</p> <p>3 地域における不審者対策ネットワークの推進 ネットワークの会員と地域の団体等が、年4回ほど児童の下校時に同行し、市内全小学校の通学路のパトロールを実施した。また、不審者情報を市ホームページに適宜掲載し注意喚起を行った。</p> <p>4 地域における青少年健全育成の推進 地域で青少年健全育成活動を実施する団体が構成する市民会議による、市民総ぐるみの積極的な地域活動の推進のための支援を行った。</p>																																		
成果		<p>学校や地域等の関係機関との有機的な連携のもと、街頭補導やパトロール等を実施することにより、青少年の非行防止と健全育成に寄与した。</p> <p><街頭補導実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>実施回数</th> <th>出動延人数</th> <th>声かけ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>557回</td> <td>1,550人</td> <td>275件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>486回</td> <td>1,350人</td> <td>625件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>483回</td> <td>1,280人</td> <td>429件</td> </tr> </tbody> </table> <p><少年相談実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>25件</td> <td>10件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区分	実施回数	出動延人数	声かけ数	H29		557回	1,550人	275件	H30		486回	1,350人	625件	R1		483回	1,280人	429件	年度	H29	H30	R1	件数	25件	10件	8件
年度	区分	実施回数	出動延人数	声かけ数																																
H29		557回	1,550人	275件																																
H30		486回	1,350人	625件																																
R1		483回	1,280人	429件																																
年度	H29	H30	R1																																	
件数	25件	10件	8件																																	
成果に係る評価		<p>本事業で大きなウエイトを占めているのが各関係団体・学校から推薦された144名の少年補導員による街頭補導であり、今年度も「愛の一声」（挨拶、気軽な会話、安全指導等）活動を推進したことで、多くの子どもたちに対し、健全育成、事故防止、不審者抑止の対策が図られた。</p> <p>共働き家庭の増加とともに保護者の見守りが困難になっている中、子どもたちの下校・帰宅時間も多様化している状況を踏まえると、「地域の目」として活動している補導員の方々の役割は大きく、地域の子どもたちの安全のために、地域・家庭・学校が相互に連携を深めていく必要がある。</p> <p>また、少年相談件数については年々減少しており、スクールソーシャルワーカーや石巻圏子ども・若者総合相談センター等の相談機関が増えたことが減少要因の一つと考えられるが、今後は少年センターにおける相談事業等の見直しも含め検討していく必要がある。</p>																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	7,451,000	6,872,475	300,000			6,572,475																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																																							
	1 項	社会福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																																																																							
	11 目	市民相談センター費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																																																																							
実施計画掲載ページ		P88	中 事業	市民相談センター事業費																																																																																																																																										
事業コード	004-003-001-00145	事業名	市民相談事業（家庭児童相談・市民相談）																																																																																																																																											
目的及び事業内容		子育てなどの家庭児童・母子相談をはじめ、市民生活全般にわたる相談など、複雑多様な相談を一つの窓口で受理し、適切な支援に繋げるにより市民生活の利便性と福祉の向上を図る。また、専門的事業の支援として、仙台弁護士会への委託による定期的な無料法律相談を実施している。																																																																																																																																												
取組実績		<p>1 市民相談 市民相談担当職員1人を配置し、市民生活全般の相談等を実施した。</p> <p>2 家庭児童相談 家庭児童相談員1人を配置し、以下の相談等を実施した。 ・家庭児童相談 ・女性相談 ・養育支援訪問利用相談 ・障害児通所サービス利用に係る相談 ・助産施設利用相談 ・母子生活支援施設利用相談など</p> <p>3 弁護士による無料法律相談 年24回実施（毎月2回、第2・第4火曜日）</p>																																																																																																																																												
成果		<p>相談者の福祉向上を図るため、各種相談に対して適切な助言及び援助を行った。また、無料法律相談を実施することにより、専門的事業の早期解決の一助を担った。</p> <p>1 市民相談実績 ※H30から相談分類変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>行政</th> <th>事故等</th> <th>相続</th> <th>不動産</th> <th>離婚</th> <th>親族家族問題</th> <th>法律</th> <th>近隣問題</th> <th>窓口紹介</th> <th>生活困窮</th> <th>健康</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>67</td> <td>10</td> <td>57</td> <td>25</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>379</td> <td>558</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>83</td> <td>3</td> <td>49</td> <td>29</td> <td>10</td> <td>28</td> <td>11</td> <td>121</td> <td>139</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>26</td> <td></td> <td>565</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>67</td> <td>5</td> <td>74</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>97</td> <td>106</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>77</td> <td></td> <td>530</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 家庭児童相談実績 ※R1から相談分類変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">家庭児童相談関係</th> <th colspan="3">母子相談関係</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>家族関係</th> <th>児童その他</th> <th>離婚</th> <th>婦人特有</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>47</td> <td>37</td> <td></td> <td>41</td> <td>-</td> <td>180</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>85</td> <td>38</td> <td></td> <td>17</td> <td>-</td> <td>149</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>73</td> <td>38</td> <td></td> <td>26</td> <td>88</td> <td>19</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 無料法律相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>回数</th> <th>金銭貸借</th> <th>不動産</th> <th>相続</th> <th>離婚</th> <th>親族</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>14</td> <td>35</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>24</td> <td>50</td> <td>16</td> <td>37</td> <td>26</td> <td>19</td> <td>34</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>24</td> <td>65</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>15</td> <td>28</td> <td>197</td> </tr> </tbody> </table>							年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計	H29	67	10	57	25	7	10	3	-	-	-	-	-	379	558	H30	83	3	49	29	10	28	11	121	139	32	34	26		565	R1	67	5	74	22	16	27	4	97	106	30	5	77		530	年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計	家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他	H29	47	37		41	-	180	305	H30	85	38		17	-	149	289	R1	73	38		26	88	19	244	年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計	H29	24	30	23	23	33	14	35	158	H30	24	50	16	37	26	19	34	182	R1	24	65	29	25	35	15	28	197
年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計																																																																																																																																
H29	67	10	57	25	7	10	3	-	-	-	-	-	379	558																																																																																																																																
H30	83	3	49	29	10	28	11	121	139	32	34	26		565																																																																																																																																
R1	67	5	74	22	16	27	4	97	106	30	5	77		530																																																																																																																																
年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計																																																																																																																																							
		家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他																																																																																																																																								
H29	47	37		41	-	180	305																																																																																																																																							
H30	85	38		17	-	149	289																																																																																																																																							
R1	73	38		26	88	19	244																																																																																																																																							
年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計																																																																																																																																					
H29	24	30	23	23	33	14	35	158																																																																																																																																						
H30	24	50	16	37	26	19	34	182																																																																																																																																						
R1	24	65	29	25	35	15	28	197																																																																																																																																						
成果に係る評価		<p>市民生活全般にかかる相談件数については、ほぼ横ばい状態にあるものの、相談内容は多様化しており、当センターが市の総合的な窓口となり様々な相談に対応していることで市民への利便性が図られた。一方で家庭児童相談は年々減少しており、子育て支援に関わるNPO団体等、相談できる関係機関が増えたことが減少要因の一つとして考えられる。</p> <p>また、相談者は複合的な問題を抱えている場合が多いことから、丁寧な傾聴に努めるとともに弁護士による無料法律相談に繋げるなど、各関係機関・団体等と連携しながら、問題解決に向けて迅速かつ適切な支援を行い、市民の福祉向上に努めていく必要がある。</p>																																																																																																																																												
(単位：円)																																																																																																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																								
	4,465,000	4,433,675				4,433,675																																																																																																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																	
	1 項	社会福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																	
	12 目	権利擁護推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																	
実施計画掲載ページ		P 89	中 事 業	要保護児童対策事業費																																																																				
事業コード		004-003-001-00147	事 業 名	要保護児童対策事業																																																																				
<p>要保護児童対策地域協議会の支援の対象者は、要保護児童（保護者に監護させることが不適当であると認められる児童等）、要支援児童（保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童等）、特定妊婦（出産後の養育について出産前において特に支援が必要とされる妊婦）であり、要保護児童等に対する適切な支援を行うために情報交換を行いながら、それぞれのケースに対応した支援を協議し速やかに対応する。また、児童虐待防止研修会等の開催やリーフレットの作成・配布などの啓発を通して虐待に対する認識を深める。</p>																																																																								
<p>取組実績</p> <p>1 石巻市要保護児童対策地域協議会 (1) 代表者会議の開催 1回 各分野の関係機関等の代表者19名で構成され、要保護児童等の現状と支援に関する全体把握等について情報交換を行った。 (2) 実務者会議の開催（進行管理ケース数：市187人、児相617人 合計804人） ・全体実務者会議 2回 要保護児童等の実態把握や協議会の事業計画等について協議・検討した。 ・ブロック別実務者会議 4ブロック×3回 進行管理している各ケースの情報共有と今後の支援策について確認した。 (3) 個別ケース検討会議（カンファレンスを含む） 31回 各ケースの状況把握と問題点の確認を行い、支援の役割分担等について協議した。</p> <p>2 児童虐待防止啓発事業 (1) 「子どもの日常生活調査」の実施（小学校7校・6年生344人） (2) 児童虐待防止講演会 11月の児童虐待予防月間に併せて講演会を開催し、虐待防止への理解の普及を図った。 日時：令和元年11月21日（木） 場所：河北総合センター 参加者：229人 (3) リーフレットを市内小学校1年生（保護者向け）及び母子手帳交付者に配布 (4) 新聞広告の掲載（年4回）</p> <p>3 専門カウンセリング事業 保護者やDV被害者の心理的ケアや支援を行うため、心理カウンセラー等によるカウンセリングを実施した。30回開催 実利用者16人 延べ利用者37人</p>																																																																								
<p>関係機関との連携により、児童虐待ケースの重症化防止と要保護児童等の安全確保が図られた。</p> <p>対応実績推移 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">新規 (再起含む)</th> <th colspan="3">前年度からの 継続</th> <th colspan="3">合 計</th> <th colspan="3">最終ケース (再掲)</th> </tr> <tr> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>95</td> <td>404</td> <td>499</td> <td>95</td> <td>107</td> <td>202</td> <td>190</td> <td>511</td> <td>701</td> <td>94</td> <td>413</td> <td>507</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>96</td> <td>506</td> <td>602</td> <td>97</td> <td>97</td> <td>194</td> <td>193</td> <td>603</td> <td>796</td> <td>99</td> <td>406</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>106</td> <td>473</td> <td>579</td> <td>81</td> <td>144</td> <td>225</td> <td>187</td> <td>617</td> <td>804</td> <td>86</td> <td>453</td> <td>539</td> </tr> </tbody> </table>										新規 (再起含む)			前年度からの 継続			合 計			最終ケース (再掲)			市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	H29	95	404	499	95	107	202	190	511	701	94	413	507	H30	96	506	602	97	97	194	193	603	796	99	406	505	R1	106	473	579	81	144	225	187	617	804	86	453	539
	新規 (再起含む)			前年度からの 継続			合 計			最終ケース (再掲)																																																														
	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計																																																												
H29	95	404	499	95	107	202	190	511	701	94	413	507																																																												
H30	96	506	602	97	97	194	193	603	796	99	406	505																																																												
R1	106	473	579	81	144	225	187	617	804	86	453	539																																																												
<p>成果に係る評価</p> <p>本市の要保護対象児童対応件数は、市（虐待防止センター）は横ばい状態であるが、児相（東部児童相談所）の対応件数は増加傾向にある。子どもへの虐待については、保護者の生育歴や精神疾患の悪化、経済的困窮や日々の生活ストレスなど様々な要因が考えられるが、引き続き児童虐待の早期発見と要保護児童等への適切な支援を行う必要がある。 また、令和元年度からブロック別実務者会議の構成団体として新たに警察にも加わっていただき、虐待ケース会議等を充実させるほか、専門カウンセリング事業の実施により被害者の心理的ケアを図るなど大きな効果が得られた。今後も児童虐待の未然防止に向けた啓発事業等を推進し、東部児童相談所ほか関係機関と連携を図りながら、子どもたちを虐待から守るための体制強化に努めていくことが重要である。</p>																																																																								
(単位：円)																																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	3,369,000		3,010,807		942,000			2,068,807																																																																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																														
	1 項	社会福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																														
	12 目	権利擁護推進費		(4)	認知症高齢者と家族を支援する		()																																																																														
実施計画掲載ページ		P 98	中 事 業	虐待防止センター事業費																																																																																	
事業コード		004-004-004-00611	事 業 名	虐待防止センター事業																																																																																	
<p>目的及び事業内容</p> <p>高齢者虐待や障害者虐待、ドメスティックバイオレンスは尊厳を著しく侵し、その自立及び社会参加に深刻な影響を与えることから、虐待等の未然防止や重症化を防ぐための体制整備を行い、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して暮らせることを目的とする。 また、事業の複雑化・重症化に伴い、専門的見地からの支援が必要となるケースが増加してきたことから、虐待対応への専門的知識と技術を持つ専門職を配置し、体制を整備するとともに、虐待に対する理解促進と未然防止のための啓発事業の実施のほか、重症化防止及び権利擁護のため支援事業を行う。</p>																																																																																					
<p>取組実績</p> <p>虐待を受けた高齢者・障害者及びDV被害者の保護並びに自立支援と養護者に対する支援措置等を実施して重症化の防止を図るとともに、虐待防止の啓発に向けて周知に取り組んだ。</p> <p>1 高齢者虐待防止事業 (1) 老人特例保護措置⇒ 令和元年度利用人数 1人 延べ60日利用 (2) 緊急一時保護事業（家庭内暴力防止支援事業）⇒ 令和元年度利用人数 2人 延べ36日利用 (3) 高齢者権利擁護委託事業⇒ 権利擁護支援のため弁護士相談委託</p> <p>2 障害者虐待防止事業 (1) 障害者虐待家庭訪問個別支援事業⇒ 令和元年度利用実績なし (2) 緊急一時保護事業⇒ 令和元年度利用実績なし</p> <p>3 DV被害者支援事業 (1) DV被害者支援施策 ア 緊急一時保護⇒ 令和元年度実績 1件 イ 母子生活支援施設入所措置⇒ 令和2年3月末現在 2世帯4人利用中 ウ 保護命令申請同行支援事務 エ 住民基本台帳事務における支援措置（住民票、戸籍附票の閲覧制限） (2) 専門カウンセリング及び弁護士相談による助言 (3) 配偶者暴力相談支援センター事業⇒ 相談対応25人(延べ116人対応)、証明書発行4人</p> <p>4 虐待関連出前講座等 ・高齢者の権利擁護を守るはなし 3回 80人参加 ・各種虐待及びDVについて 3回 92人参加</p> <p>5 DV・虐待防止の啓発事業 (1) パンフレットの作成 3種 2,400部 (2) ラジオ石巻による放送 週2回(火・木)</p>																																																																																					
<p>成果</p> <p>高齢者・障害者等の虐待及びDVの未然防止対策や早期発見のため、研修会・啓発講演等を実施するとともに、要援護者・被害者等に対し適切な支援を行った。</p> <p>各種虐待の新規相談実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">虐待種別</th> <th colspan="3">相談件数</th> <th colspan="3">虐待確認</th> <th colspan="3">一時保護</th> <th colspan="3">入所措置</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者</td> <td>61</td> <td>40</td> <td>75</td> <td>48</td> <td>36</td> <td>73</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>DV・女性相談</td> <td>25</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>93</td> <td>78</td> <td>125</td> <td>73</td> <td>56</td> <td>108</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>									虐待種別	相談件数			虐待確認			一時保護			入所措置			H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	高齢者	61	40	75	48	36	73	2	0	2	1	2	1	障害者	7	7	15	2	4	12	0	0	0	0	0	0	DV・女性相談	25	31	35	23	16	23	5	1	1	0	1	0	合 計	93	78	125	73	56	108	7	1	3	1	3	1
虐待種別	相談件数			虐待確認			一時保護			入所措置																																																																											
	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1																																																																									
高齢者	61	40	75	48	36	73	2	0	2	1	2	1																																																																									
障害者	7	7	15	2	4	12	0	0	0	0	0	0																																																																									
DV・女性相談	25	31	35	23	16	23	5	1	1	0	1	0																																																																									
合 計	93	78	125	73	56	108	7	1	3	1	3	1																																																																									
<p>成果に係る評価</p> <p>本市の高齢者虐待の相談件数は大幅に増加しており、その要因としては、介護疲れや認知症の理解不足のほか、虐待者自身が精神疾患や知的障害等を抱えた場合が多く、問題が複雑化し対応が困難な事案が増えている。生命に危険が及ぶようなケースに対しては警察の臨場を要請、地域包括支援センターやケアマネジャーなどの協力を得ながら、高齢者の生活状況の見守りを行うなど相互の連携を図ることができた。また、DV・女性相談についても、相談の事案が複雑化・深刻化しており、必要に応じて弁護士から法的助言をいただき、被害者等の心身の回復と安全確保を優先し支援を行うことができた。 虐待等への対応については、専門性をもった支援が求められるため、虐待防止専門官(警察0B)や見識者(教員0B)を配置し対応にあたっているが、今後も職員の資質向上を図るとともに、DV及び虐待の防止に努めていく必要がある。</p>																																																																																					
(単位：円)																																																																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																													
	8,627,000		7,752,423		6,082,431			1,669,992																																																																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()																									
	13 目	生活困窮者自立支援費		(2)	生活保護制度等を適正に運用する		()																									
実施計画掲載ページ		P 65		中 事 業	自立相談支援事業費、住居確保給付事業費																											
事業コード		004-001-002-01106		事 業 名	生活困窮者自立支援事業																											
目的及び事業内容		生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応じる相談窓口となり、抱えている課題を踏まえた支援を行う。 離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれのある者に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労自立を図る。 生活困窮世帯の子どもへの貧困の連鎖を防ぐ目的で、生活保護世帯を含む生活困窮世帯の子ども及びその保護者に対し、養育相談、日常生活習慣の取得、高校進学、学び直しの機会提供、高校中退防止等に関する支援を業務委託により行う。																														
取組実績		<p>1 自立相談支援事業 担当課長補佐1名、主任相談員1名、相談支援員（兼就労支援員）2名を保護課に配置し、生活困窮者の相談に応じ個々人の状況に合った支援計画の作成や就労支援等を実施した。</p> <p>2 住居確保給付金の支給 離職等により住居を失った又はそのおそれのある者であって、資産・所得が一定基準以下の者に対し、就職活動を要件に原則3か月間（9か月まで延長可）を限度として生活保護の住宅扶助の特別基準額を上限に住居確保給付金を支給する。令和元年度は1件の申請があり、支給に至った。</p> <p>3 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業 生活保護受給世帯及び準要保護世帯、自立相談支援窓口での支援プラン対象世帯の小学校4年生から高校生までの児童生徒とその保護者を対象に、市内5か所に学習支援教室を開設。その他通所困難な者に対し訪問型での学習等支援を実施した。令和元年度末時点での利用者数は79名であった。</p>																														
成 果		<p>支援が必要な相談者に対して支援プランを策定し、ハローワーク等と連携した計画的かつ継続的な支援を包括的に実施した結果、就労等による自立助長が図られた。また、支援プラン策定に至らない相談者に対しては、相談支援員からの助言や各種関係機関へのつなぎを適切に行うことにより、生活困窮者に対して必要な支援の提供を行うことで新しいセーフティネットの構築を実現した。</p> <p>支援計画作成率等（総合計画実施計画の活動指標・成果指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談案件数</td> <td>66 件</td> <td>131 件</td> <td>135 件</td> </tr> <tr> <td>支援計画作成件数</td> <td>24 件</td> <td>15 件</td> <td>13 件</td> </tr> <tr> <td>支援計画作成率（活動指標、目標25.0%）</td> <td>36.4 %</td> <td>11.5 %</td> <td>9.6 %</td> </tr> <tr> <td>支援計画達成件数</td> <td>7 件</td> <td>9 件</td> <td>7 件</td> </tr> <tr> <td>支援計画達成率（成果指標、目標50.0%）</td> <td>29.2 %</td> <td>60.0 %</td> <td>53.8 %</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H29	H30	R1	新規相談案件数	66 件	131 件	135 件	支援計画作成件数	24 件	15 件	13 件	支援計画作成率（活動指標、目標25.0%）	36.4 %	11.5 %	9.6 %	支援計画達成件数	7 件	9 件	7 件	支援計画達成率（成果指標、目標50.0%）	29.2 %	60.0 %	53.8 %
年度	H29	H30	R1																													
新規相談案件数	66 件	131 件	135 件																													
支援計画作成件数	24 件	15 件	13 件																													
支援計画作成率（活動指標、目標25.0%）	36.4 %	11.5 %	9.6 %																													
支援計画達成件数	7 件	9 件	7 件																													
支援計画達成率（成果指標、目標50.0%）	29.2 %	60.0 %	53.8 %																													
成果に係る評価		生活困窮者自立支援事業は、「各種制度の狭間」にある困窮状態にある者に対し、情報の提供や助言等によって、困窮状態からの早期脱却を支援する制度である。 これまで実施してきた事業に加え、令和2年度から就労準備支援事業と家計改善支援事業が開始されることにより、単に「経済的な困窮」からの脱却を目指すだけでなく、利用者の社会参加が円滑に進むよう、積極的な事業展開を図っていく必要があると考える。																														
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																										
	26,735,000	25,854,584	14,650,302			11,204,282																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																
	1 項	社会福祉費		第 節			(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																
	14 目	東日本大震災関係費		()			(3)	地域福祉の復旧・復興																
実施計画掲載ページ		P 187		中 事 業	ささえあいセンター建設事業費																			
事業コード		002-103-003-01161		事 業 名	(仮称)ささえあいセンター整備事業（津波復興拠点整備分） 〔復興交付金〕〔復興基金〕																			
目的及び事業内容		本市は、震災により、地域力が衰退し、地域コミュニティの低下や住民の孤立・孤独化を招く恐れがあることから、地域での助け合いや支え合うことのできる社会づくりを推進していく必要がある。このことから石巻市ささえあいセンターは、全ての市民が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、保健、介護、福祉を地域と連携して一体的に提供する「地域包括ケアを推進する拠点」として整備することで、地域での助け合いや支え合うことのできる社会づくりの礎となることを目的とする。なお、災害時には福祉避難所として、迅速かつ適切な被災者支援を行うことを目的とする。																						
取組実績		<p>1 石巻市ささえあいセンター建設概要</p> <p>(1) 敷地面積 2,944.66㎡ (2) 構造/規模 鉄骨造/地上3階建 (3) 延床面積 4,256.61㎡</p> <p>2 令和元年度建設工事費</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①調査設計・事務費</td> <td>15,436,122円</td> </tr> <tr> <td>②工事請負費</td> <td>1,502,989,200円</td> </tr> <tr> <td>③工事監理業務委託料</td> <td>24,192,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,542,617,322円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 総事業費</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①用地・調査設計・事務費</td> <td>567,523,745円</td> </tr> <tr> <td>②工事請負費</td> <td>1,685,279,200円</td> </tr> <tr> <td>③工事監理業務委託料</td> <td>24,192,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,276,994,945円</td> </tr> </tbody> </table>							①調査設計・事務費	15,436,122円	②工事請負費	1,502,989,200円	③工事監理業務委託料	24,192,000円	合 計	1,542,617,322円	①用地・調査設計・事務費	567,523,745円	②工事請負費	1,685,279,200円	③工事監理業務委託料	24,192,000円	合 計	2,276,994,945円
①調査設計・事務費	15,436,122円																							
②工事請負費	1,502,989,200円																							
③工事監理業務委託料	24,192,000円																							
合 計	1,542,617,322円																							
①用地・調査設計・事務費	567,523,745円																							
②工事請負費	1,685,279,200円																							
③工事監理業務委託料	24,192,000円																							
合 計	2,276,994,945円																							
成 果		用地契約については、平成26年度から平成30年度で完了した。 建設工事については、平成31年1月11日に着工し令和2年3月25日に完成した。																						
成果に係る評価		建設工事については、滞りなく期日までに完成し、地域包括ケアの推進拠点として整備したことで、地域での支え合う社会づくりを推進することが期待できる。 また、災害時には福祉避難所の機能を有することから、迅速かつ適切な要支援者の支援を行うことが期待できる。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
	1,988,710,000	1,542,617,322				1,177,050,139 365,567,183																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																												
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																												
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		()																																																																												
実施計画掲載ページ		P 89		中 事 業	敬老祝金支給事業費																																																																														
事業コード		004-004-001-00086		事 業 名	敬老祝金支給事業																																																																														
目的及び事業内容		88歳を迎える高齢者に敬老祝金を、100歳を迎える高齢者に特別敬老祝金を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表すとともに、高齢福祉の関心を深め、福祉の向上を図る。																																																																																	
取組実績		<p>1 敬老祝金等支給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>856人</td> <td>8,560,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>100,000円</td> <td>3人</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>200,000円</td> <td>23人</td> <td>4,600,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>882人</td> <td>13,460,000円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>917人</td> <td>9,170,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>75,000円</td> <td>3人</td> <td>225,000円</td> </tr> <tr> <td>150,000円</td> <td>40人</td> <td>6,000,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>960人</td> <td>15,395,000円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>916人</td> <td>9,160,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>75,000円</td> <td>4人</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>150,000円</td> <td>30人</td> <td>4,500,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>950人</td> <td>13,960,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 受給資格及び支給額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>祝金</th> <th>受給資格者</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敬老祝金 88歳</td> <td>88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>特別敬老祝金 100歳</td> <td>100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者</td> <td>・3年以上10年未満 50,000円 ・10年以上 100,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高齢者人口の増加による事業費の増加が見込まれることから、平成30年度より特別敬老祝金の金額を改正した。(ただし、平成30年度から令和2年度の3年間は経過措置により、表中「50,000円」については「75,000円」、「100,000円」については「150,000円」としている。)</p>							年度	区分	金額	人数	支給額	H29	88歳	10,000円	856人	8,560,000円	100歳	100,000円	3人	300,000円	200,000円	23人	4,600,000円	計			882人	13,460,000円	年度	区分	金額	人数	支給額	H30	88歳	10,000円	917人	9,170,000円	100歳	75,000円	3人	225,000円	150,000円	40人	6,000,000円	計			960人	15,395,000円	年度	区分	金額	人数	支給額	R1	88歳	10,000円	916人	9,160,000円	100歳	75,000円	4人	300,000円	150,000円	30人	4,500,000円	計			950人	13,960,000円	祝金	受給資格者	支給額	敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円	特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	・3年以上10年未満 50,000円 ・10年以上 100,000円
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																															
H29	88歳	10,000円	856人	8,560,000円																																																																															
	100歳	100,000円	3人	300,000円																																																																															
		200,000円	23人	4,600,000円																																																																															
計			882人	13,460,000円																																																																															
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																															
H30	88歳	10,000円	917人	9,170,000円																																																																															
	100歳	75,000円	3人	225,000円																																																																															
		150,000円	40人	6,000,000円																																																																															
計			960人	15,395,000円																																																																															
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																															
R1	88歳	10,000円	916人	9,160,000円																																																																															
	100歳	75,000円	4人	300,000円																																																																															
		150,000円	30人	4,500,000円																																																																															
計			950人	13,960,000円																																																																															
祝金	受給資格者	支給額																																																																																	
敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円																																																																																	
特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	・3年以上10年未満 50,000円 ・10年以上 100,000円																																																																																	
成 果	高齢者に対し、敬老祝金等を支給したことで、長寿を祝い、敬老の意を表すとともに、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図ることができた。																																																																																		
成果に係る評価	長年に渡り社会の発展に貢献された高齢者に対し、祝金を支給し、長寿を祝い、敬意を表することで、高齢者福祉への関心が深まるとともに、周囲の高齢者の健康への意識も高まり、福祉の向上が図られた。																																																																																		
(単位：円)																																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																													
	14,440,000	14,065,246					14,065,246																																																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																											
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																											
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		()																																																																											
実施計画掲載ページ		P 90		中 事 業	敬老会費																																																																													
事業コード		004-004-001-00087		事 業 名	敬老会開催事業																																																																													
目的及び事業内容		77歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催し、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表するとともに心身の健康意識の向上を図る。																																																																																
取組実績		77歳以上の高齢者を対象に、長年の功績と長寿を祝うため、市内7地区9会場(社鹿地区3会場)で敬老会を開催。式典とアトラクションの2部構成とし、アトラクションを重視した内容とした。また、震災以降の居住環境の変化を考慮し、市内いずれの会場でも参加可能とした。平成30年度に実施した対象者へのアンケート結果を踏まえ、市主催で開催し、令和元年度は77歳の新規敬老者へ会場での記念品配布を行い、事前に希望された場合には記念品のみの受け取りも可とした。																																																																																
成 果		<p>1 令和元年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 区</th> <th>開催会場</th> <th>開催日</th> <th>対象者数 A</th> <th>出席者数 B</th> <th>記念品のみ C</th> <th>出席率 B/A</th> <th>参加率 (B+C)/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>石巻専修大学</td> <td>9月8日</td> <td>14,108人</td> <td>676人</td> <td>812人</td> <td>4.8%</td> <td>10.5%</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>河北総合センター(ビッグバン)</td> <td>9月14日</td> <td>1,922人</td> <td>243人</td> <td>70人</td> <td>12.6%</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>雄勝小・中学校</td> <td>9月28日</td> <td>390人</td> <td>68人</td> <td>13人</td> <td>17.4%</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>遊楽館</td> <td>9月7日</td> <td>2,856人</td> <td>391人</td> <td>100人</td> <td>13.7%</td> <td>17.2%</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>桃生農業者トレーニングセンター</td> <td>9月7日</td> <td>1,176人</td> <td>225人</td> <td>19人</td> <td>19.1%</td> <td>20.7%</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>北上保健医療センター</td> <td>9月7日</td> <td>479人</td> <td>77人</td> <td>32人</td> <td>16.1%</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">社鹿地区</td> <td>社鹿保健福祉センター(清優館)</td> <td>9月8日</td> <td rowspan="2">627人</td> <td rowspan="2">102人</td> <td rowspan="2">30人</td> <td rowspan="2">16.3%</td> <td rowspan="2">21.1%</td> </tr> <tr> <td>長渡地区振興会館 網田地区自治会館</td> <td>9月11日</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>21,558人</td> <td>1,782人</td> <td>1,076人</td> <td>8.3%</td> <td>13.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者数は9月開催時点の人数である。 ※社鹿地区(9月11日)の長渡地区振興会館は午前、網田地区自治会館は午後の会場である。 上記会場及び日程で各地区ごとに敬老会を開催、全体の参加率は13.3%となった。</p> <p>2 平成29年度及び平成30年度の実績 平成29年度：対象者数20,750人、出席者1,661人、出席率8.0% 平成30年度：対象者数21,221人、出席者1,652人、出席率7.8% 出席率は8.3%と昨年に比べて0.5%の微増であったが、記念品のみの受け取りを含めた参加率は13.3%となっており、記念品のみの受け取りを可とした結果、より多くの高齢者に敬老の意を表することが出来た。特に石巻地区においては出席者数を上回る受領者数となり、記念品に対する関心が高いことがうかがえた。 対象者により関心を持っていただけるよう、引き続き内容を工夫していく必要がある。</p>							地 区	開催会場	開催日	対象者数 A	出席者数 B	記念品のみ C	出席率 B/A	参加率 (B+C)/A	石巻地区	石巻専修大学	9月8日	14,108人	676人	812人	4.8%	10.5%	河北地区	河北総合センター(ビッグバン)	9月14日	1,922人	243人	70人	12.6%	16.3%	雄勝地区	雄勝小・中学校	9月28日	390人	68人	13人	17.4%	20.8%	河南地区	遊楽館	9月7日	2,856人	391人	100人	13.7%	17.2%	桃生地区	桃生農業者トレーニングセンター	9月7日	1,176人	225人	19人	19.1%	20.7%	北上地区	北上保健医療センター	9月7日	479人	77人	32人	16.1%	22.8%	社鹿地区	社鹿保健福祉センター(清優館)	9月8日	627人	102人	30人	16.3%	21.1%	長渡地区振興会館 網田地区自治会館	9月11日	合 計			21,558人	1,782人	1,076人	8.3%	13.3%
地 区	開催会場	開催日	対象者数 A	出席者数 B	記念品のみ C	出席率 B/A	参加率 (B+C)/A																																																																											
石巻地区	石巻専修大学	9月8日	14,108人	676人	812人	4.8%	10.5%																																																																											
河北地区	河北総合センター(ビッグバン)	9月14日	1,922人	243人	70人	12.6%	16.3%																																																																											
雄勝地区	雄勝小・中学校	9月28日	390人	68人	13人	17.4%	20.8%																																																																											
河南地区	遊楽館	9月7日	2,856人	391人	100人	13.7%	17.2%																																																																											
桃生地区	桃生農業者トレーニングセンター	9月7日	1,176人	225人	19人	19.1%	20.7%																																																																											
北上地区	北上保健医療センター	9月7日	479人	77人	32人	16.1%	22.8%																																																																											
社鹿地区	社鹿保健福祉センター(清優館)	9月8日	627人	102人	30人	16.3%	21.1%																																																																											
	長渡地区振興会館 網田地区自治会館	9月11日																																																																																
合 計			21,558人	1,782人	1,076人	8.3%	13.3%																																																																											
(単位：円)																																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
	13,147,000	13,141,198					13,141,198																																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()													
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		()													
実施計画掲載ページ		P 90	中 事 業	高齢者保健福祉事業費																
事業コード		004-004-001-00106	事 業 名	老人クラブ活動費補助事業																
目的及び事業内容		高齢者の孤立感の解消と社会交流を図り、高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し活動費補助金を交付することにより、老人クラブ等の自主的活動を支援する。																		
取組実績		<p>1 老人クラブへの補助基準額 会員数10人以上 35人未満：34,000円 35人以上70人未満：50,000円 70人以上100人未満：60,000円 100人以上：70,000円</p> <p>2 老人クラブ連合会への補助金額：会員数割（1人当たり150円）＋基本額</p> <p>3 団体数及び会員数推移（年度末数値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>92団体</td> <td>3,125人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>84団体</td> <td>2,762人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>78団体</td> <td>2,421人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	団体数	会員数	H29	92団体	3,125人	H30	84団体	2,762人	R1	78団体	2,421人
区分	団体数	会員数																		
H29	92団体	3,125人																		
H30	84団体	2,762人																		
R1	78団体	2,421人																		
成 果		<p>各老人クラブ及び老人クラブ連合会へ活動費補助金を交付することで、老人クラブ等の自主的活動が支援でき、地域社会及び関係諸団体等との社会交流、高齢者の生きがいの向上と福祉の増進が図られた。</p> <p>1 老人クラブに対する補助金 補助金交付クラブ数：78クラブ 交付補助金額：3,236,000円 クラブ会員数：2,421人（男：943人 女：1,478人） 【内訳】 34,000円×44クラブ 50,000円×31クラブ 60,000円×2クラブ 70,000円×1クラブ</p> <p>2 老人クラブ連合会に対する補助金 補助金交付団体：石巻市老人クラブ連合会 交付補助金額：1,506,000円 【内訳】 会員数割 2,420人×150円＝363,000円 基本額 1,143,000円 （会員数割の基準日は4月1日）</p>																		
成果に係る評価		平成30年度より団体数、会員数ともに減少となり、震災以降の会員減少が続いている。市報に会員募集案内を掲載するなど老人クラブの存在をアピールする取組を行っているが、会員の高齢化に伴う会長や役員の担い手不足から活動を休止するクラブもあり、会員増加には至らなかった。老人クラブは高齢者の孤立感の解消と社会交流を図り、高齢者の生きがいを高めるためには必要であり、今後もその存在を周知し、本事業を継続し自主的活動支援する必要がある。																		
（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
	4,742,000		4,742,000		1,884,000			2,858,000												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																																							
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																																																																																							
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()																																																																																																																																							
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業費																																																																																																																																										
事業コード		004-004-002-00099	事 業 名	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業																																																																																																																																										
目的及び事業内容		在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を配備して、日常生活の安全を確保するとともに、精神的な不安を解消して福祉の増進を図る。																																																																																																																																												
取組実績		<p>【緊急通報システム設置状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 分</th> <th>全体</th> <th>本 庁</th> <th>河 北</th> <th>雄 勝</th> <th>河 南</th> <th>桃 生</th> <th>北 上</th> <th>牡 鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>年度末設置者数</td> <td>283人</td> <td>179人</td> <td>39人</td> <td>8人</td> <td>23人</td> <td>16人</td> <td>13人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>36人</td> <td>22人</td> <td>8人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>年度末設置者数</td> <td>286人</td> <td>186人</td> <td>30人</td> <td>8人</td> <td>28人</td> <td>16人</td> <td>12人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>33人</td> <td>22人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>年度末設置者数</td> <td>291人</td> <td>184人</td> <td>28人</td> <td>14人</td> <td>29人</td> <td>17人</td> <td>13人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>33人</td> <td>19人</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※被災者見守りシステムとの合算設置件数は、平成29年度506件、平成30年度516件、令和元年度535件</p> <p>【参考：被災者見守りシステム設置状況等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 分</th> <th>全体</th> <th>本 庁</th> <th>河 北</th> <th>雄 勝</th> <th>河 南</th> <th>桃 生</th> <th>北 上</th> <th>牡 鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>年度末設置者数</td> <td>223人</td> <td>207人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>48人</td> <td>46人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>年度末設置者数</td> <td>230人</td> <td>217人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>32人</td> <td>32人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>年度末設置者数</td> <td>244人</td> <td>231人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>35人</td> <td>35人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度予算の執行状況 予算額：6,627,000円、決算額4,764,013円（財源は、全額国庫補助金（被災者支援総合交付金））</p>							年度	区 分	全体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	H29	年度末設置者数	283人	179人	39人	8人	23人	16人	13人	5人	新規設置者数	36人	22人	8人	0人	3人	2人	0人	1人	H30	年度末設置者数	286人	186人	30人	8人	28人	16人	12人	6人	新規設置者数	33人	22人	1人	0人	6人	1人	2人	1人	R1	年度末設置者数	291人	184人	28人	14人	29人	17人	13人	6人	新規設置者数	33人	19人	1人	6人	3人	3人	1人	0人	年度	区 分	全体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	H29	年度末設置者数	223人	207人	6人	1人	4人	2人	0人	3人	新規設置者数	48人	46人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	H30	年度末設置者数	230人	217人	4人	1人	3人	2人	0人	3人	新規設置者数	32人	32人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	R1	年度末設置者数	244人	231人	4人	1人	3人	1人	0人	4人	新規設置者数	35人	35人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
年度	区 分	全体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿																																																																																																																																					
H29	年度末設置者数	283人	179人	39人	8人	23人	16人	13人	5人																																																																																																																																					
	新規設置者数	36人	22人	8人	0人	3人	2人	0人	1人																																																																																																																																					
H30	年度末設置者数	286人	186人	30人	8人	28人	16人	12人	6人																																																																																																																																					
	新規設置者数	33人	22人	1人	0人	6人	1人	2人	1人																																																																																																																																					
R1	年度末設置者数	291人	184人	28人	14人	29人	17人	13人	6人																																																																																																																																					
	新規設置者数	33人	19人	1人	6人	3人	3人	1人	0人																																																																																																																																					
年度	区 分	全体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿																																																																																																																																					
H29	年度末設置者数	223人	207人	6人	1人	4人	2人	0人	3人																																																																																																																																					
	新規設置者数	48人	46人	1人	0人	0人	0人	0人	1人																																																																																																																																					
H30	年度末設置者数	230人	217人	4人	1人	3人	2人	0人	3人																																																																																																																																					
	新規設置者数	32人	32人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																																																																					
R1	年度末設置者数	244人	231人	4人	1人	3人	1人	0人	4人																																																																																																																																					
	新規設置者数	35人	35人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																																																																					
成 果		令和元年度の設置数は291件であり、全体では昨年度より5件の増加、新規設置数は33件で昨年度と同様となっている。ひとり暮らし高齢者等の日常生活上の安全確保と精神的な不安の解消が図られた。																																																																																																																																												
成果に係る評価		本市では、ひとり暮らしの高齢者数が増えており、家庭や地域の関係性の希薄化が進む中、緊急時の連絡や安否確認の上で非常に有効なシステムであると考えられることから、今後も高齢者が安心して暮らしていくために、高齢者及び地域の支援者等への周知を行い、新規設置者の増加を図っていく必要がある。																																																																																																																																												
（単位：円）																																																																																																																																														
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																																																									
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																						
	4,766,408		4,692,537				24,000	4,668,537																																																																																																																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																				
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																				
	2 目	在宅老人福祉費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()																																																																				
実施計画掲載ページ		P 96	中 事 業	デイサービス事業関係費																																																																							
事業コード		004-004-003-00091	事 業 名	生きがいデイサービス事業																																																																							
目的及び事業内容		65歳以上の家に閉じこもりがちで心身の機能は自立している高齢者が利用できるサービスで、生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練、各種教養講座、健康チェックなどを行い、対象者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。																																																																									
取組実績		<p>各地区の公共施設や集会所において、バイタルチェックやうちわ卓球などの運動、健康相談などを実施するとともに、地区によっては送迎を行い、利便性を高め、高齢者が参加しやすい環境を整えることにより、高齢者の閉じこもり防止に努めた。</p> <p>登録者及び会場数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者</td> <td>77人</td> <td>37人</td> <td>76人</td> <td>157人</td> <td>146人</td> <td>91人</td> <td>32人</td> <td>616人</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>9か所</td> <td>2か所</td> <td>5か所</td> <td>6か所</td> <td>17か所</td> <td>8か所</td> <td>2か所</td> <td>49か所</td> </tr> </tbody> </table>							区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	登録者	77人	37人	76人	157人	146人	91人	32人	616人	会場数	9か所	2か所	5か所	6か所	17か所	8か所	2か所	49か所																																								
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																			
登録者	77人	37人	76人	157人	146人	91人	32人	616人																																																																			
会場数	9か所	2か所	5か所	6か所	17か所	8か所	2か所	49か所																																																																			
成 果		<p>創作活動や日常動作訓練を通じて、高齢者の心身機能の維持向上に資することができ、在宅高齢者の福祉の増進が図られた。</p> <p>利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>実施回数</td> <td>199回</td> <td>28回</td> <td>45回</td> <td>300回</td> <td>204回</td> <td>142回</td> <td>96回</td> <td>1,014回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,536人</td> <td>326人</td> <td>302人</td> <td>3,170人</td> <td>1,750人</td> <td>1,211人</td> <td>814人</td> <td>9,109人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>実施回数</td> <td>199回</td> <td>20回</td> <td>41回</td> <td>304回</td> <td>204回</td> <td>140回</td> <td>100回</td> <td>1,008回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,554人</td> <td>335人</td> <td>291人</td> <td>2,825人</td> <td>1,612人</td> <td>1,289人</td> <td>752人</td> <td>8,658人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>実施回数</td> <td>183回</td> <td>19回</td> <td>40回</td> <td>283回</td> <td>186回</td> <td>140回</td> <td>85回</td> <td>936回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,290人</td> <td>245人</td> <td>299人</td> <td>2,687人</td> <td>1,453人</td> <td>1,265人</td> <td>638人</td> <td>7,877人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	H29	実施回数	199回	28回	45回	300回	204回	142回	96回	1,014回	延利用者数	1,536人	326人	302人	3,170人	1,750人	1,211人	814人	9,109人	H30	実施回数	199回	20回	41回	304回	204回	140回	100回	1,008回	延利用者数	1,554人	335人	291人	2,825人	1,612人	1,289人	752人	8,658人	R1	実施回数	183回	19回	40回	283回	186回	140回	85回	936回	延利用者数	1,290人	245人	299人	2,687人	1,453人	1,265人	638人	7,877人
年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																		
H29	実施回数	199回	28回	45回	300回	204回	142回	96回	1,014回																																																																		
	延利用者数	1,536人	326人	302人	3,170人	1,750人	1,211人	814人	9,109人																																																																		
H30	実施回数	199回	20回	41回	304回	204回	140回	100回	1,008回																																																																		
	延利用者数	1,554人	335人	291人	2,825人	1,612人	1,289人	752人	8,658人																																																																		
R1	実施回数	183回	19回	40回	283回	186回	140回	85回	936回																																																																		
	延利用者数	1,290人	245人	299人	2,687人	1,453人	1,265人	638人	7,877人																																																																		
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルスの影響により3月はほとんど開催することができず、実施回数、延利用者数ともに例年より減少したものの、参加者からは、「事業に参加したことで、積極的に活動できるようになった」、「気持ち明るくなり、外出するようになった」といった評価をいただけており、高齢者の閉じこもりを防止するとともに、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることができた。</p> <p>これまでも課題としていた財源確保、事業費の見直しについては、地区によって異なるサービスレベルを見直すとともに、類似事業の整理及び地域主体の取組みへの転換を図る必要がある。</p>																																																																									
(単位：円)																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
	51,786,000	47,892,021				47,892,021																																																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																																																																			
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																																																																																																																			
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()																																																																																																																																																																			
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業	在宅高齢者サービス事業費																																																																																																																																																																						
事業コード		004-004-002-01105	事 業 名	在宅高齢者サービス事業																																																																																																																																																																						
目的及び事業内容		在宅において福祉サービスを必要とする高齢者（非課税世帯等）に対し、日常生活等の必要となる介護保険制度以外のサービスを提供する。（外出支援サービス、寝具洗濯乾燥消毒サービス、訪問理美容サービス、老人日常生活用具給付事業、バリアフリー住宅普及促進事業）																																																																																																																																																																								
取組実績		<p>1 外出支援サービス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>195人</td> <td>32人</td> <td>3人</td> <td>79人</td> <td>6人</td> <td>11人</td> <td>0人</td> <td>326人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>513件</td> <td>56件</td> <td>0件</td> <td>167件</td> <td>66件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> <td>808件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 2,898,200円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 寝具洗濯乾燥消毒サービス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>13人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>18件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 103,320円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 訪問理美容サービス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>27人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>43件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 69,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 老人日常生活用具給付事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>22,660円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>22,660円</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 バリアフリー住宅普及促進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>574,200円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>90,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>664,200円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	195人	32人	3人	79人	6人	11人	0人	326人	利用件数	513件	56件	0件	167件	66件	6件	0件	808件									金額 2,898,200円	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	13人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	16人	利用件数	18件	0件	0件	0件	0件	3件	0件	21件									金額 103,320円	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	27人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	28人	利用件数	43件	0件	0件	3件	0件	0件	0件	46件									金額 69,000円	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件	金額	22,660円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	22,660円	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	7件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	8件	金額	574,200円	0円	0円	0円	90,000円	0円	0円	664,200円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																																																																																																																		
助成券交付者数	195人	32人	3人	79人	6人	11人	0人	326人																																																																																																																																																																		
利用件数	513件	56件	0件	167件	66件	6件	0件	808件																																																																																																																																																																		
								金額 2,898,200円																																																																																																																																																																		
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																																																																																																																		
助成券交付者数	13人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	16人																																																																																																																																																																		
利用件数	18件	0件	0件	0件	0件	3件	0件	21件																																																																																																																																																																		
								金額 103,320円																																																																																																																																																																		
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																																																																																																																		
助成券交付者数	27人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	28人																																																																																																																																																																		
利用件数	43件	0件	0件	3件	0件	0件	0件	46件																																																																																																																																																																		
								金額 69,000円																																																																																																																																																																		
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																																																																																																																		
利用件数	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件																																																																																																																																																																		
金額	22,660円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	22,660円																																																																																																																																																																		
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																																																																																																																		
利用件数	7件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	8件																																																																																																																																																																		
金額	574,200円	0円	0円	0円	90,000円	0円	0円	664,200円																																																																																																																																																																		
成 果		<p>サービスを提供することで、対象者の生活支援及び介護者の負担軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付者数実績</th> <th>利用件数実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>459人</td> <td>1,171件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>424人</td> <td>1,051件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>380人</td> <td>885件</td> </tr> </tbody> </table>							区分	交付者数実績	利用件数実績	H29	459人	1,171件	H30	424人	1,051件	R1	380人	885件																																																																																																																																																						
区分	交付者数実績	利用件数実績																																																																																																																																																																								
H29	459人	1,171件																																																																																																																																																																								
H30	424人	1,051件																																																																																																																																																																								
R1	380人	885件																																																																																																																																																																								
成果に係る評価		<p>平成30年度に比べ、交付者数・利用者数が減少している。利用者の減少については、年度末の外出支援サービスがとりわけ大きく、新型コロナウイルス感染症による外出規制の影響と思われる。反対に、バリアフリー助成券については周知の成果もあり増加した。高齢化率の上昇により、今後も一定のニーズが見込まれるため、引き続き広報等での周知徹底に努めるとともに、高齢者を支える地域包括支援センターと連携し、事業を継続する必要がある。</p>																																																																																																																																																																								
(単位：円)																																																																																																																																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																																				
	4,918,000	3,765,476				3,765,476																																																																																																																																																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																			
	2 項	老人福祉費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																			
	4 目	老人保護費		(2)	生活支援を充実する		()																																			
実施計画掲載ページ		P 92	中 事 業		老人保護対策費																																					
事業コード		004-004-002-00092	事 業 名		老人保護対策事業																																					
目的及び事業内容 老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへの入所措置を行い、老人福祉の増進に資する。																																										
取組実績 1 老人ホーム入所等の生活相談受付 養護老人ホームの入所に際し、市民からの生活相談に応じた。 2 生活実態調査 養護老人ホームの入所を希望する者の生活状況等の実態調査を行った。 3 老人ホーム入所判定委員会の開催 2回 養護老人ホームへ措置する者の適否を審査した。 養護老人ホーム措置者数 令和2年3月31日現在 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th>万生園</th> <th>ひばり園</th> <th>松風荘</th> <th>松寿園</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>(石巻市)</th> <th>(美里町)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初入所者数</td> <td>64人</td> <td>12人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>増 新規入所者数</td> <td>11人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>減 退所者数</td> <td>14人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>年度末入所者数</td> <td>61人</td> <td>14人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>78人</td> </tr> </tbody> </table>									施設名	万生園	ひばり園	松風荘	松寿園	計	(石巻市)	(美里町)	(名取市)	(名取市)	年度当初入所者数	64人	12人	2人	1人	79人	増 新規入所者数	11人	2人	0人	1人	14人	減 退所者数	14人	0人	1人	0人	15人	年度末入所者数	61人	14人	1人	2人	78人
施設名	万生園	ひばり園	松風荘	松寿園	計																																					
	(石巻市)	(美里町)	(名取市)	(名取市)																																						
年度当初入所者数	64人	12人	2人	1人	79人																																					
増 新規入所者数	11人	2人	0人	1人	14人																																					
減 退所者数	14人	0人	1人	0人	15人																																					
年度末入所者数	61人	14人	1人	2人	78人																																					
成 果 環境的、経済的等の理由により、在宅での生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置することにより、老人福祉の増進が図られた。																																										
成果に係る評価 在宅での生活が困難である高齢者を対象に老人福祉法に基づく入所措置をすることで、生きがいを持ち、健康で安らかな生活を営むことができる環境を整備することができた。																																										
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	241,356,000	234,260,341			29,726,125	204,534,216																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																										
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																										
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																										
実施計画掲載ページ		P 84	中 事 業		民間保育所助成費																																																																																												
事業コード		004-003-001-00129	事 業 名		民間保育所助成事業																																																																																												
目的及び事業内容 市内に設置されている認可外保育施設の適正な運営と当該施設に勤務する職員の研究活動の助長を図るため、3歳未満の保育を行い、利用児童が6人以上で1日の保育時間が8時間を超え、かつ保育を通常午後まで行っている等の要件を満たす施設に対して補助金を交付する。																																																																																																	
取組実績 ■認可外保育施設の適正な運営を図るため、要件を満たす施設に補助金を交付した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">職員数</th> <th rowspan="2">対象延べ児童数</th> <th colspan="4">補 助 金 額 内 訳</th> </tr> <tr> <th>施設運営費</th> <th>児童保育費</th> <th>職員研究奨励費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所ちびっこランド石巻向陽園</td> <td>5人</td> <td>141人</td> <td>22,000円</td> <td>1,080,000円</td> <td>198,500円</td> <td>1,300,500円</td> </tr> <tr> <td>保育室フレンドくらぶ</td> <td>4人</td> <td>31人</td> <td>55,000円</td> <td>332,000円</td> <td>128,500円</td> <td>515,500円</td> </tr> <tr> <td>託児室びよちゃんらんど</td> <td>8人</td> <td>78人</td> <td>55,000円</td> <td>855,000円</td> <td>198,500円</td> <td>1,108,500円</td> </tr> <tr> <td>託児所 Petit Ange</td> <td>4人</td> <td>43人</td> <td>22,000円</td> <td>437,000円</td> <td>175,500円</td> <td>634,500円</td> </tr> <tr> <td>ハピネス保育園へびた</td> <td>9人</td> <td>243人</td> <td>55,000円</td> <td>2,658,000円</td> <td>245,500円</td> <td>2,958,500円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30人</td> <td>536人</td> <td>209,000円</td> <td>5,362,000円</td> <td>946,500円</td> <td>6,517,500円</td> </tr> </tbody> </table> ※過去8年間の推移（入所児童数は、各年度4月1日現在） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象施設数</td> <td>7施設</td> <td>6施設</td> <td>6施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>5施設</td> </tr> <tr> <td>対象施設定員数</td> <td>348人</td> <td>298人</td> <td>288人</td> <td>190人</td> <td>180人</td> <td>60人</td> <td>65人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>入所児童数</td> <td>162人</td> <td>155人</td> <td>121人</td> <td>107人</td> <td>93人</td> <td>32人</td> <td>23人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table>									施設名	職員数	対象延べ児童数	補 助 金 額 内 訳				施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	計	保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	141人	22,000円	1,080,000円	198,500円	1,300,500円	保育室フレンドくらぶ	4人	31人	55,000円	332,000円	128,500円	515,500円	託児室びよちゃんらんど	8人	78人	55,000円	855,000円	198,500円	1,108,500円	託児所 Petit Ange	4人	43人	22,000円	437,000円	175,500円	634,500円	ハピネス保育園へびた	9人	243人	55,000円	2,658,000円	245,500円	2,958,500円	合計	30人	536人	209,000円	5,362,000円	946,500円	6,517,500円	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	対象施設数	7施設	6施設	6施設	3施設	3施設	3施設	3施設	5施設	対象施設定員数	348人	298人	288人	190人	180人	60人	65人	96人	入所児童数	162人	155人	121人	107人	93人	32人	23人	26人
施設名	職員数	対象延べ児童数	補 助 金 額 内 訳																																																																																														
			施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	計																																																																																											
保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	141人	22,000円	1,080,000円	198,500円	1,300,500円																																																																																											
保育室フレンドくらぶ	4人	31人	55,000円	332,000円	128,500円	515,500円																																																																																											
託児室びよちゃんらんど	8人	78人	55,000円	855,000円	198,500円	1,108,500円																																																																																											
託児所 Petit Ange	4人	43人	22,000円	437,000円	175,500円	634,500円																																																																																											
ハピネス保育園へびた	9人	243人	55,000円	2,658,000円	245,500円	2,958,500円																																																																																											
合計	30人	536人	209,000円	5,362,000円	946,500円	6,517,500円																																																																																											
項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																									
対象施設数	7施設	6施設	6施設	3施設	3施設	3施設	3施設	5施設																																																																																									
対象施設定員数	348人	298人	288人	190人	180人	60人	65人	96人																																																																																									
入所児童数	162人	155人	121人	107人	93人	32人	23人	26人																																																																																									
成 果 平成27年度以降、対象施設は3施設であったが、交付要件を満たす施設が5施設となり、補助金を交付することで低年齢児の受入れを促し、意欲の向上に繋げられた。																																																																																																	
成果に係る評価 認可保育所や地域型保育事業の増加に伴い、利用児童は減少しているものの、現在の課題である待機児童の受け皿として、認可外保育施設もその一助となり、本事業を継続して実施することにより、運営の適正化と職員の資質向上を図る必要がある。																																																																																																	
(単位：円)																																																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																											
	6,517,500	6,517,500	2,448,000				4,069,500																																																																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																		
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																																																		
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																																																		
実施計画掲載ページ	P 84		中 事 業	私立認可保育所運営費																																																																																																																					
事業コード	004-003-001-00130		事 業 名	私立保育所助成事業																																																																																																																					
目的及び事業内容	私立認可保育所の運営の安定化と保育の受け皿を確保するため、運営費を支弁し、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。																																																																																																																								
取 組 実 績	<p>1 私立認可保育所に対して運営費・補助金の支弁を通じて、保育の受け皿を確保し、保護者の就労支援と児童福祉の増進に取り組んだ。</p> <p>2 私立認可保育所が実施している特別保育事業（延長保育事業）に係る補助金の支弁を通じて、児童の健全な育成と子育て家庭の就労支援に取り組んだ。</p> <p>【委託料等の内訳】</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>施設数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>16</td> <td>1,390,422,800円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>15</td> <td>7,648,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>1,398,070,800円</td> </tr> </table>									施設数	金額	委託料	16	1,390,422,800円	補助金	15	7,648,000円	合計	—	1,398,070,800円																																																																																																					
		施設数	金額																																																																																																																						
委託料	16	1,390,422,800円																																																																																																																							
補助金	15	7,648,000円																																																																																																																							
合計	—	1,398,070,800円																																																																																																																							
成 果	<p>子ども・子育て支援法に基づく支弁を行うことで、安定的な運営が図られ、就労支援と児童福祉の増進が図られた。（※延長保育事業は、各保育所で実施。但し、なかよし保育園を除く。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保 育 所 名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="4">入所児童数（4月1日現在）</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なかよし保育園</td> <td>60人</td> <td>67人</td> <td>63人</td> <td>61人</td> <td>一時預かり事業実施</td> </tr> <tr> <td>ひまわり保育園</td> <td>90人</td> <td>84人</td> <td>88人</td> <td>87人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>インターナショナルリスクール リンネ</td> <td>70人</td> <td>72人</td> <td>71人</td> <td>67人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>ブルーバードインターナショナルリスクール</td> <td>100人</td> <td>110人</td> <td>106人</td> <td>94人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>石巻ひがし保育園</td> <td>60人</td> <td>65人</td> <td>57人</td> <td>58人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>石巻たから保育園</td> <td>60人</td> <td>58人</td> <td>56人</td> <td>48人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>さくら保育園</td> <td>75人</td> <td>84人</td> <td>88人</td> <td>80人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズあゆみの保育園</td> <td>99人</td> <td>48人</td> <td>69人</td> <td>91人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>乳幼児保育園ミルク</td> <td>85人</td> <td>39人</td> <td>55人</td> <td>76人</td> <td>延長保育事業及び病後児保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>レインボーインターナショナルリスクール</td> <td>70人</td> <td>36人</td> <td>62人</td> <td>62人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズさくらまち保育園</td> <td>90人</td> <td>47人</td> <td>65人</td> <td>65人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズのぞみの保育園</td> <td>90人</td> <td>48人</td> <td>69人</td> <td>69人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>リルマーマイドインターナショナルリスクール</td> <td>60人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>広瀬保育所</td> <td>60人</td> <td>69人</td> <td>70人</td> <td>55人</td> <td>延長保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>メロン保育園</td> <td>140人</td> <td>159人</td> <td>158人</td> <td>159人</td> <td>延長保育事業実施、障害児受入</td> </tr> <tr> <td>アリス保育園</td> <td>70人</td> <td>76人</td> <td>73人</td> <td>76人</td> <td>延長保育事業実施、障害児受入</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,279人</td> <td>931人</td> <td>1,085人</td> <td>1,166人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）				備 考	H29	H30	R1		なかよし保育園	60人	67人	63人	61人	一時預かり事業実施	ひまわり保育園	90人	84人	88人	87人	延長保育事業実施	インターナショナルリスクール リンネ	70人	72人	71人	67人	延長保育事業実施	ブルーバードインターナショナルリスクール	100人	110人	106人	94人	延長保育事業実施	石巻ひがし保育園	60人	65人	57人	58人	延長保育事業実施	石巻たから保育園	60人	58人	56人	48人	延長保育事業実施	さくら保育園	75人	84人	88人	80人	延長保育事業実施	ケヤキッズあゆみの保育園	99人	48人	69人	91人	延長保育事業実施	乳幼児保育園ミルク	85人	39人	55人	76人	延長保育事業及び病後児保育事業実施	レインボーインターナショナルリスクール	70人	36人	62人	62人	延長保育事業実施	ケヤキッズさくらまち保育園	90人	47人	65人	65人	延長保育事業実施	ケヤキッズのぞみの保育園	90人	48人	69人	69人	延長保育事業実施	リルマーマイドインターナショナルリスクール	60人	18人	18人	18人	延長保育事業実施	広瀬保育所	60人	69人	70人	55人	延長保育事業実施	メロン保育園	140人	159人	158人	159人	延長保育事業実施、障害児受入	アリス保育園	70人	76人	73人	76人	延長保育事業実施、障害児受入	合計	1,279人	931人	1,085人	1,166人	
	保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）				備 考																																																																																																																		
H29			H30	R1																																																																																																																					
なかよし保育園	60人	67人	63人	61人	一時預かり事業実施																																																																																																																				
ひまわり保育園	90人	84人	88人	87人	延長保育事業実施																																																																																																																				
インターナショナルリスクール リンネ	70人	72人	71人	67人	延長保育事業実施																																																																																																																				
ブルーバードインターナショナルリスクール	100人	110人	106人	94人	延長保育事業実施																																																																																																																				
石巻ひがし保育園	60人	65人	57人	58人	延長保育事業実施																																																																																																																				
石巻たから保育園	60人	58人	56人	48人	延長保育事業実施																																																																																																																				
さくら保育園	75人	84人	88人	80人	延長保育事業実施																																																																																																																				
ケヤキッズあゆみの保育園	99人	48人	69人	91人	延長保育事業実施																																																																																																																				
乳幼児保育園ミルク	85人	39人	55人	76人	延長保育事業及び病後児保育事業実施																																																																																																																				
レインボーインターナショナルリスクール	70人	36人	62人	62人	延長保育事業実施																																																																																																																				
ケヤキッズさくらまち保育園	90人	47人	65人	65人	延長保育事業実施																																																																																																																				
ケヤキッズのぞみの保育園	90人	48人	69人	69人	延長保育事業実施																																																																																																																				
リルマーマイドインターナショナルリスクール	60人	18人	18人	18人	延長保育事業実施																																																																																																																				
広瀬保育所	60人	69人	70人	55人	延長保育事業実施																																																																																																																				
メロン保育園	140人	159人	158人	159人	延長保育事業実施、障害児受入																																																																																																																				
アリス保育園	70人	76人	73人	76人	延長保育事業実施、障害児受入																																																																																																																				
合計	1,279人	931人	1,085人	1,166人																																																																																																																					
成果による評価	私立認可保育所の運営の安定が図れることにより、各保育所の特色を生かした保育内容により保育の質が向上し、保護者が安心して児童を預けられる環境が整えられ、保護者の就労支援に結びついている。今後も引き続き事業を継続し、再編計画に基づき、民間事業者の誘致や公立施設等のこども園化を図りながら、待機児童の減少に取り組む必要がある。																																																																																																																								
予算の執行状況	（単位：円）																																																																																																																								
予算額	1,497,923,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																			
		1,398,070,800	976,088,446		95,016,770	326,965,584																																																																																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																																							
	3 項	児童福祉費		第 節			()																																																																							
	1 目	児童福祉総務費		()			()																																																																							
実施計画掲載ページ			中 事 業	地域型保育事業運営費																																																																										
事業コード			事 業 名	地域型保育事業																																																																										
目的及び事業内容	本市の地域型保育事業の運営の安定化と保育の受け皿の確保のため、地域型保育事業所（小規模保育事業所）に運営費を支弁し、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。																																																																													
取 組 実 績	<p>地域型保育事業所（小規模保育事業所）に対して、運営費を支弁し、運営の安定化を図り、保育の受け皿の確保に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名</th> <th>認可年月</th> <th>給付費等の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GENKIっこ保育園石巻園</td> <td>H27.4</td> <td>32,003,130円</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズへびた保育園</td> <td>H27.4</td> <td>36,821,510円</td> </tr> <tr> <td>ピーターパン石巻南中里園</td> <td>H28.4</td> <td>30,670,760円</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズにばんやち保育園</td> <td>H28.4</td> <td>37,713,420円</td> </tr> <tr> <td>ちるびよ</td> <td>H28.4</td> <td>42,918,910円</td> </tr> <tr> <td>石巻中里メリー保育園</td> <td>H29.4</td> <td>26,528,480円</td> </tr> <tr> <td>ハビネス保育園</td> <td>H29.4</td> <td>39,246,850円</td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>H29.7</td> <td>37,585,950円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>283,489,010円</td> </tr> </tbody> </table>								事業所名	認可年月	給付費等の額	GENKIっこ保育園石巻園	H27.4	32,003,130円	ケヤキッズへびた保育園	H27.4	36,821,510円	ピーターパン石巻南中里園	H28.4	30,670,760円	ケヤキッズにばんやち保育園	H28.4	37,713,420円	ちるびよ	H28.4	42,918,910円	石巻中里メリー保育園	H29.4	26,528,480円	ハビネス保育園	H29.4	39,246,850円	吉田保育園	H29.7	37,585,950円	合計		283,489,010円																																								
	事業所名	認可年月	給付費等の額																																																																											
GENKIっこ保育園石巻園	H27.4	32,003,130円																																																																												
ケヤキッズへびた保育園	H27.4	36,821,510円																																																																												
ピーターパン石巻南中里園	H28.4	30,670,760円																																																																												
ケヤキッズにばんやち保育園	H28.4	37,713,420円																																																																												
ちるびよ	H28.4	42,918,910円																																																																												
石巻中里メリー保育園	H29.4	26,528,480円																																																																												
ハビネス保育園	H29.4	39,246,850円																																																																												
吉田保育園	H29.7	37,585,950円																																																																												
合計		283,489,010円																																																																												
成 果	<p>子ども・子育て支援法に基づく支弁を行うことで、事業が安定的に運営でき、保護者の就労支援と児童福祉の増進に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業所名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="4">入所児童数（4月1日現在）</th> </tr> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GENKIっこ保育園石巻園</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育園ほこあぼこ</td> <td>15人</td> <td>13人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズへびた保育園</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>16人</td> <td>18人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピーターパン石巻南中里園</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>18人</td> <td>16人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズにばんやち保育園</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ちるびよ</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻中里メリー保育園</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>9人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハビネス保育園</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>12人</td> <td>18人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>19人</td> <td>13人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>160人</td> <td>144人</td> <td>138人</td> <td>126人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※平成29年度吉田保育園は7月1日現在</p>								事業所名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）				H29年度	H30年度	R1年度		GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	12人		保育園ほこあぼこ	15人	13人	10人	10人		ケヤキッズへびた保育園	19人	18人	16人	18人		ピーターパン石巻南中里園	19人	17人	18人	16人		ケヤキッズにばんやち保育園	19人	18人	17人	19人		ちるびよ	19人	17人	17人	17人		石巻中里メリー保育園	19人	17人	19人	9人		ハビネス保育園	19人	19人	12人	18人		吉田保育園	19人	13人	17人	17人		合計	160人	144人	138人	126人	
	事業所名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）																																																																											
H29年度			H30年度	R1年度																																																																										
GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	12人																																																																										
保育園ほこあぼこ	15人	13人	10人	10人																																																																										
ケヤキッズへびた保育園	19人	18人	16人	18人																																																																										
ピーターパン石巻南中里園	19人	17人	18人	16人																																																																										
ケヤキッズにばんやち保育園	19人	18人	17人	19人																																																																										
ちるびよ	19人	17人	17人	17人																																																																										
石巻中里メリー保育園	19人	17人	19人	9人																																																																										
ハビネス保育園	19人	19人	12人	18人																																																																										
吉田保育園	19人	13人	17人	17人																																																																										
合計	160人	144人	138人	126人																																																																										
成果に係る評価	地域型保育事業所（小規模保育事業所）の受入れにより、待機児童が多い0歳児から2歳児までの保育の受け皿の拡大に寄与している。しかしながら、保護者が入所を申し込む際は、2歳までの入所となる小規模保育事業所ではなく、就学前まで在籍できる保育所を希望している状況である。今後は、小規模保育事業所の卒園児受入れを切れ目のないよう調整を図り入所を促進する。																																																																													
予算の執行状況	（単位：円）																																																																													
予算額	324,821,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																								
		283,489,010	185,682,459			97,806,551																																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																
実施計画掲載ページ		P 87	中 事 業	保育士確保支援事業費																																																			
事業コード		004-003-001-01238	事 業 名	保育士確保支援事業																																																			
目的及び事業内容		市内私立保育施設へ就職する保育士へ就労支援金及び保育士資格取得支援金の交付を行うことにより、保育士資格取得の促進、保育施設への就職及び離職防止につなげ、保育の受け皿拡大に必要な保育人材の安定的な確保を図る。																																																					
取組実績		令和元年度は、20名(新規：7名、継続：13名)に対し、就労支援金として2,100,000円を交付した。																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>補助金額</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>人数</th> <th>交付額</th> <th>人数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">就労支援金</td> <td>就労開始時</td> <td>転入有</td> <td>2人</td> <td>400,000円</td> <td>1人</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>転入無</td> <td>11人</td> <td>1,100,000円</td> <td>6人</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>勤続1年後</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13人</td> <td>1,300,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資格取得支援金</td> <td>最大100,000円</td> <td>2人</td> <td>160,000円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>最大300,000円</td> <td>13人</td> <td>1,660,000円</td> <td>20人</td> <td>2,100,000円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分		補助金額	H30		R1					人数	交付額	人数	交付額	就労支援金	就労開始時	転入有	2人	400,000円	1人	200,000円		転入無	11人	1,100,000円	6人	600,000円	勤続1年後		-	-	13人	1,300,000円	資格取得支援金		最大100,000円	2人	160,000円	0人	0円	計		最大300,000円	13人	1,660,000円	20人	2,100,000円
区 分		補助金額	H30		R1																																																		
			人数	交付額	人数	交付額																																																	
就労支援金	就労開始時	転入有	2人	400,000円	1人	200,000円																																																	
		転入無	11人	1,100,000円	6人	600,000円																																																	
	勤続1年後		-	-	13人	1,300,000円																																																	
資格取得支援金		最大100,000円	2人	160,000円	0人	0円																																																	
計		最大300,000円	13人	1,660,000円	20人	2,100,000円																																																	
成 果		<p>昨年度からの継続者13名のほかに7名の新規就労保育士に対して、就労支援金を交付することにより、保育士の就職支援、離職防止及び安定した保育人材の確保が図られた。</p>																																																					
成果に係る評価		<p>保育士資格の新規取得者及び就労に寄与するため、本市が独自に実施している本事業について、関係機関等への周知を強化し、保育環境の充実に向けた取り組みを推進する必要がある。</p> <p>また、本事業については、令和2年度で終了(令和3年度以降は継続者のみ該当)となることから、有効求人倍率が2.05倍という保育士不足の現状を踏まえ、事業継続について検討する必要がある。</p>																																																					
(単位：円)																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
	3,100,000	2,100,000				2,100,000																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																											
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																											
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																											
実施計画掲載ページ		P 88	中 事 業	母子支援事業費																														
事業コード		004-003-001-00146	事 業 名	助産施設入所助成事業																														
目的及び事業内容		母子保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し出産費用を助成することにより、安心して出産ができるよう助産施設への入所を図る。																																
取組実績		<p>1 助産施設 県内8施設が対象</p> <table border="1"> <tr> <td>石巻赤十字病院</td> <td>仙台医療センター</td> <td>東北大学病院</td> </tr> <tr> <td>仙台市立病院</td> <td>仙台赤十字病院</td> <td>みやぎ県南中核病院</td> </tr> <tr> <td>大崎市民病院</td> <td>気仙沼市立病院</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 利用対象者</p> <table border="1"> <tr> <td>保健上必要</td> <td>異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等</td> </tr> <tr> <td>経済的理由</td> <td>一般の産科病院、診療所または助産所へ入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等</td> </tr> </table>							石巻赤十字病院	仙台医療センター	東北大学病院	仙台市立病院	仙台赤十字病院	みやぎ県南中核病院	大崎市民病院	気仙沼市立病院		保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等	経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所へ入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等													
石巻赤十字病院	仙台医療センター	東北大学病院																																
仙台市立病院	仙台赤十字病院	みやぎ県南中核病院																																
大崎市民病院	気仙沼市立病院																																	
保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等																																	
経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所へ入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等																																	
成 果		<p>経済的な理由により、助産施設を利用できない妊産婦の安全な出産確保が図られた。利用者は未婚者が多く、妊娠により就労困難や家族等の支援が乏しい場合も多いため、より安心して出産できるよう、相談・申請の段階において、保健師及び家庭児童相談員による適切な母子支援を行い、安心して出産できる体制づくりに努めた。</p> <p>〈利用実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">利用施設名</th> <th rowspan="2">利用者数</th> <th colspan="2">区 分</th> </tr> <tr> <th>普通分娩</th> <th>帝王切開</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>6人</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>東北大学病院</td> <td>2人</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>6人</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>4人</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用施設名	利用者数	区 分		普通分娩	帝王切開	H29	石巻赤十字病院	6人	6	0	東北大学病院	2人	2	0	H30	石巻赤十字病院	6人	5	1	R1	石巻赤十字病院	4人	2	2
年度	利用施設名	利用者数	区 分																															
			普通分娩	帝王切開																														
H29	石巻赤十字病院	6人	6	0																														
	東北大学病院	2人	2	0																														
H30	石巻赤十字病院	6人	5	1																														
R1	石巻赤十字病院	4人	2	2																														
成果に係る評価		<p>毎年、特定妊婦からの相談によるものが多く、妊産婦にとって出産費用とその後の養育費用は大きな負担となっていることから、この助成制度を利用することで金銭面での悩みが軽減し、安全な分娩に繋げることができた。</p> <p>今後も経済的理由等により入院助産を受けることができない方が安心して出産できるよう、病院及び各関係機関と連携を図りながら、より良い養育環境づくりに努めていく必要がある。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	4,400,000	2,927,771	2,095,012			832,759																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																	
実施計画掲載ページ		P 89		中 事 業	母子支援事業費																			
事業コード	004-003-001-00148		事 業 名	養育支援訪問事業（ホームヘルパー支援事業）																				
目的及び事業内容	<p>要保護児童対策の一環として、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、当該家庭の適切な養育の確保を図る。</p>																							
取組実績	<p>育児に対する強い不安や不衛生な生活環境にあるなど、特に養育支援が必要とされる家庭に対しホームヘルパー、保健師、助産師等を派遣し、家事援助や育児支援を行い、適切な養育環境の確保を実施した。</p> <p>1 対象者 (1) 生活環境等が不適切な養育状態にあり、虐待の恐れがある家庭 (2) 出産後、間もない時期（概ね1年程度）の養育者が育児ストレス等により強い不安を抱える家庭 (3) 若年の妊婦、望まない妊娠などで妊娠前から継続的な支援が必要とする家庭</p> <p>2 支援内容 (1) ホームヘルパーによる育児、家事の援助 (2) 保健師、助産師などによる専門的な育児指導及び栄養指導</p> <p>3 派遣可否の決定 「養育支援個別ケース検討会議」を開催し決定</p> <p>4 支援基準 1回2時間以内、1日2回まで</p> <p>5 委託先 社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会</p>																							
成 果	<p>ホームヘルパー等による育児・家事の援助及び子どもの養育に関する指導・助言などを行うことで、家事負担や育児不安の軽減が図られ、養育環境の改善と子どもの安全が守られた。</p> <p>【ホームヘルパー派遣利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用世帯数</th> <th>利用延回数</th> <th>派遣時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3世帯</td> <td>278回</td> <td>191.5時間</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2世帯</td> <td>103回</td> <td>103時間</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1世帯</td> <td>4回</td> <td>4時間</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数	H29	3世帯	278回	191.5時間	H30	2世帯	103回	103時間	R1	1世帯	4回	4時間
	年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数																				
H29	3世帯	278回	191.5時間																					
H30	2世帯	103回	103時間																					
R1	1世帯	4回	4時間																					
成果に係る評価	<p>ヘルパーが母親に寄り添いながら、買い物支援や部屋の掃除等を行ったが、ヘルパーを派遣しその家庭に入り込むことは、虐待リスクの軽減にも繋がることから、特に養育能力が低い母親の家庭や若年層で出産するケースには重要な事業である。</p> <p>今後も母親の育児ストレスが少しでも解消されるよう、サポート体制の充実に努め、本事業を継続して実施していく必要がある。</p>																							
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	360,000	8,960	6,000				2,960																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																	
実施計画掲載ページ		P 81		中 事 業	子ども・子育て利用者支援事業関係費																																			
事業コード	004-003-001-01045		事 業 名	子育て世代包括支援センター事業（地域子ども・子育て利用者支援事業）																																				
目的及び事業内容	<p>妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを目的とする。子ども又はその保護者に身近な場所で、教育・保育・保健その他の子ども・子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連携調整等を行う。</p>																																							
取組実績	<p>妊娠期から出産・子育て期までの各ステージを包括的に網羅する仕組みとして、地域子ども・子育て利用者支援事業を子育て世代包括支援センター事業と位置づけ平成28年11月より実施。基本型を子育て支援課、特定型を子ども保育課、母子保健型を健康推進課に置き、総合支所保健福祉課も一体化した体制とする。基本型の機能として子育て支援課では子育てに関する相談及び講話を実施。より子育て世代が身近で相談しやすい体制作りのために、民間子育て支援団体へ業務委託している。</p> <p>基 本 型…「利用者支援」と「地域連携」を担い、妊産婦、生活、発育（発達）、医学的問題、家庭環境等に関する相談及び情報提供を行う。 パート助産師が、市内の子育て支援センターを巡回し子どもの成長測定等を実施する際に子育てに関する専門的な相談及び講話を行う。</p> <p>特 定 型…市の窓口において、保育所入所に関する相談を行う。 母子保健型…保健師等の専門職が関係機関と協力しながら、妊産婦及び乳幼児に関する専門的な相談を行う。</p>																																							
成 果	<p>基本型の機能として子育て親子が行きやすい場所に助産師が出向く出張相談の充実を図った。また、ホームページ内に「教えて助産師さん」として、助産師からの妊娠、子育てに関するアドバイス情報を発信することで、一人で悩まず子育てできる環境づくりが図られた。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">基本型</th> <th rowspan="2">特定型</th> <th rowspan="2">母子保健型</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>直営</th> <th>委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>31件</td> <td>137件</td> <td>170件</td> <td>402件</td> <td>740件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>183件</td> <td>793件</td> <td>524件</td> <td>877件</td> <td>2,377件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>369件</td> <td>505件</td> <td>411件</td> <td>816件</td> <td>2,101件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>627件</td> <td>747件</td> <td>677件</td> <td>741件</td> <td>2,792件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成28年度は11月～3月までの5か月分</p>									基本型		特定型	母子保健型	計	直営	委託	H28	31件	137件	170件	402件	740件	H29	183件	793件	524件	877件	2,377件	H30	369件	505件	411件	816件	2,101件	R1	627件	747件	677件	741件	2,792件
		基本型		特定型	母子保健型	計																																		
直営		委託																																						
H28	31件	137件	170件	402件	740件																																			
H29	183件	793件	524件	877件	2,377件																																			
H30	369件	505件	411件	816件	2,101件																																			
R1	627件	747件	677件	741件	2,792件																																			
成果に係る評価	<p>妊娠中及び0歳から18歳未満の子どもをもつ子育て中の方が気軽に相談できる窓口という周知が進んでいる。各種の相談に対し必要な情報提供・助言を行い、必要に応じて、より専門的な窓口へトーンにつなぐことが、子育てしやすい環境づくりの一助となっている。令和2年度は基本型機能について委託箇所を増設して体制強化を図る。</p>																																							
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	7,959,000	7,800,517	5,200,000				2,600,517																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																		
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																		
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																		
実施計画掲載ページ		P 80	中 事 業		病児保育事業関係費																																				
事業コード		004-003-001-00140	事 業 名		病後児保育事業																																				
目的及び事業内容		<p>児童の保護者が就労等により病気の児童を保育することが困難である場合において、保育需要に対応するため、市が業務を委託した保育所において病気の回復期の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童へ緊急対応することにより、保護者が安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。</p>																																							
取組実績		<p>1 病後児保育対応型 平成29年4月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。児童が病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育する。保育所・幼稚園等に通園している児童及び市内に住所を有する児童で概ね生後6か月から就学前の児童。1日の定員は3名。看護師、保育士を1名ずつ配置。職員は利用の少ない日に、市内保育所等に対し感染症流行状況、予防策等の情報提供や巡回支援等を適宜実施する。</p> <p>2 体調不良児対応型 平成28年9月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。本保育所に通所する児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に保健的な対応等を行う事業。看護師等を1名配置し、預かる児童は2名まで。 担当看護師は、実施保育所における児童全体の健康管理、衛生管理等の保健的な対応を日常的に行うとともに、地域の子育て支援センターを会場に子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を、地域のニーズに応じて定期的実施する。</p>																																							
成 果		<p>病後児対応型は、周知活動を積極的に行うことにより年間利用者数が増加し、その結果受け入れ対応を優先する必要があることから、感染症予防策の情報提供等を行う回数は減少した。また、体調不良時対応型は、担当看護師による子育て支援センターでの保健講話や相談支援の実施が定着してきており、より多くの人に対して相談支援を行うことができた。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">1 病後児対応型</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年間利用者</td> <td>感染症予防策情報提供等</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>26人</td> <td>93回</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>63人</td> <td>132回</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>143人</td> <td>92回</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">2 体調不良児対応型（H28年度は7か月実施）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年間利用者</td> <td>相談支援等</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>37人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>275人</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>234人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>213人</td> <td>308人</td> </tr> </table>							1 病後児対応型				年間利用者	感染症予防策情報提供等	H29	26人	93回	H30	63人	132回	R1	143人	92回	2 体調不良児対応型（H28年度は7か月実施）				年間利用者	相談支援等	H28	37人	28人	H29	275人	63人	H30	234人	105人	R1	213人	308人
1 病後児対応型																																									
	年間利用者	感染症予防策情報提供等																																							
H29	26人	93回																																							
H30	63人	132回																																							
R1	143人	92回																																							
2 体調不良児対応型（H28年度は7か月実施）																																									
	年間利用者	相談支援等																																							
H28	37人	28人																																							
H29	275人	63人																																							
H30	234人	105人																																							
R1	213人	308人																																							
成果に係る評価		<p>本事業の開始以降、事業の周知を継続的に図りつつ、対象児童を市内に住所を有している児童等に広げるなど、保護者が安心して子育てができる環境の整備に努めており、一定の成果を残すことができています。 今後は、本事業の利用者が時期的に集中することによる受け入れ可能定員との兼ね合いなどに注視し、新型コロナウイルス感染症予防対策が重要になってくることから、感染症予防に関する事業の推進を図っていく。</p>																																							
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	9,790,000	9,397,147	6,258,000			3,139,147																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																					
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																					
実施計画掲載ページ		P 83	中 事 業		小学校入学祝い金支給事業費																							
事業コード		004-003-001-01221	事 業 名		小学校入学祝い金支給事業																							
目的及び事業内容		<p>少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担を軽減するため、小学校に入学する第2子以降の子を監護する保護者等に対して入学祝金を支給する。</p>																										
取組実績		<p>平成30年度より第2子以降の子どもを持つ保護者に入学祝い金の対象者を拡大して実施した。市報及び市のホームページに掲載して周知を図るとともに、市内各小学校1年生に申請書を配付し、対象者の確実な支給に努めた。</p> <p>【支給状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>第3子以降</td> <td>第2子</td> <td>支給者合計</td> <td>支給額</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>162人</td> <td></td> <td>162人</td> <td>4,860,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>157人</td> <td>346人</td> <td>503人</td> <td>15,090,000円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>180人</td> <td>369人</td> <td>549人</td> <td>16,470,000円</td> </tr> </table>							年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額	H29	162人		162人	4,860,000円	H30	157人	346人	503人	15,090,000円	R1	180人	369人	549人	16,470,000円
年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額																								
H29	162人		162人	4,860,000円																								
H30	157人	346人	503人	15,090,000円																								
R1	180人	369人	549人	16,470,000円																								
成 果		<p>第2子以降の子で小学校に入学する児童を監護する保護者等に対して、小学校入学祝い金として1人につき3万円を支給することによって、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減に一定の成果があった。</p>																										
成果に係る評価		<p>対象となる第2子以降の子が就学する小学生を持つ保護者に入学祝金を支給することにより、安定した子育てしやすい環境を整えることに寄与している。 また、本事業を継続的に実施することにより少子化対策の一助となっている。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	16,920,000	16,589,072	2,700,000			13,889,072																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																					
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																					
実施計画掲載ページ	P 82		中 事 業	子育て支援センター管理費																								
事業コード	004-003-001-01046		事 業 名	地域子ども・子育て支援拠点事業																								
目的及び事業内容	<p>家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感、不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、もって子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>【基本事業】 (1) 子育て親子が気軽かつ自由に利用できる場の提供 (2) 子育てに不安、悩み等を持つ子育て親子に対する相談及び援助の実施 (3) 子育て親子が必要とする身近な地域の子育て支援に関する情報の提供 (4) 子育て及び子育て支援に関する講習等を月1回以上実施</p>																											
取組実績	子育て支援センター開設が所（12か所）																											
	湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内																								
	渡波子育て支援センター	渡波保育所内	牡鹿子育て支援センター	牡鹿保健福祉センター内																								
	河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内																								
	雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内																								
	河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ベビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田																								
	桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目																								
成 果	<p>親子・家庭・地域社会の交わりをつくりだす場が定着し、主任児童委員をはじめとする地域住民との連携が図られた。また、親子教室・遊びの広場の利用者数が減少しているものの、電話・来所・訪問での相談件数及び子育てサークル支援件数は増加しており、子育ての不安感等の緩和に寄与した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電話・来所・訪問 (相談件数)</td> <td>1,208件</td> <td>1,753件</td> <td>1,798件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>子育てサークル支援 (支援件数)</td> <td>326件</td> <td>550件</td> <td>678件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>親子教室・遊びの広場 (参加親子数)</td> <td>17,941組</td> <td>16,701組</td> <td>13,590組</td> </tr> </tbody> </table>								No.	項目	H29	H30	R1	1	電話・来所・訪問 (相談件数)	1,208件	1,753件	1,798件	2	子育てサークル支援 (支援件数)	326件	550件	678件	3	親子教室・遊びの広場 (参加親子数)	17,941組	16,701組	13,590組
No.	項目	H29	H30	R1																								
1	電話・来所・訪問 (相談件数)	1,208件	1,753件	1,798件																								
2	子育てサークル支援 (支援件数)	326件	550件	678件																								
3	親子教室・遊びの広場 (参加親子数)	17,941組	16,701組	13,590組																								
成果に係る評価	<p>親子教室・遊びの広場の利用者が年々減少しており、出生数の減少や、3歳未満の子どもの保育施設利用の増加が関係していると考えられる。しかしながら、子育ての悩みや不安を気兼ねなく相談できる場所としての機能や、子育てサークル支援による地域との交流活動を通した地域における子育て親子の交流等を促進するという機能を充実し本事業の推進を図っていく。</p>																											
予算の執行状況	(単位：円)																											
予算額	74,016,000	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
		69,524,519	46,348,000			23,176,519																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																	
実施計画掲載ページ	P 80		中 事 業	ファミリーサポート事業費																																																																																				
事業コード	004-003-001-00133		事 業 名	ファミリーサポート事業																																																																																				
目的及び事業内容	<p>・市民が相互に行う育児援助活動に対し、その活動を支援することにより安心して子育てができる環境づくりを推進する。</p> <p>・仕事と家庭の両立や保護者の急用等により子ども(市内在住で概ね生後2ヶ月から小学6年生)を預かってほしい場合に、石巻市ファミリーサポートセンターへ登録した会員同士がそれぞれの信頼のもとに相互援助活動を行う。</p>																																																																																							
取組実績	1 事業委託先 特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻																																																																																							
	2 事務局開局日及び体制 月曜日から土曜日 午前9時～午後4時 2名のアドバイザー配置																																																																																							
	3 利用件数 1,763件																																																																																							
	4 協力会員の研修の実施 ・新規協力会員の初回研修 3回 ・既協力会員のステップアップ研修 2回																																																																																							
	5 事業PRの推進 ・会報の発行 4回 ・会員の交流会 2回																																																																																							
成 果	<p>平成30年度から民間事業者への業務委託により実施し、より利用しやすい体制としたことで会員登録数及び利用件数の増加傾向が継続している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">会員数</th> <th colspan="4">利用件数</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>項 目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力会員</td> <td>65人</td> <td>75人</td> <td>85人</td> <td>仕事(仕事復帰準備含む)</td> <td>186件</td> <td>704件</td> <td>514件</td> </tr> <tr> <td>利用会員</td> <td>206人</td> <td>276人</td> <td>343人</td> <td>保育所・幼稚園の送り</td> <td>139件</td> <td>182件</td> <td>232件</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>46人</td> <td>61人</td> <td>68人</td> <td>保育所・幼稚園の迎え</td> <td>76件</td> <td>140件</td> <td>166件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>317人</td> <td>412人</td> <td>496人</td> <td>小学校への送迎</td> <td>53件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護者の外出の際の援助</td> <td>48件</td> <td>98件</td> <td>58件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>放課後児童クラブの迎え</td> <td>27件</td> <td>38件</td> <td>79件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>94件</td> <td>278件</td> <td>710件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合 計</td> <td>623件</td> <td>1,443件</td> <td>1,763件</td> </tr> </tbody> </table>								会員数				利用件数				区 分	H29	H30	R1	項 目	H29	H30	R1	協力会員	65人	75人	85人	仕事(仕事復帰準備含む)	186件	704件	514件	利用会員	206人	276人	343人	保育所・幼稚園の送り	139件	182件	232件	両方会員	46人	61人	68人	保育所・幼稚園の迎え	76件	140件	166件	合 計	317人	412人	496人	小学校への送迎	53件	3件	4件					保護者の外出の際の援助	48件	98件	58件					放課後児童クラブの迎え	27件	38件	79件					その他	94件	278件	710件					合 計	623件	1,443件	1,763件
会員数				利用件数																																																																																				
区 分	H29	H30	R1	項 目	H29	H30	R1																																																																																	
協力会員	65人	75人	85人	仕事(仕事復帰準備含む)	186件	704件	514件																																																																																	
利用会員	206人	276人	343人	保育所・幼稚園の送り	139件	182件	232件																																																																																	
両方会員	46人	61人	68人	保育所・幼稚園の迎え	76件	140件	166件																																																																																	
合 計	317人	412人	496人	小学校への送迎	53件	3件	4件																																																																																	
				保護者の外出の際の援助	48件	98件	58件																																																																																	
				放課後児童クラブの迎え	27件	38件	79件																																																																																	
				その他	94件	278件	710件																																																																																	
				合 計	623件	1,443件	1,763件																																																																																	
成果に係る評価	<p>預かる場所について、協力会員宅だけでなく利用者の要望により子どもセンターや子育て支援センターで預かることも可能となったことに加え、民間事業者による広報活動の成果や利用しやすい体制の強化により、会員登録数及び利用件数は増加している。今後も協力会員の研修の強化、利用会員と協力会員の丁寧なマッチングなどにより、本事業の推進を図っていく。</p>																																																																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																							
予算額	5,000,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																		
		4,879,483	3,252,275			1,627,208																																																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																														
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																														
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																														
実施計画掲載ページ	P 82		中 事 業	心とからだのトータルケア推進事業費																																																																																																	
事業コード	004-003-001-01055		事 業 名	助産師による産前産後の「心とからだのトータルケア」推進事業																																																																																																	
目的及び事業内容	<p>妊娠期から子育て期にわたり、妊産婦が相談や研修会等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごし、子育てできることを目的とする。</p>																																																																																																				
取組実績	<p>一般社団法人「宮城県助産師会」に委託して研修会や相談会を実施した。</p> <p>1 心とからだのトータルケア推進事業 会場：子育て支援センター等 内容：妊婦向け講座 出産準備の講話や、沐浴体験・妊婦体験等を通して子育てについて学ぶ。</p> <p>2 妊産婦相談 会場：市役所2階授乳室、子育て支援センター 内容：母乳育児等の個別相談</p>																																																																																																				
成 果	<p>心とからだのトータルケア推進事業における祖父母向け及び乳児と保護者向けの講座については、地域子ども・子育て支援拠点事業として類似の講座を行っている事、また子育て世代包括支援センター事業が代替機能を持つことから事業の見直しを図った。本事業として、助産師の専門性を活かした妊婦向け講座と妊産婦相談については継続して実施することで、妊娠期から子育て期に関する知識を獲得することができた。</p> <p>1 心とからだのトータルケア推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">妊婦向け講座</th> <th colspan="2">祖父母向け講座</th> <th colspan="2">乳児と保護者向け講座</th> <th colspan="2">妊産婦サロン</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>10回</td> <td>73人</td> <td>6回</td> <td>47人</td> <td>24回</td> <td>211人</td> <td>12回</td> <td>154人</td> <td>52回</td> <td>485人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>17回</td> <td>167人</td> <td>5回</td> <td>121人</td> <td>14回</td> <td>259人</td> <td></td> <td></td> <td>36回</td> <td>547人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>14回</td> <td>131人</td> <td>3回</td> <td>65人</td> <td>14回</td> <td>229人</td> <td></td> <td></td> <td>31回</td> <td>425人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>11回</td> <td>147人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11回</td> <td>147人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※妊産婦サロンは平成29年度から助産師の自主事業となった。</p> <p>2 妊産婦相談</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>妊婦</th> <th>産婦</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>49回</td> <td>5人</td> <td>127人</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>48回</td> <td>11人</td> <td>148人</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>48回</td> <td>2人</td> <td>158人</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>46回</td> <td>0人</td> <td>130人</td> <td>130人</td> </tr> </tbody> </table>									妊婦向け講座		祖父母向け講座		乳児と保護者向け講座		妊産婦サロン		計		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	H28	10回	73人	6回	47人	24回	211人	12回	154人	52回	485人	H29	17回	167人	5回	121人	14回	259人			36回	547人	H30	14回	131人	3回	65人	14回	229人			31回	425人	R1	11回	147人							11回	147人		回数	参加者数			妊婦	産婦	合計	H28	49回	5人	127人	132人	H29	48回	11人	148人	159人	H30	48回	2人	158人	160人	R1	46回	0人	130人	130人
	妊婦向け講座		祖父母向け講座		乳児と保護者向け講座		妊産婦サロン			計																																																																																											
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数																																																																																											
H28	10回	73人	6回	47人	24回	211人	12回	154人	52回	485人																																																																																											
H29	17回	167人	5回	121人	14回	259人			36回	547人																																																																																											
H30	14回	131人	3回	65人	14回	229人			31回	425人																																																																																											
R1	11回	147人							11回	147人																																																																																											
	回数	参加者数																																																																																																			
		妊婦	産婦	合計																																																																																																	
H28	49回	5人	127人	132人																																																																																																	
H29	48回	11人	148人	159人																																																																																																	
H30	48回	2人	158人	160人																																																																																																	
R1	46回	0人	130人	130人																																																																																																	
成果に係る評価	<p>妊娠期から、助産師による専門的な相談及び講座を受けることで知識を獲得し子育て期を安心して過ごすことに寄与できたと考えられる。令和2年度は、祖父母手帳を活用した祖父母向けの講座や乳幼児期の子育てに関する講座を充実させ、より効果的に妊娠期からの切れ目のない支援を推進するため、ささえあいセンターで行う子育て世代包括支援センター事業に包含して取り組む。</p>																																																																																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																				
予算額	2,341,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																															
		1,821,385	911,000				910,385																																																																																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																			
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																			
	2 目	児童手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																			
実施計画掲載ページ	P 78		中 事 業	児童手当費																						
事業コード	004-003-001-00124		事 業 名	児童手当支給事業																						
目的及び事業内容	<p>中学校修了前の児童を養育している保護者に、児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。(2月、6月、10月に前月までの4か月分を支給)</p> <p>3歳未満及び小学生までの第3子以降 15,000円 小学生までの第1子、第2子及び中学生まで 10,000円 所得制限以上の所得がある者は中学生まで一律 5,000円</p>																									
取組実績	<p>【令和1年度支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給対象延べ人数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時払</td> <td>2,707人</td> <td>28,260,000円</td> </tr> <tr> <td>定例払</td> <td>172,885人</td> <td>1,900,035,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>175,592人</td> <td>1,928,295,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定例払・・・年3回(2・6・10月) 随時払・・・定例払の月を除く各月(資格喪失者等)</p>									支給対象延べ人数	支給総額	随時払	2,707人	28,260,000円	定例払	172,885人	1,900,035,000円	計	175,592人	1,928,295,000円						
	支給対象延べ人数	支給総額																								
随時払	2,707人	28,260,000円																								
定例払	172,885人	1,900,035,000円																								
計	175,592人	1,928,295,000円																								
成 果	<p>児童を養育している保護者に手当を支給することにより、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象延べ児童数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>197,312人</td> <td>2,188,470,000円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>192,127人</td> <td>2,128,610,000円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>187,098人</td> <td>2,064,210,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>181,387人</td> <td>1,995,510,000円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>175,592人</td> <td>1,928,295,000円</td> </tr> </tbody> </table>								年度	支給対象延べ児童数	支給総額	H27	197,312人	2,188,470,000円	H28	192,127人	2,128,610,000円	H29	187,098人	2,064,210,000円	H30	181,387人	1,995,510,000円	R1	175,592人	1,928,295,000円
年度	支給対象延べ児童数	支給総額																								
H27	197,312人	2,188,470,000円																								
H28	192,127人	2,128,610,000円																								
H29	187,098人	2,064,210,000円																								
H30	181,387人	1,995,510,000円																								
R1	175,592人	1,928,295,000円																								
成果に係る評価	<p>対象児童数の減少により支給額は減少傾向にある。少子化が問題となっている現在、子育てしやすい環境づくりや社会形成が喫緊の課題となっており、当事業はその一助を担っている。今後も国の動向を踏まえて情報の発信と適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図る必要がある。</p>																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
予算額	1,931,960,000	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		1,928,295,000	1,631,465,830				296,829,170																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																					
	3 目	児童扶養手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																					
実施計画掲載ページ		P 79	中 事 業		児童扶養手当費																																							
事業コード		004-003-001-00126	事 業 名		児童扶養手当支給事業																																							
目的及び事業内容		父又は母と生計を同じくしていない児童を監護している母、児童を監護し生計を同じくする父又は当該父母にかわって児童を養育している方に、手当を支給し、生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の向上を図る。 手当額 H31.4月～ 全部支給 42,910円 一部支給 42,900円～10,120円 2人目 全部支給 10,140円 一部支給 10,130円～ 5,070円 3人目以降 全部支給 6,080円 一部支給 6,070円～ 3,040円																																										
取組実績		1 児童扶養手当支給の実施 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭に支給した。 支給対象者 1,344人、支給額 905,463,220円 2 現況届の実施 児童扶養手当受給者の前年所得、認定後の資格要件及び生活状況の確認を行った。																																										
成果		父又は母と生計を同じくしていない児童について児童扶養手当を支給することにより、家庭生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象者数</th> <th>支給対象児童数</th> <th>支給額</th> <th>支給対象月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>1,594人</td> <td>2,309人</td> <td>800,908,600円</td> <td>H26年12月からH27年11月</td> <td>12ヶ月分</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,525人</td> <td>2,170人</td> <td>775,250,320円</td> <td>H27年12月からH28年11月</td> <td>12ヶ月分</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,436人</td> <td>2,126人</td> <td>765,328,750円</td> <td>H28年12月からH29年11月</td> <td>12ヶ月分</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,407人</td> <td>2,079人</td> <td>729,148,250円</td> <td>H29年12月からH30年11月</td> <td>12ヶ月分</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,344人</td> <td>1,998人</td> <td>905,463,220円</td> <td>H30年12月からR2年2月</td> <td>15ヶ月分</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※R2年度からはR2年3月からR3年2月の12ヶ月分</p>							年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	支給対象月		H27	1,594人	2,309人	800,908,600円	H26年12月からH27年11月	12ヶ月分	H28	1,525人	2,170人	775,250,320円	H27年12月からH28年11月	12ヶ月分	H29	1,436人	2,126人	765,328,750円	H28年12月からH29年11月	12ヶ月分	H30	1,407人	2,079人	729,148,250円	H29年12月からH30年11月	12ヶ月分	R1	1,344人	1,998人	905,463,220円	H30年12月からR2年2月	15ヶ月分
年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	支給対象月																																								
H27	1,594人	2,309人	800,908,600円	H26年12月からH27年11月	12ヶ月分																																							
H28	1,525人	2,170人	775,250,320円	H27年12月からH28年11月	12ヶ月分																																							
H29	1,436人	2,126人	765,328,750円	H28年12月からH29年11月	12ヶ月分																																							
H30	1,407人	2,079人	729,148,250円	H29年12月からH30年11月	12ヶ月分																																							
R1	1,344人	1,998人	905,463,220円	H30年12月からR2年2月	15ヶ月分																																							
成果に係る評価		これまで4ヶ月に1回支給（12月から翌年11月まで）であったが、児童扶養手当法の改正により、2ヶ月に1回支給（移行期のため平成30年12月から令和2年2月までの15ヶ月分）となったことで、前年度までよりも支給額が大きくなっているが、支給対象者数は人口減少の影響等により減少傾向にある。自動物価スライド制により平成31年4月に手当額の増額改定があり、支援の拡大を図られているが、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭等の生活安定と福祉の増進を図るため、国においては、さらなる支援の拡充について検討しており、引き続き動向を注視する必要がある。																																										
（単位：円）																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	915,242,500	905,463,220	300,962,916				604,500,304																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																										
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																										
	4 目	母子福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																										
実施計画掲載ページ		P 79	中 事 業		母子・父子家庭医療対策費																												
事業コード		004-003-001-00125	事 業 名		母子・父子家庭医療対策事業																												
目的及び事業内容		母子及び父子家庭に対し、医療費の助成を行い生活の安定と福祉の増進を図る。健康保険等により、本人の負担する自己負担額から次の金額を控除し助成する。 入院の場合 1レセプト 2,000円（食事療養費は除く。） 外来の場合 1レセプト 1,000円 ※所得制限あり																															
取組実績		1 助成対象者 ・母子・父子家庭の母、父及び児童 ・父母のいずれかが重度障害により就労困難な家庭の母、父及び児童 ・父母のいない児童及びその児童を監護する母子・父子家庭の母、父 2 助成件数 10,841件 3 助成金額 28,291,526円																															
成果		母子・父子家庭等にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。このことにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>所得制限内受給世帯数</th> <th>所得制限内受給者数</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,686世帯</td> <td>4,118人</td> <td>10,751件</td> <td>27,162,801円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,580世帯</td> <td>3,885人</td> <td>9,142件</td> <td>24,593,327円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,459世帯</td> <td>3,410人</td> <td>10,449件</td> <td>28,107,208円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,404世帯</td> <td>3,325人</td> <td>10,841件</td> <td>28,291,526円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※ 受給世帯数、受給者数は該当年度の10月1日現在の数値、助成件数、助成金額は該当年度の合計値（市財務上の決算値）を示している。</p>							年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額	H28	1,686世帯	4,118人	10,751件	27,162,801円	H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円	H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円	R1	1,404世帯	3,325人	10,841件	28,291,526円
年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額																													
H28	1,686世帯	4,118人	10,751件	27,162,801円																													
H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円																													
H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円																													
R1	1,404世帯	3,325人	10,841件	28,291,526円																													
成果に係る評価		平成28年10月から子ども医療費の対象年齢が拡大されたことにより、平成29年度は助成額が減少したが、国保加入者の一部を対象とした震災による医療費免除が平成29年度で終了となり、平成30年度及び令和元年度の助成額は増加となった。今後も医療費助成を実施することにより母子・父子家庭の経済的負担の軽減に寄与し、生活の安定と福祉の増進を図りたい。																															
（単位：円）																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	30,629,000	29,234,183	14,145,000				15,089,183																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	4 目	母子福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ		P 83		中 事 業	母子家庭等自立支援給付金事業費			
事業コード	004-003-001-01222		事 業 名	ひとり親家庭等自立支援事業				
目的及び事業内容	<p>ひとり親家庭等の親（母子家庭の母又は父子家庭の父）の経済的な自立を促進するため、就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格を取得するための教育訓練受講等に係る経費について支援する。</p> <p>1 自立支援教育訓練給付金 2 高等職業訓練促進給付金 3 高等職業訓練修了支援給付金 4 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</p>							
取組実績	支給実績							
	事業名		支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳			
	自立支援教育訓練給付金		4件	138,000円	介護福祉士・医療事務			
	高等職業訓練促進給付金		8件	7,268,000円	准看護師・看護師・社会福祉士 美容師・保育士			
	高等職業訓練修了支援給付金		1件	25,000円	准看護師			
高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金		0件	0円					
成 果	<p>制度の周知に加え、ひとり親自身の自立への意識の高まりが大きく影響している。これら受講者に対し、経済的負担の軽減を図ることができ、ひとり親家庭の自立支援と福祉の向上が図られた。</p>							
	年度	事業名	支給件数	支給額	合計			
	H28	自立支援教育訓練給付金	1件	47,880円	4,657,880円			
		高等職業訓練促進給付金	7件	4,610,000円				
		高等職業訓練修了支援給付金	0件	0円				
	H29	自立支援教育訓練給付金	6件	322,186円	7,643,186円			
		高等職業訓練促進給付金	7件	7,146,000円				
		高等職業訓練修了支援給付金	4件	175,000円				
	H30	自立支援教育訓練給付金	5件	275,184円	10,370,684円			
		高等職業訓練促進給付金	11件	9,895,500円				
高等職業訓練修了支援給付金		4件	200,000円					
R1	自立支援教育訓練給付金	4件	138,000円	7,431,000円				
	高等職業訓練促進給付金	8件	7,268,000円					
	高等職業訓練修了支援給付金	1件	25,000円					
	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	0件	0円					
成果に係る評価	<p>自立支援教育訓練給付金の給付状況については、平成30年度に引き続き令和元年度も介護職を中心とした受講者が多かった。また、高等職業訓練促進給付金においては、平成30年度から受給者が増加しており、制度が周知されている。</p> <p>令和元年度から新たに高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金を実施した。令和元年度の支給はなかったが、引き続き制度の周知を図っていく。</p> <p>より多くのひとり親の経済的自立と福祉の増進に寄与できるよう、今後も本事業の一層の利用拡大に努めていく。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	8,395,000	7,431,000	5,526,000			1,905,000		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	5 目	保育所管理費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ		P 85		中 事 業	保育所管理費			
事業コード	004-003-001-00132		事 業 名	延長保育事業				
目的及び事業内容	<p>就労形態の多様化等に伴い、やむを得ない理由により、保育時間を延長して児童を預けられる環境を求める保護者の需要に対応するため、通常の利用時間以外の時間において、保育所及びこども園で引き続き保育を実施することで、安心して子育てできる環境を整えて児童福祉の向上を図る。</p>							
取組実績	<p>平成27年度から子ども・子育て支援新制度により、保育の時間が、保育短時間（午前8時30分から午後4時30分まで）と保育標準時間（午前7時30分から午後6時30分まで）の2区分となり、これにあわせて、延長保育の取り扱いも変更となる。</p> <p>本事業は、公立保育所（26施設）で、時間外保育（午前7時30分から午前8時30分、午後4時30分から午後6時30分）及び延長保育（午後6時30分から午後7時00分）を実施し、実利用児童数は468人となった。</p>							
	R1年度		施設数	時間外保育	延長保育	合計		
	公立保育所		26	455人	13人	468人		
	<p>※過去5年間の推移（実利用人数）</p>							
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度			
時間外保育	382人	333人	533人	603人	455人			
延長保育	29人	17人	21人	15人	13人			
合計	411人	350人	554人	618人	468人			
成 果	<p>保護者の就労形態が正規雇用など就労時間が長くなったことで昨年度の実績よりも減少はしているものの、保育時間の延長があることで、保護者が安心して児童を預けられる環境を整え直すことができた。</p>							
成果に係る評価	<p>やむを得ない理由により、保育時間を延長して児童を預けたいという保護者からの要望があることから、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図るため、今後も本事業を継続していく必要がある。</p> <p>また、1施設のみで実施している延長保育について、保育士の確保状況を見据えながら検討し、子育て環境づくりに努める。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,409,943	4,409,943				3,266,700		
						1,143,243		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																									
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																									
	6 目	一時保育事業管理費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																									
実施計画掲載ページ		P 85	中 事 業		一時預かり事業関係費																																											
事業コード		004-003-001-00131	事 業 名		一時預かり事業																																											
目的及び事業内容 保育所等を利用していない家庭においても、日常生活の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難になる場合がある。また、核家族化の進行により、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援が必要となる。 こうしたニーズに対応するため、保育所において、児童を一時的に預かることで、安心して子育てできる環境を整備し、あわせて児童福祉の向上を図る。																																																
取組実績 公立保育所（3施設）及び私立認可保育所（1施設）において、一時預かり事業を実施した。																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施保育所</th> <th>1日当たりの実施時間</th> <th>1日当たりの定員</th> <th>令和元年度延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">公立</td> <td>鹿妻保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>682人</td> </tr> <tr> <td>二俣保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>北村保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>なかよし保育園</td> <td>8時間</td> <td>おおむね10人</td> <td>1,737人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合 計</td> <td>2,565人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27年度</td> <td>3,939人</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>2,664人</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>3,189人</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>2,466人</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>2,565人</td> </tr> </tbody> </table>									実施保育所		1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	令和元年度延利用者数	公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	682人	二俣保育所	8時間	おおむね5人	62人	北村保育所	8時間	おおむね5人	84人	私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	1,737人	合 計				2,565人	年度	延利用者数	H27年度	3,939人	H28年度	2,664人	H29年度	3,189人	H30年度	2,466人	R1年度	2,565人
実施保育所		1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	令和元年度延利用者数																																												
公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	682人																																												
	二俣保育所	8時間	おおむね5人	62人																																												
	北村保育所	8時間	おおむね5人	84人																																												
私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	1,737人																																												
合 計				2,565人																																												
年度	延利用者数																																															
H27年度	3,939人																																															
H28年度	2,664人																																															
H29年度	3,189人																																															
H30年度	2,466人																																															
R1年度	2,565人																																															
成 果 仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にするとともに子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるような環境整備を提供し、児童福祉の向上を図った。																																																
成果に係る評価 保育士不足により受入れ児童数を調整する必要が生じたことから、保育士の確保に努め、子育ての負担軽減、安心して子育てができる環境の提供を図り、児童福祉の向上を推進する。 また、事業への需要があることから、実施する地域や施設を再考するとともに、今後も保護者のニーズに合わせ、安定した事業を実施する。																																																
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	17,365,000		14,943,783		6,364,000		1,504,810	7,074,973																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																		
	3 項	児童福祉費		第 節			()																																																		
	7 目	障害児福祉費		()			()																																																		
実施計画掲載ページ			中 事 業		かもめ学園管理費																																																				
事業コード		004-005-004-00122	事 業 名		かもめ学園管理事業																																																				
目的及び事業内容 心身障害児に対して障害の克服に必要な機能訓練及び生活指導を行い、児童の健全な育成に資するとともに、保護者の就労支援等を図るため、かもめ学園内において児童発達支援事業等を実施する。 児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障害児日中一時支援事業、出張子育て支援事業に係る支援業務、たんぼ広場に係る支援業務、発達・療育支援業務に係る支援業務、放課後児童クラブに係る支援業務。																																																									
取組実績 1 かもめ学園における児童福祉サービス等の提供（利用）状況																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">児童発達支援</th> <th colspan="3">放課後等デイサービス</th> <th colspan="3">日中一時支援</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,784人</td> <td>247日</td> <td>7.2人</td> <td>1,406人</td> <td>247日</td> <td>5.6人</td> <td>249人</td> <td>80日</td> <td>3.1人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,335人</td> <td>251日</td> <td>5.3人</td> <td>1,269人</td> <td>244日</td> <td>5.2人</td> <td>141人</td> <td>49日</td> <td>2.8人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,223人</td> <td>245日</td> <td>4.9人</td> <td>1,323人</td> <td>243日</td> <td>5.4人</td> <td>146人</td> <td>40日</td> <td>3.6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 児童発達支援：未就学児童を対象に、発達段階に合わせた個別療育・集団療育を実施し、親へは助言及び指導を行った。 ○開設日等 月～金 9:30～13:30</p> <p>(2) 放課後等デイサービス：就学児童を対象に、学期に必要な人と人との関係づくりを中心に療育を行い、コミュニケーションによる行動の促しや要求手段の獲得、意欲を引き出すことに重点を置いた支援を行った。 ○開設日等 月～金 14:30～17:30</p> <p>(3) 日中一時支援事業：児童の日常生活の支援を行うと共に日中における生活の場を提供し見守りや必要な支援を実施した。 ○開設日等 土日・祝日 9:00～17:00</p> <p>2 指定管理者 社会福祉法人 石巻祥心会（平成28年4月1日から令和3年3月31日まで）</p>									年度	児童発達支援			放課後等デイサービス			日中一時支援			利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	H29	1,784人	247日	7.2人	1,406人	247日	5.6人	249人	80日	3.1人	H30	1,335人	251日	5.3人	1,269人	244日	5.2人	141人	49日	2.8人	R1	1,223人	245日	4.9人	1,323人	243日	5.4人	146人	40日	3.6人
年度	児童発達支援			放課後等デイサービス			日中一時支援																																																		
	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均																																																
H29	1,784人	247日	7.2人	1,406人	247日	5.6人	249人	80日	3.1人																																																
H30	1,335人	251日	5.3人	1,269人	244日	5.2人	141人	49日	2.8人																																																
R1	1,223人	245日	4.9人	1,323人	243日	5.4人	146人	40日	3.6人																																																
成 果 日頃から、保護者と事業所管理者が意見交換の中で、要望・相談が行えるようにしているほか、「茶話会」を毎月定期的に開催し、母親同士の交流や勉強会を行い、保護者支援にも努めたことにより、家庭での適切な療育が図られた。 また、在宅心身障害児が通園により各種事業の利用を通じ、日常生活における基本動作の習得や集団生活の適応を訓練することで、児童の健全な育成が図られた。																																																									
成果に係る評価 障害児の療育拠点として各種事業を実施することにより、児童の早期療育や健全育成に寄与していることから事業を継続する必要がある。 なお、障害児等の早期療育や保護者への適切な相談支援を充実させていくことが重要であることから、「児童発達支援センター」の整備について検討していく必要がある。																																																									
(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
	6,000,000		6,000,000					6,000,000																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																							
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																																																							
	7 目	障害児福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																																																							
実施計画掲載ページ		P 86	中 事 業	心身障害児通園対策費																																																																																																																										
事業コード	004-003-001-00136	事業名	心身障害児通園対策事業																																																																																																																											
目的及び事業内容	1 助成内容 ・ 鉄道又はバス定期券運賃代 ・ 自家用車ガソリン代 障害児保育を実施している保育所及びかかもめ学園に通園する心身障害児の通園に要する交通費を助成することにより児童福祉の増進を図る。																																																																																																																													
取組実績	心身障害児の児童健全育成の推進のため、障害児保育を実施している保育所及びかかもめ学園（13施設）に通園する児童の保護者に対し通園に要する交通費を交付した。 1 助成実績（R1） ・ 鉄道又はバス定期券運賃代 実績なし ・ 自家用車ガソリン代 助成対象者：25人、 助成額：830,780円																																																																																																																													
成果	障害児保育実施保育所及びかかもめ学園へ通園する児童の健全育成と保護者の負担軽減が図られた。 事業費及び対象者 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">H29年度</th> <th colspan="2">H30年度</th> <th colspan="2">R1年度</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかもめ学園</td> <td>11人</td> <td>146,651円</td> <td>8人</td> <td>90,955円</td> <td>7人</td> <td>108,978円</td> </tr> <tr> <td>石巻保育所</td> <td>4人</td> <td>119,551円</td> <td>5人</td> <td>188,577円</td> <td>3人</td> <td>148,533円</td> </tr> <tr> <td>渡波保育所</td> <td>1人</td> <td>17,365円</td> <td>1人</td> <td>18,808円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>若草保育所</td> <td>1人</td> <td>17,285円</td> <td>2人</td> <td>54,572円</td> <td>1人</td> <td>31,901円</td> </tr> <tr> <td>ふたば保育所</td> <td>2人</td> <td>43,427円</td> <td>2人</td> <td>47,214円</td> <td>2人</td> <td>44,533円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻保育所</td> <td>2人</td> <td>193,224円</td> <td>1人</td> <td>24,712円</td> <td>1人</td> <td>50,877円</td> </tr> <tr> <td>水押保育所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>27,506円</td> <td>2人</td> <td>41,789円</td> </tr> <tr> <td>井内保育所</td> <td>2人</td> <td>132,208円</td> <td>1人</td> <td>37,570円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>飯野川保育所</td> <td>1人</td> <td>22,202円</td> <td>1人</td> <td>52,309円</td> <td>1人</td> <td>55,704円</td> </tr> <tr> <td>雄勝保育所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>59,239円</td> </tr> <tr> <td>和刈保育所</td> <td>4人</td> <td>166,288円</td> <td>3人</td> <td>168,746円</td> <td>3人</td> <td>128,210円</td> </tr> <tr> <td>桃生新田保育所</td> <td>1人</td> <td>94,495円</td> <td>2人</td> <td>155,167円</td> <td>2人</td> <td>86,372円</td> </tr> <tr> <td>橋浦保育所</td> <td>2人</td> <td>86,027円</td> <td>2人</td> <td>90,843円</td> <td>2人</td> <td>74,644円</td> </tr> <tr> <td>杜鹿保育所</td> <td>2人</td> <td>86,999円</td> <td>1人</td> <td>50,483円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33人</td> <td>1,125,722円</td> <td>30人</td> <td>1,007,462円</td> <td>25人</td> <td>830,780円</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	H29年度		H30年度		R1年度		対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	かかもめ学園	11人	146,651円	8人	90,955円	7人	108,978円	石巻保育所	4人	119,551円	5人	188,577円	3人	148,533円	渡波保育所	1人	17,365円	1人	18,808円	—	—	若草保育所	1人	17,285円	2人	54,572円	1人	31,901円	ふたば保育所	2人	43,427円	2人	47,214円	2人	44,533円	鹿妻保育所	2人	193,224円	1人	24,712円	1人	50,877円	水押保育所	—	—	1人	27,506円	2人	41,789円	井内保育所	2人	132,208円	1人	37,570円	—	—	飯野川保育所	1人	22,202円	1人	52,309円	1人	55,704円	雄勝保育所	—	—	—	—	1人	59,239円	和刈保育所	4人	166,288円	3人	168,746円	3人	128,210円	桃生新田保育所	1人	94,495円	2人	155,167円	2人	86,372円	橋浦保育所	2人	86,027円	2人	90,843円	2人	74,644円	杜鹿保育所	2人	86,999円	1人	50,483円	—	—	合計	33人	1,125,722円	30人	1,007,462円	25人	830,780円
区 分	H29年度		H30年度		R1年度																																																																																																																									
	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費																																																																																																																								
かかもめ学園	11人	146,651円	8人	90,955円	7人	108,978円																																																																																																																								
石巻保育所	4人	119,551円	5人	188,577円	3人	148,533円																																																																																																																								
渡波保育所	1人	17,365円	1人	18,808円	—	—																																																																																																																								
若草保育所	1人	17,285円	2人	54,572円	1人	31,901円																																																																																																																								
ふたば保育所	2人	43,427円	2人	47,214円	2人	44,533円																																																																																																																								
鹿妻保育所	2人	193,224円	1人	24,712円	1人	50,877円																																																																																																																								
水押保育所	—	—	1人	27,506円	2人	41,789円																																																																																																																								
井内保育所	2人	132,208円	1人	37,570円	—	—																																																																																																																								
飯野川保育所	1人	22,202円	1人	52,309円	1人	55,704円																																																																																																																								
雄勝保育所	—	—	—	—	1人	59,239円																																																																																																																								
和刈保育所	4人	166,288円	3人	168,746円	3人	128,210円																																																																																																																								
桃生新田保育所	1人	94,495円	2人	155,167円	2人	86,372円																																																																																																																								
橋浦保育所	2人	86,027円	2人	90,843円	2人	74,644円																																																																																																																								
杜鹿保育所	2人	86,999円	1人	50,483円	—	—																																																																																																																								
合計	33人	1,125,722円	30人	1,007,462円	25人	830,780円																																																																																																																								
成果に係る評価	障害児の受入れ施設に限られており、居住地から離れている施設を利用している児童保護者の経済的負担を軽減するため、通園に必要な経費を助成することにより、通園が容易になることで障害児の成長発達を支援し、福祉の増進にもつながることから事業の継続が必要である。																																																																																																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																																													
予算額	1,200,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																								
		830,780				830,780																																																																																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																					
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																					
実施計画掲載ページ		P 80	中 事 業	子どもセンター管理費																																								
事業コード	004-003-001-00142	事業名	子どもセンター事業																																									
目的及び事業内容	児童に健全な遊びと安心して過ごせる居場所を与え、その健康を増進し、子どもたちの声を運営に反映させるとともに、子どもの社会参加の推進を図るため、遊び・学び・集う場を提供する。あわせて子育て支援サークルや子育て中の保護者の交流を推進し、子育て環境の充実に寄与する。また、運動を主とする遊びを通して児童の体力増進や「石巻市子どもの権利に関する条例」に基づく児童の社会参加を推進する事業を実施する。																																											
取組実績	1 開設日：祝日及び年末年始、毎月第1、3木曜日を除く毎日 2 開設時間：午前9時30分～午後7時(小学生以下は午後5時まで※保護者等の同伴は除く。) 3 事業内容 (1) 遊び場・居場所の提供 ……開設日数 288日 (2) 定期開催事業・イベント ……開催回数 211回 (3) 子育て支援関係者の団体利用…利用団体数 131団体 4 指定管理制度の導入 指定管理者 いしのまき子どもセンターコンソーシアム 指定期間 平成30年度～令和4年度 5 その他 社会参加促進活動 BigVoice（アンケート調査と模造紙を設置したヒアリング実施）(R1.10) 意見交換会（まちトーーク…まちの良いところ、改善点の話し合い）(R1.5) 地域連携・協働活動 街クエスト（総合的探求の一環として、石巻西高等学校1年生の企画に協力）(R1.8) 巻っこたちはじめてのおつかい（商店街やらいつを会場に実施）(R1.7) 石巻ハロウィン祭り（商店街等と協力し、子ども実行委員の企画で実施）(R1.10) 移動児童館（稲井地区1回、蛇田地区1回、釜地区3回）																																											
成果	本年度も子どもも参加で運営される児童館として、施設内で継続的に行われている乳幼児向けの子育て支援事業や移動児童館のほか、ハロウィン祭りや子どものまちいしのまき等、季節に応じて近隣商店街と連携したイベントに協力し、実施した。また、高校生の利用が減少している中、石巻西高等学校1年生が石巻の企業や団体について学び課題解決法を考える企画に協力したことに加え、企業との連携により商店街への花の植栽活動、盲導犬体験を行う等、多方面にわたる事業を行い、子どもたちが地域で力を発揮できる機会の提供を行うことができた。また、11月を子どもの権利月間として子どもの権利ワークショップを開催し、権利を学び、表現する機会を提供できた。 利用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一 般 来 館</td> <td>19,604人</td> <td>20,212人</td> <td>19,170人</td> <td>19,404人</td> <td>16,980人</td> </tr> <tr> <td>定期事業・イベント</td> <td>5,031人</td> <td>5,735人</td> <td>4,930人</td> <td>6,371人</td> <td>5,428人</td> </tr> <tr> <td>団 体 利 用</td> <td>3,478人</td> <td>2,166人</td> <td>2,406人</td> <td>1,270人</td> <td>1,904人</td> </tr> <tr> <td>見 学</td> <td>804人</td> <td>658人</td> <td>411人</td> <td>677人</td> <td>276人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28,917人</td> <td>28,771人</td> <td>26,917人</td> <td>27,722人</td> <td>24,588人</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	H27	H28	H29	H30	R1	一 般 来 館	19,604人	20,212人	19,170人	19,404人	16,980人	定期事業・イベント	5,031人	5,735人	4,930人	6,371人	5,428人	団 体 利 用	3,478人	2,166人	2,406人	1,270人	1,904人	見 学	804人	658人	411人	677人	276人	合 計	28,917人	28,771人	26,917人	27,722人	24,588人
区 分	H27	H28	H29	H30	R1																																							
一 般 来 館	19,604人	20,212人	19,170人	19,404人	16,980人																																							
定期事業・イベント	5,031人	5,735人	4,930人	6,371人	5,428人																																							
団 体 利 用	3,478人	2,166人	2,406人	1,270人	1,904人																																							
見 学	804人	658人	411人	677人	276人																																							
合 計	28,917人	28,771人	26,917人	27,722人	24,588人																																							
成果に係る評価	石巻市内で活動する2団体によって構成されたコンソーシアムが指定管理を行って2年目となり、多様化する住民ニーズや子育て支援への専門性への対応に対し、コンソーシアムの強みを生かして、地域団体や施設、学校等と連携した取組みがなされている。また、子どもセンターは、子どもの権利を柱に子どもが主体的に企画、活動することを重視しており、子どもの意見を取り入れた事業展開がなされているとともに、子どもたちの居場所として重要な施設となっているため、事業を継続する必要がある。																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																											
予算額	30,381,000	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
		29,834,810	16,672,000			13,162,810																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																											
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																											
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																											
実施計画掲載ページ		P 85	中 事 業	放課後児童クラブ関係費																																														
事業コード		004-003-001-00135	事 業 名	放課後児童クラブ事業（運営）																																														
目的及び事業内容																																																		
<p>保護者の就労等により保育ができない小学生を対象に、放課後における遊びと生活の場として放課後児童クラブを開設し、児童の安全確保と健全育成を図る。</p>																																																		
取組実績																																																		
<p>1 専用教室の整備や余裕教室の開放により受入体制を整備し、利用児童数の拡大を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>利用定員</th> <th>開設日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二俣地区放課後児童クラブ</td> <td>50人</td> <td>H31.4.1</td> <td>新設・専用教室</td> </tr> <tr> <td>渡波地区第一・第二放課後児童クラブ</td> <td>100人</td> <td>H31.4.1</td> <td>移設・専用教室</td> </tr> <tr> <td>広淵地区放課後児童クラブ</td> <td>50人</td> <td>H31.4.1</td> <td>移設・専用教室</td> </tr> <tr> <td>和淵地区放課後児童クラブ</td> <td>30人</td> <td>H31.4.1</td> <td>移設・余裕教室</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 利用者負担金の災害減免実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害減免者数</td> <td>720人</td> <td>794人</td> <td>873人</td> <td>970人</td> <td>979人</td> </tr> <tr> <td>災害減免額</td> <td>16,134,000円</td> <td>18,152,250円</td> <td>19,085,000円</td> <td>21,398,000円</td> <td>21,302,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 放課後児童クラブ指導員の質の向上 作業療法士と連携し、日常生活や集団生活で困難を抱える児童への対応方法を学ぶ。 児童クラブの適正な運営と指導員の質の向上を図るため、巡回指導員を1名配置した。</p>									クラブ名	利用定員	開設日	備考	二俣地区放課後児童クラブ	50人	H31.4.1	新設・専用教室	渡波地区第一・第二放課後児童クラブ	100人	H31.4.1	移設・専用教室	広淵地区放課後児童クラブ	50人	H31.4.1	移設・専用教室	和淵地区放課後児童クラブ	30人	H31.4.1	移設・余裕教室	年度	H27	H28	H29	H30	R1	災害減免者数	720人	794人	873人	970人	979人	災害減免額	16,134,000円	18,152,250円	19,085,000円	21,398,000円	21,302,500円				
クラブ名	利用定員	開設日	備考																																															
二俣地区放課後児童クラブ	50人	H31.4.1	新設・専用教室																																															
渡波地区第一・第二放課後児童クラブ	100人	H31.4.1	移設・専用教室																																															
広淵地区放課後児童クラブ	50人	H31.4.1	移設・専用教室																																															
和淵地区放課後児童クラブ	30人	H31.4.1	移設・余裕教室																																															
年度	H27	H28	H29	H30	R1																																													
災害減免者数	720人	794人	873人	970人	979人																																													
災害減免額	16,134,000円	18,152,250円	19,085,000円	21,398,000円	21,302,500円																																													
成 果																																																		
<p>1 平成30年4月1日現在で47施設、定員2,263人、利用児童数2,044人だったが、平成31年4月1日現在で48施設、定員2,355人、利用児童数2,079人へ利用児童数を拡大することができた。</p> <p>【児童クラブ設置数・利用児童数・待機児童数】各年度4月1日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分（年度）</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施クラブ数</td> <td>40施設</td> <td>43施設</td> <td>45施設</td> <td>47施設</td> <td>48施設</td> </tr> <tr> <td>定員数</td> <td>1,975人</td> <td>2,135人</td> <td>2,225人</td> <td>2,263人</td> <td>2,355人</td> </tr> <tr> <td>利用児童数</td> <td>1,600人</td> <td>1,872人</td> <td>1,983人</td> <td>2,044人</td> <td>2,079人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>137人</td> <td>35人</td> <td>51人</td> <td>87人</td> <td>95人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 放課後児童クラブ利用者負担金の災害減免を実施し、被災利用児童の支援が図られた。</p> <p>3 指導員研修の一環とした作業療法士連携事業により、対応方法の習得等スキルアップが図られ、巡回指導員が各クラブを訪問し指導助言をすることで、指導員の質の向上と情報共有が図られた。</p> <p>各年度4月1日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導員数</td> <td>120人</td> <td>116人</td> <td>142人</td> <td>148人</td> <td>152人</td> </tr> </tbody> </table>									区分（年度）	H27	H28	H29	H30	R1	実施クラブ数	40施設	43施設	45施設	47施設	48施設	定員数	1,975人	2,135人	2,225人	2,263人	2,355人	利用児童数	1,600人	1,872人	1,983人	2,044人	2,079人	待機児童数	137人	35人	51人	87人	95人	年度	H27	H28	H29	H30	R1	指導員数	120人	116人	142人	148人	152人
区分（年度）	H27	H28	H29	H30	R1																																													
実施クラブ数	40施設	43施設	45施設	47施設	48施設																																													
定員数	1,975人	2,135人	2,225人	2,263人	2,355人																																													
利用児童数	1,600人	1,872人	1,983人	2,044人	2,079人																																													
待機児童数	137人	35人	51人	87人	95人																																													
年度	H27	H28	H29	H30	R1																																													
指導員数	120人	116人	142人	148人	152人																																													
成果に係る評価																																																		
<p>利用申込者が増加し待機児童が生じていることから、新たに専用教室の建設等により利用定員数を拡大した。 少子化により児童数は減少するものの、共働き世帯や核家族世帯の増加により、今後も待機児童は発生するものと見込まれ、引き続き児童の安全確保と健全育成を図り、併せて、運営の民間委託、利用時間の延長、利用者負担金額の変更等の様々な課題を検討しながら、質の向上に努め同事業を継続する必要がある。</p>																																																		
（単位：円）																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	260,733,000	254,893,599	150,843,000		24,417,250	79,633,349																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()									
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()									
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()									
実施計画掲載ページ		P 86	中 事 業	放課後児童クラブ施設整備事業費												
事業コード		004-003-001-01023	事 業 名	放課後児童クラブ整備事業												
目的及び事業内容																
<p>平成27年度の子ども・子育て支援新制度の開始により、利用対象児童を小学4年生から小学6年生まで引き上げたことから、年々利用者が増加しているため、専用教室の建設や小学校余裕教室の改修等により、受入態勢の拡大を図る。</p>																
取組実績																
<p>放課後児童クラブ施設整備事業</p> <p>令和元年度整備施設（新規施設1か所整備）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名称</th> <th>開設年月日</th> <th>利用定員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北上地区放課後児童クラブ</td> <td>R2.4.1</td> <td>40人</td> <td>移設・定員10名増</td> </tr> </tbody> </table>									クラブ名称	開設年月日	利用定員	備考	北上地区放課後児童クラブ	R2.4.1	40人	移設・定員10名増
クラブ名称	開設年月日	利用定員	備考													
北上地区放課後児童クラブ	R2.4.1	40人	移設・定員10名増													
成 果																
<p>放課後児童クラブの専用教室の整備により受入体制を拡充し、利用児童数の拡大が図られた。 北上地区放課後児童クラブにおいては、平成29年度から北上保健医療センター内で開設していたが、北上総合支所等の整備とあわせて、北上にっこり地区の複合拠点施設内に移転開設し、安全安心な受入体制を確保することができた。</p>																
成果に係る評価																
<p>施設整備を行い、受入体制の拡大を図ったことで、児童の安全確保と健全育成が図られた。 今後も利用状況や待機児童の状況を精査しつつ、慢性的に待機児童が発生する地区については、計画的な施設整備を図っていく。</p>																
（単位：円）																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	62,165,230	62,034,906	21,742,000	37,900,000		2,392,906										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																				
	3 項	児童福祉費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																																				
	9 目	東日本大震災関係費		()		(2)	子育て環境の復興																																																				
実施計画掲載ページ		P214	中 事 業		(仮称) 北上こども園建設事業費																																																						
事業コード		004-102-001-00890	事 業 名		北上地区こども園建設事業																																																						
目的及び事業内容		橋浦保育所を廃止・移行し、にっこりサンパーク内の高台に北上地区こども園を建設することで、津波等の自然災害に備え、より安全性が確保される場所に建築し、保護者及び児童の安全を確保することを目的とする。 ・令和2年度開所予定、施設規模は60人定員、0歳から5歳児までを受け入れるほか、障害児保育も実施する。 ・土地面積 2,916.28㎡ ・建物面積 902.10㎡																																																									
取組実績		北上こども園竣工日：令和2年3月13日 令和2年4月1日開園 通次繰越 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th>項目</th><th>事業費</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>委託料 工事を伴う</td><td>124,535円</td></tr> <tr><td>工事請負費 補助・単独工事</td><td>988,759円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,113,294円①</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>項目</th><th>事業費</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>需用費 消耗品費</td><td>1,611,849円</td></tr> <tr><td>役務費 通信運搬費</td><td>52,523円</td></tr> <tr><td>役務費 手数料</td><td>693,100円</td></tr> <tr><td>委託料 工事を伴う</td><td>9,859,305円</td></tr> <tr><td>委託料 施設維持管理等</td><td>921円</td></tr> <tr><td>工事請負費 補助・単独工事</td><td>377,532,629円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>12,157,530円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>401,907,857円②</td></tr> </tbody> </table> <p>総計 ①+② 1,113,294円 + 401,907,857円 = 403,021,151円</p>						項目	事業費	委託料 工事を伴う	124,535円	工事請負費 補助・単独工事	988,759円	合計	1,113,294円①	項目	事業費	需用費 消耗品費	1,611,849円	役務費 通信運搬費	52,523円	役務費 手数料	693,100円	委託料 工事を伴う	9,859,305円	委託料 施設維持管理等	921円	工事請負費 補助・単独工事	377,532,629円	備品購入費	12,157,530円	合計	401,907,857円②																										
項目	事業費																																																										
委託料 工事を伴う	124,535円																																																										
工事請負費 補助・単独工事	988,759円																																																										
合計	1,113,294円①																																																										
項目	事業費																																																										
需用費 消耗品費	1,611,849円																																																										
役務費 通信運搬費	52,523円																																																										
役務費 手数料	693,100円																																																										
委託料 工事を伴う	9,859,305円																																																										
委託料 施設維持管理等	921円																																																										
工事請負費 補助・単独工事	377,532,629円																																																										
備品購入費	12,157,530円																																																										
合計	401,907,857円②																																																										
成 果		幼保連携型認定こども園として、定員60名に対し、1号認定1名を含む33名で開園した。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R02北上口ども園</th> <th colspan="2">R01橋浦保育所</th> <th rowspan="2">1号認定子ども定員</th> </tr> <tr> <th>定員</th> <th>入所児</th> <th>定員</th> <th>入所児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0歳児</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>3歳児 3人</td></tr> <tr><td>1歳児</td><td>3</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td>4歳児 3人</td></tr> <tr><td>2歳児</td><td>9</td><td>5</td><td>6</td><td>5</td><td>5歳児 3人</td></tr> <tr><td>3歳児</td><td>15</td><td>6</td><td>15</td><td>8</td><td>合計 9人</td></tr> <tr><td>4歳児</td><td>15</td><td>8</td><td>15</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>5歳児</td><td>15</td><td>10</td><td>18</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>60</td><td>33</td><td>60</td><td>37</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>北上こども園の5歳児は1号認定子ども1名を含む</p>							R02北上口ども園		R01橋浦保育所		1号認定子ども定員	定員	入所児	定員	入所児	0歳児	3	2	2	1	3歳児 3人	1歳児	3	2	4	4	4歳児 3人	2歳児	9	5	6	5	5歳児 3人	3歳児	15	6	15	8	合計 9人	4歳児	15	8	15	10		5歳児	15	10	18	9		合計	60	33	60	37	
	R02北上口ども園		R01橋浦保育所		1号認定子ども定員																																																						
	定員	入所児	定員	入所児																																																							
0歳児	3	2	2	1	3歳児 3人																																																						
1歳児	3	2	4	4	4歳児 3人																																																						
2歳児	9	5	6	5	5歳児 3人																																																						
3歳児	15	6	15	8	合計 9人																																																						
4歳児	15	8	15	10																																																							
5歳児	15	10	18	9																																																							
合計	60	33	60	37																																																							
成果に係る評価		北上地区に幼稚園機能を有するこども園を開園することで、1号認定子どもの利用も可能となり、入園児の増加が期待できる。																																																									
(単位：円)																																																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
		404,674,294	403,021,151		387,400,000	14,000,000	1,621,151																																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	復興計画	()																																																	
	4 項	生活保護費		第 1 節		()																																																	
	2 目	扶助費		(2)		()																																																	
実施計画掲載ページ		P65	中 事 業		各種扶助費																																																		
事業コード		004-001-002-00123	事 業 名		生活保護事業																																																		
目的及び事業内容		生活に困窮する市民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的として生活保護事業を実施する。																																																					
取組実績		本事業の目的を達成するため、下記のとおり取り組んだ。 1 生活保護事業 (1) 実施体制：所長1名、査察指導員2名、現業員14名、医療・介護扶助担当者1名、経理担当1名、就労支援員2名、レセプト点検員2名、嘱託医1名 (2) 取組内容 ア 新規相談の受理 394世帯 (延べ577回) イ 新規申請の受理 203世帯 ウ 保護の新規開始 165世帯 (204名) エ 就労支援の実施 51名 (うち29名が就労に至った) オ 後発医薬品の利用促進 後発医薬品利用率 90.5%																																																					
成 果		保護が必要な世帯に対し、国が定める保護基準による最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ることができた。 1 年度ごとの被保護世帯数等 (年度平均数値) <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>被保護世帯数</td><td>1,108 世帯</td><td>1,111 世帯</td><td>1,146 世帯</td><td>1,176 世帯</td><td>1,222 世帯</td></tr> <tr><td>被保護人員</td><td>1,465 人</td><td>1,455 人</td><td>1,492 人</td><td>1,516 人</td><td>1,561 人</td></tr> <tr><td>保護率</td><td>9.84 ‰</td><td>9.84 ‰</td><td>10.19 ‰</td><td>10.48 ‰</td><td>10.92 ‰</td></tr> </tbody> </table> <p>※保護率=被保護人員÷人口×1,000 (単位：‰=パーミル、千分率)</p> 2 就労支援対象者の就業率等 (総合計画実施計画の活動指標・成果指標) <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>就労支援対象者</td><td>69 人</td><td>81 人</td><td>79 人</td></tr> <tr><td>就労支援実施者</td><td>39 人</td><td>46 人</td><td>51 人</td></tr> <tr><td>就労支援実施率 (活動指標、目標50.0%)</td><td>56.5 %</td><td>56.8 %</td><td>64.6 %</td></tr> <tr><td>就業者数</td><td>14 人</td><td>11 人</td><td>29 人</td></tr> <tr><td>就労支援対象者の就業率 (成果指標、目標20.0%)</td><td>20.3 %</td><td>13.6 %</td><td>36.7 %</td></tr> </tbody> </table>						年度	H27	H28	H29	H30	R1	被保護世帯数	1,108 世帯	1,111 世帯	1,146 世帯	1,176 世帯	1,222 世帯	被保護人員	1,465 人	1,455 人	1,492 人	1,516 人	1,561 人	保護率	9.84 ‰	9.84 ‰	10.19 ‰	10.48 ‰	10.92 ‰	年度	H29	H30	R1	就労支援対象者	69 人	81 人	79 人	就労支援実施者	39 人	46 人	51 人	就労支援実施率 (活動指標、目標50.0%)	56.5 %	56.8 %	64.6 %	就業者数	14 人	11 人	29 人	就労支援対象者の就業率 (成果指標、目標20.0%)	20.3 %	13.6 %	36.7 %
年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																		
被保護世帯数	1,108 世帯	1,111 世帯	1,146 世帯	1,176 世帯	1,222 世帯																																																		
被保護人員	1,465 人	1,455 人	1,492 人	1,516 人	1,561 人																																																		
保護率	9.84 ‰	9.84 ‰	10.19 ‰	10.48 ‰	10.92 ‰																																																		
年度	H29	H30	R1																																																				
就労支援対象者	69 人	81 人	79 人																																																				
就労支援実施者	39 人	46 人	51 人																																																				
就労支援実施率 (活動指標、目標50.0%)	56.5 %	56.8 %	64.6 %																																																				
就業者数	14 人	11 人	29 人																																																				
就労支援対象者の就業率 (成果指標、目標20.0%)	20.3 %	13.6 %	36.7 %																																																				
成果に係る評価		生活保護制度は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障した憲法第25条の理念に基づく、社会保障制度における最後のセーフティネットとしての役割を果たしている。 本市の生活保護の動向は、平成23年の東日本大震災の影響により一時的に保護世帯数・人員ともに減少したが、平成24年度中には再び増加に転じ、以降、引き続き増加傾向で推移している。 今後、各種震災支援策の終了や新型コロナウイルスの感染拡大等、経済情勢や社会情勢の変化により新たに保護を必要とする市民が急激に増加することも見込まれることから、引き続き実施体制の整備を図り、また、生活困窮者自立支援事業等との連携により多層的なセーフティネットを構築し、生活に困窮している市民の最低限度の生活を確実に保障していく必要がある。																																																					
(単位：円)																																																							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
		2,360,524,000	2,318,867,258	1,843,093,328			475,773,930																																																

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																
	1 項	保健衛生費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																
	8 目	東日本大震災関係費		()		(2)	被災者の健康支援																																
実施計画掲載ページ	P186		中 事 業	被災者生活支援事業費																																			
事業コード	002-102-001-00363	事 業 名	心のケア事業																																				
目的及び事業内容	震災後に多く発症する、うつ病、孤独死、自殺などを予防するための事業を委託し、精神保健の予防、包括的な地域サポートを実施する。																																						
取組実績	<p>ストレスによって心の状態が悪化するのを防ぐために、専門機関に相談して孤立化を防ぐことを推進した。</p> <p>委託先：一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ(活動拠点：からころステーション)</p> <p>心のサポート拠点事業</p> <p>1 来所、訪問、電話による個別支援</p> <p>(1) 来所相談 延べ1,841件</p> <p>(2) 訪問 延べ2,486件</p> <p>(3) 電話相談 延べ3,233件 計 延べ7,560件</p> <p>令和元年度の相談は、診断がついていない方の相談件数が最も多い。</p> <p>2 イベント、講演会</p> <p>各地域での居場所づくりや、適正飲酒、ストレスと上手につき合うために、睡眠や認知症について等、要望に応じて地域や小集団で実施した。また、アルコール問題を抱える方を対象に回復プログラムを提供し開催した。(延べ78回 1,422人)</p> <p>3 相談会</p> <p>・健康に関する相談会を要望に応じて地域で実施した。(からころ相談会 延べ42回 589人)</p> <p>・ハローワークにおいてメンタルチェックを実施した。(延べ47回 491人)</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小して実施した。</p>																																						
成 果	<p>震災後の生活環境の変化等による不安、うつ病、不眠等の相談が続いている現状にある。また、復興住宅入居の経過とともに体調や心の状態が悪化している被災者に対し、家庭訪問、来所相談、電話相談等あらゆる手段で365日対応した。</p> <p>また、復興公営住宅集会所等においてイベントを実施したり、アルコールの問題を抱える方を対象に勉強会やサロンを開催するなど、イベントや講演会を充実させたことにより、被災者の心のケアの強化と被災者の孤立防止が図られた。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">評価指標</th> <th colspan="3">実績</th> <th rowspan="2">実績合計</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>相談件数</th> <th>来所相談</th> <th>家庭訪問</th> <th>電話相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>7,000件</td> <td>1,948件</td> <td>2,109件</td> <td>2,515件</td> <td>6,572件</td> <td>93.9%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7,000件</td> <td>1,749件</td> <td>2,198件</td> <td>2,789件</td> <td>6,736件</td> <td>96.2%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>7,000件</td> <td>1,841件</td> <td>2,486件</td> <td>3,233件</td> <td>7,560件</td> <td>108.0%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	評価指標	実績			実績合計	達成率	相談件数	来所相談	家庭訪問	電話相談	H29	7,000件	1,948件	2,109件	2,515件	6,572件	93.9%	H30	7,000件	1,749件	2,198件	2,789件	6,736件	96.2%	R1	7,000件	1,841件	2,486件	3,233件	7,560件	108.0%
年度	評価指標	実績			実績合計	達成率																																	
		相談件数	来所相談	家庭訪問			電話相談																																
H29	7,000件	1,948件	2,109件	2,515件	6,572件	93.9%																																	
H30	7,000件	1,749件	2,198件	2,789件	6,736件	96.2%																																	
R1	7,000件	1,841件	2,486件	3,233件	7,560件	108.0%																																	
成果に係る評価	<p>震災後、生活環境の変化等により、診断がついていないが心の問題を抱え支援が必要な方や、うつ病、不眠等で不安を抱えている被災者に対し、心のケア専門職により、365日、いつでも相談できる体制で相談者の要望に即座に対応した個別支援ができた。</p> <p>また、不登校やひきこもりの問題を抱えている方の居場所づくりとなるサロン活動やイベントを実施したことで、仲間づくりの場を提供し被災者の孤立化を防いだ。</p> <p>令和元年度は、行政、医療機関、地域包括支援センター、相談支援事業所、学校等様々な機関からのケースが紹介され、支援することが多かった。</p> <p>令和2年度で復興期間も終了することから、今後は震災前の地域での支援ができる体制に戻していくため、県に協力等を求めながら、関係機関との連携を強化する必要がある。</p>																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																						
予算額	46,984,000	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
		46,553,640	46,553,640																																				

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																																																																																																					
	1 項	保健衛生費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																																																																																																																					
	8 目	東日本大震災関係費		()		(2)	被災者の健康支援																																																																																																																																																					
実施計画掲載ページ	P186		中 事 業	被災者生活支援事業費																																																																																																																																																								
事業コード	002-102-003-00691	事 業 名	まちの保健室事業																																																																																																																																																									
目的及び事業内容	街なかの人が集まりやすい商業店舗を会場に、買い物ついでに気軽に相談や健康チェックができる場を定期的に設け、看護職による血管年齢や体脂肪、血圧等の測定及び健康相談を実施し、健康の悪化予防及び自立した健康的な生活への一助とすることを目的とする。																																																																																																																																																											
取組実績	<p>主に復興公営住宅や在宅被災者の集まりやすい会場として、蛇田(2か所)、万石浦、鹿妻、大街道の5か所、月5回(年間60回)の計画で実施している。</p> <p>1 委託先：宮城県看護協会</p> <p>2 実施内容：血管年齢測定・肌年齢測定・体脂肪測定・血圧測定等の健康チェック、健康相談、こころの相談等を実施し、継続相談者には健康手帳の配付を行った。</p> <p>3 実施場所：5か所 (イオンモール石巻月1回、イトーヨーカドーあけぼの店月1回、イオンパークセンター石巻東店月1回、ヨークベニマル大街道店月1回、ヨークベニマル鹿妻店月1回)</p> <p>4 実施回数：月5回 年55回</p> <p>5 スタッフ：コーディネーター(看護師)、相談員(保健師・看護師)、相談員補助</p>																																																																																																																																																											
成 果	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、3月の開催を中止している。利用者の被災者の割合が約7割となっている。また、新規利用者が約3割、定期的な利用が4割を超えており、定着してきている。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">開催回数</th> <th colspan="3">参加人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">延べ従事者数</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>月5回</td> <td>62回</td> <td>2,900人</td> <td>2,969人</td> <td>1,156人</td> <td>102.4%</td> <td>422人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月5回</td> <td>60回</td> <td>2,900人</td> <td>2,890人</td> <td>1,097人</td> <td>99.7%</td> <td>413人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>月5回</td> <td>55回</td> <td>3,000人</td> <td>2,253人</td> <td>906人</td> <td>75.1%</td> <td>373人</td> </tr> </tbody> </table> <p>内訳</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(1) イオンモール石巻</th> <th colspan="4">(4) ヨークベニマル鹿妻店</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>月2回</td> <td>24回</td> <td>1,783人</td> <td>623人</td> <td>H29</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>376人</td> <td>195人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>1,099人</td> <td>391人</td> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>342人</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>月1回</td> <td>11回</td> <td>806人</td> <td>316人</td> <td>R1</td> <td>月1回</td> <td>11回</td> <td>283人</td> <td>117人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(2) イオンスーパーセンター石巻東店</th> <th colspan="4">(5) イトヨーカドーあけぼの店</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>275人</td> <td>114人</td> <td>H29</td> <td>年</td> <td>2回</td> <td>69人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>238人</td> <td>97人</td> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>618人</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>月1回</td> <td>11回</td> <td>238人</td> <td>117人</td> <td>R1</td> <td>月1回</td> <td>11回</td> <td>476人</td> <td>213人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(3) ヨークベニマル大街道店</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>466人</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>593人</td> <td>190人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>月1回</td> <td>11回</td> <td>450人</td> <td>143人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	開催回数	参加人数			達成率	延べ従事者数	目標	延べ人数	実人数	H29	月5回	62回	2,900人	2,969人	1,156人	102.4%	422人	H30	月5回	60回	2,900人	2,890人	1,097人	99.7%	413人	R1	月5回	55回	3,000人	2,253人	906人	75.1%	373人	(1) イオンモール石巻				(4) ヨークベニマル鹿妻店				年度	開催回数	延べ人数	実人数	年度	開催回数	延べ人数	実人数	H29	月2回	24回	1,783人	623人	H29	月1回	12回	376人	195人	H30	月1回	12回	1,099人	391人	H30	月1回	12回	342人	144人	R1	月1回	11回	806人	316人	R1	月1回	11回	283人	117人	(2) イオンスーパーセンター石巻東店				(5) イトヨーカドーあけぼの店				年度	開催回数	延べ人数	実人数	年度	開催回数	延べ人数	実人数	H29	月1回	12回	275人	114人	H29	年	2回	69人	58人	H30	月1回	12回	238人	97人	H30	月1回	12回	618人	275人	R1	月1回	11回	238人	117人	R1	月1回	11回	476人	213人	(3) ヨークベニマル大街道店				年度	開催回数	延べ人数	実人数	H29	月1回	12回	466人	166人	H30	月1回	12回	593人	190人	R1	月1回	11回	450人	143人
年度	開催回数	参加人数			達成率	延べ従事者数																																																																																																																																																						
		目標	延べ人数	実人数																																																																																																																																																								
H29	月5回	62回	2,900人	2,969人	1,156人	102.4%	422人																																																																																																																																																					
H30	月5回	60回	2,900人	2,890人	1,097人	99.7%	413人																																																																																																																																																					
R1	月5回	55回	3,000人	2,253人	906人	75.1%	373人																																																																																																																																																					
(1) イオンモール石巻				(4) ヨークベニマル鹿妻店																																																																																																																																																								
年度	開催回数	延べ人数	実人数	年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																																					
H29	月2回	24回	1,783人	623人	H29	月1回	12回	376人	195人																																																																																																																																																			
H30	月1回	12回	1,099人	391人	H30	月1回	12回	342人	144人																																																																																																																																																			
R1	月1回	11回	806人	316人	R1	月1回	11回	283人	117人																																																																																																																																																			
(2) イオンスーパーセンター石巻東店				(5) イトヨーカドーあけぼの店																																																																																																																																																								
年度	開催回数	延べ人数	実人数	年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																																					
H29	月1回	12回	275人	114人	H29	年	2回	69人	58人																																																																																																																																																			
H30	月1回	12回	238人	97人	H30	月1回	12回	618人	275人																																																																																																																																																			
R1	月1回	11回	238人	117人	R1	月1回	11回	476人	213人																																																																																																																																																			
(3) ヨークベニマル大街道店																																																																																																																																																												
年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																																									
H29	月1回	12回	466人	166人																																																																																																																																																								
H30	月1回	12回	593人	190人																																																																																																																																																								
R1	月1回	11回	450人	143人																																																																																																																																																								
成果に係る評価	<p>開催場所を5か所で継続実施しているが、新型コロナウイルス感染防止のため3月に開催を中止した。また、開催日に雨天や台風などの悪天候のため例年よりも参加者が減少傾向にある。</p> <p>しかし、利用者の約3割が新規で新たに健康への関心を高める機会となっており、生活習慣の改善や健康づくりの取組を開始する人など、生活習慣病予防の成果が見られ、利用者の9割が継続実施を希望しており好評を得ている。</p> <p>さらに、利用者からは話ができる場としても好評で、心のケアを行う上でも効果的な事業となっており、身近に健康相談ができる場として定着している。</p>																																																																																																																																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																																																																											
予算額	12,083,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																						
		9,176,146	9,176,146																																																																																																																																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																		
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																																		
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																																																																		
実施計画掲載ページ		P181	中 事 業		東日本大震災援護費																																																																				
事業コード		002-101-001-00352	事 業 名		災害弔慰金・災害障害見舞金給付事業																																																																				
目的及び事業内容 自然災害により死亡された市民の遺族に対する災害弔慰金の支給を行い、また、自然災害により精神又は身体に著しい障害を受けた市民には災害障害見舞金の支給を行うことにより、市民の福祉及び生活の安定に資する。																																																																									
取 組 実 績 1 災害弔慰金支給件数及び金額 (1) 生計維持者 (500万円) 支給実績なし (2) その他 (250万円) 支給実績なし 2 災害障害見舞金支給件数及び金額 (1) 生計維持者 (250万円) 支給実績なし (2) その他 (125万円) 支給実績なし																																																																									
成 果 震災で死亡された方の遺族に対し弔意を示すとともに、市民の福祉・生活の安定に寄与することができた。 なお、令和元年度においては支給実績はない。 災害弔慰金支給状況 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>3,410 件</td><td>10,062,500,000 円</td></tr> <tr><td>H24</td><td>105 件</td><td>310,000,000 円</td></tr> <tr><td>H25</td><td>18 件</td><td>51,250,000 円</td></tr> <tr><td>H26</td><td>35 件</td><td>102,500,000 円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>21 件</td><td>57,500,000 円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>8 件</td><td>22,500,000 円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2 件</td><td>7,500,000 円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,599 件</td><td>10,613,750,000 円</td></tr> </tbody> </table> 災害障害見舞金支給状況 <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>4 件</td><td>7,500,000 円</td></tr> <tr><td>H24</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1 件</td><td>1,250,000 円</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1 件</td><td>1,250,000 円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>6 件</td><td>10,000,000 円</td></tr> </tbody> </table>								年度	件数	金額	H23	3,410 件	10,062,500,000 円	H24	105 件	310,000,000 円	H25	18 件	51,250,000 円	H26	35 件	102,500,000 円	H27	21 件	57,500,000 円	H28	8 件	22,500,000 円	H29	2 件	7,500,000 円	H30	0 件	0 円	R1	0 件	0 円	計	3,599 件	10,613,750,000 円	年度	件数	金額	H23	4 件	7,500,000 円	H24	0 件	0 円	H25	1 件	1,250,000 円	H26	1 件	1,250,000 円	H27	0 件	0 円	H28	0 件	0 円	H29	0 件	0 円	H30	0 件	0 円	R1	0 件	0 円	計	6 件	10,000,000 円
年度	件数	金額																																																																							
H23	3,410 件	10,062,500,000 円																																																																							
H24	105 件	310,000,000 円																																																																							
H25	18 件	51,250,000 円																																																																							
H26	35 件	102,500,000 円																																																																							
H27	21 件	57,500,000 円																																																																							
H28	8 件	22,500,000 円																																																																							
H29	2 件	7,500,000 円																																																																							
H30	0 件	0 円																																																																							
R1	0 件	0 円																																																																							
計	3,599 件	10,613,750,000 円																																																																							
年度	件数	金額																																																																							
H23	4 件	7,500,000 円																																																																							
H24	0 件	0 円																																																																							
H25	1 件	1,250,000 円																																																																							
H26	1 件	1,250,000 円																																																																							
H27	0 件	0 円																																																																							
H28	0 件	0 円																																																																							
H29	0 件	0 円																																																																							
H30	0 件	0 円																																																																							
R1	0 件	0 円																																																																							
計	6 件	10,000,000 円																																																																							
成果に係る評価 災害弔慰金の未支給者のうち、東日本大震災の被災により死亡された方の遺族の確認作業を完了している。 行方不明者については、今後死亡認定された際には直接死としての申請が見込まれる。 また、関連死に係る申請も見込まれるものの、カルテなどの法令上の保存年限 (5年) が経過しており、震災との関連を挙証することが困難となっている。 災害障害見舞金については、負傷又は疾病により精神や身体に著しい障害を受けた場合で、震災との因果関係がある場合を対象とするものであり、平成27年度から申請はない状況となっている。																																																																									
(単位: 円)																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
	187,000	0																																																																							

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	()																																																																									
	5 項	災害救助費				()																																																																									
	2 目	東日本大震災関係費				()																																																																									
実施計画掲載ページ			中 事 業		東日本大震災援護費																																																																										
事業コード			事 業 名		災害援護資金貸付事業																																																																										
目的及び事業内容 自然災害により被災を受けた地域における被災世帯の生活の早期立て直しを図るため、被害を受けた世帯を対象として災害援護資金の貸付を行う。																																																																															
取 組 実 績 1 貸付の対象 (1) 被災日 (平成23年3月11日) に、石巻市内に居住していた世帯 (2) 世帯主が震災で1か月以上の療養期間が必要な負傷を負った世帯又は住居・家財に著しい損害を受けた世帯 ※ 世帯の人数により所得制限がある。 2 貸付限度額 150万円～350万円 負傷の程度、損害の種類・程度で貸付限度額が変わる。 3 貸付条件 利 率 連帯保証人あり 無利子 連帯保証人なし 据置期間経過後 年1.5% 償還期間 13年 (据置期間を含む。) 据置期間 6年 (世帯主の死亡や住居が全壊など特別の事情がある場合は8年) 償還方法 月賦・半年賦・年賦 (元利均等償還・繰上償還可) 4 申請期間 平成23年5月11日から令和3年3月31日まで 5 災害援護資金貸付件数及び金額等 (1) 貸付件数 4件 (2) 貸付金総額 7,000,000円 (3) 平均貸付金額 1,750,000円/件																																																																															
成 果 災害援護資金貸付により、被災者の生活の安定や早期の再建に寄与することができた。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <caption>災害援護資金貸付状況</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23～H26</td><td>2,964 件</td><td>6,209,700,000 円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>42 件</td><td>96,278,000 円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>21 件</td><td>50,339,000 円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>22 件</td><td>41,600,000 円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8 件</td><td>17,100,000 円</td></tr> <tr><td>R1</td><td>4 件</td><td>7,000,000 円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,061 件</td><td>6,422,017,000 円</td></tr> </tbody> </table> 繰上償還状況 <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23～H26</td><td>127 件</td><td>175,902,117 円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>102 件</td><td>129,600,000 円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>170 件</td><td>191,851,430 円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>422 件</td><td>428,181,058 円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>381 件</td><td>264,434,382 円</td></tr> <tr><td>R1</td><td>256 件</td><td>139,394,454 円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,458 件</td><td>1,329,363,441 円</td></tr> </tbody> </table> 約定償還状況 (償還期限 平成29年7月18日～) <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>年度</th><th>件数</th><th>元金</th><th>利子</th><th>合計</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>2,199 件</td><td>55,606,885 円</td><td>3,864,991 円</td><td>59,471,876 円</td><td>平成30年3月31日</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8,124 件</td><td>329,824,489 円</td><td>19,339,972 円</td><td>349,164,461 円</td><td>平成31年3月31日</td></tr> <tr><td>R1</td><td>18,005 件</td><td>731,757,018 円</td><td>39,832,857 円</td><td>771,589,875 円</td><td>令和2年3月31日</td></tr> </tbody> </table>								年度	件数	金額	H23～H26	2,964 件	6,209,700,000 円	H27	42 件	96,278,000 円	H28	21 件	50,339,000 円	H29	22 件	41,600,000 円	H30	8 件	17,100,000 円	R1	4 件	7,000,000 円	合計	3,061 件	6,422,017,000 円	年度	件数	金額	H23～H26	127 件	175,902,117 円	H27	102 件	129,600,000 円	H28	170 件	191,851,430 円	H29	422 件	428,181,058 円	H30	381 件	264,434,382 円	R1	256 件	139,394,454 円	合計	1,458 件	1,329,363,441 円	年度	件数	元金	利子	合計	備考	H29	2,199 件	55,606,885 円	3,864,991 円	59,471,876 円	平成30年3月31日	H30	8,124 件	329,824,489 円	19,339,972 円	349,164,461 円	平成31年3月31日	R1	18,005 件	731,757,018 円	39,832,857 円	771,589,875 円	令和2年3月31日
年度	件数	金額																																																																													
H23～H26	2,964 件	6,209,700,000 円																																																																													
H27	42 件	96,278,000 円																																																																													
H28	21 件	50,339,000 円																																																																													
H29	22 件	41,600,000 円																																																																													
H30	8 件	17,100,000 円																																																																													
R1	4 件	7,000,000 円																																																																													
合計	3,061 件	6,422,017,000 円																																																																													
年度	件数	金額																																																																													
H23～H26	127 件	175,902,117 円																																																																													
H27	102 件	129,600,000 円																																																																													
H28	170 件	191,851,430 円																																																																													
H29	422 件	428,181,058 円																																																																													
H30	381 件	264,434,382 円																																																																													
R1	256 件	139,394,454 円																																																																													
合計	1,458 件	1,329,363,441 円																																																																													
年度	件数	元金	利子	合計	備考																																																																										
H29	2,199 件	55,606,885 円	3,864,991 円	59,471,876 円	平成30年3月31日																																																																										
H30	8,124 件	329,824,489 円	19,339,972 円	349,164,461 円	平成31年3月31日																																																																										
R1	18,005 件	731,757,018 円	39,832,857 円	771,589,875 円	令和2年3月31日																																																																										
成果に係る評価 平成23年度から令和元年度まで9ヶ年の貸付件数は3,061件であり、貸付金の利用目的は、住宅の建設・補修が約5割、家財の購入が約3割、その他が約2割となっている。令和元年度における4件の貸付金の利用目的は、住宅の建設・補修である。 貸付期間が令和2年度未まで延長されたことにより、今後も住宅再建等のための貸付が可能となったことから、本貸付制度が被災世帯の生活再建に寄与するものと思われる。 また、平成29年度より据置期間を満了したことによる償還が一部で開始となっているが、所得が一定額に満たない世帯の世帯主を対象としている制度であることから現在においても生活困窮の状況から抜け出せず償還困難な者が存在している。これにより、債権回収には相当の時間と事務経費を要すので、国への償還期限の延長や事務費の助成を、周辺自治体と共に国に要望している。																																																																															
(単位: 円)																																																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																									
	10,664,000	10,493,145																																																																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																	
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																	
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																																	
実施計画掲載ページ		P184	中 事 業	被災者生活支援事業費																																				
事業コード	002-101-004-00359	事 業 名	被災者生活支援事業																																					
目的及び事業内容	<p>応急仮設住宅等から復興公営住宅等の恒久住宅へ移転後も、様々な課題を抱える被災者に対する相談・生活支援を推進するとともに、被災者個々の孤立化防止のために新しい地域コミュニティを構築し、住民が地域内で課題を解決出来るよう地域力を高められるなど、「被災者支援総合交付金実施要綱」等に基づき、被災者生活支援事業を展開することにより、東日本大震災による被災者の生活支援を図るもの。</p> <p>1 被災者見守り・相談支援事業 2 被災者支援総合事業</p>																																							
取 組 実 績	<p>1 被災者見守り・相談支援事業 石巻市内の民生委員・児童委員協議会担当地区（16地区）に地域福祉コーディネーター、地域生活支援員等を配置し、地区内の復興公営住宅等の恒久住宅に移転した被災者への相談支援、見守り事業等を実施するとともに、地域コミュニティ支援活動を実施した。 (1) 復興公営住宅等生活相談支援事業</p> <p>2 被災者支援総合事業 様々な課題を抱えた被災者に対し、伴走する形で課題解決に取り組んだり、社会福祉士等の専門職による相談・生活支援事業等を実施した。 (1) 伴走型被災者支援事業 (2) 社会福祉士等相談支援事業</p> <p>3 その他 (1) 被災者情報提供システム保守事業</p>																																							
成 果	<p>東日本大震災により被災し、復興公営住宅等に再建した被災者に対する見守りや寄り添い支援、制度へのつなぎ、地域コミュニティ構築支援等を実施することにより、被災者の生活支援が図られた。</p> <p>復興公営住宅等生活相談支援事業</p> <table border="1"> <tr> <td>復興住宅訪問件数</td> <td>防集団地訪問件数</td> <td>応急仮設訪問件数</td> <td>地域活動参加人数</td> </tr> <tr> <td>28,136件</td> <td>1,982件</td> <td>42件</td> <td>41人</td> </tr> </table> <p>伴走型被災者支援事業</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>訪問</td> <td>電話</td> <td>不在等</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>応急仮設住宅退去後の被災者</td> <td>112件</td> <td>113件</td> <td>19件</td> <td>244件</td> </tr> <tr> <td>被災住宅に居住する被災者</td> <td>521件</td> <td>14件</td> <td>360件</td> <td>895件</td> </tr> </table> <p>社会福祉士等相談支援事業</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>訪問</td> <td>電話</td> <td>調整等</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>450件</td> <td>855件</td> <td>1,176件</td> <td>2,481件</td> </tr> </table>							復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	応急仮設訪問件数	地域活動参加人数	28,136件	1,982件	42件	41人		訪問	電話	不在等	合計	応急仮設住宅退去後の被災者	112件	113件	19件	244件	被災住宅に居住する被災者	521件	14件	360件	895件		訪問	電話	調整等	合計		450件	855件	1,176件	2,481件
復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	応急仮設訪問件数	地域活動参加人数																																					
28,136件	1,982件	42件	41人																																					
	訪問	電話	不在等	合計																																				
応急仮設住宅退去後の被災者	112件	113件	19件	244件																																				
被災住宅に居住する被災者	521件	14件	360件	895件																																				
	訪問	電話	調整等	合計																																				
	450件	855件	1,176件	2,481件																																				
成果に係る評価	<p>復興公営住宅等の恒久住宅に移転した被災者に対し、訪問等による見守り活動を行うことで、個々の課題の発見・対応に繋がった。また、新たな地域コミュニティ構築のための支援活動を行ったことにより、少しずつではあるが地域間での見守り体制が構築されてきている。 支援が必要な被災者のうち、専門職の対応を必要としない対象者に対しては「伴走型支援員」が、複合的な課題があり、専門職の対応を必要とする対象者に対しては「社会福祉士等の専門職」が支援を実施することで、被災者の自立再建に繋がった。</p>																																							
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	240,007,000	203,100,753	203,100,000			753																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																								
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																								
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																																								
実施計画掲載ページ		P176	中 事 業	応急仮設住宅管理費																																											
事業コード	002-101-004-00360	事 業 名	応急仮設住宅運営管理補助事業〔復興基金〕																																												
目的及び事業内容	<p>宮城県応急仮設住宅共同施設維持管理等補助金交付要綱に基づき、石巻市応急仮設住宅管理推進協議会を設置し、応急仮設住宅の適正な維持管理を図るもの。 協議会の所掌</p> <p>1 共同利用施設の維持管理 2 入居者の維持管理支援 3 防火安全対策・空き住戸の防犯措置 4 集会所・談話室の維持管理</p> <p>5 応急仮設住宅を適正に管理するための経費 (1) 浄化槽管理経費 (2) 解体時管理経費 (3) 応急仮設住宅間移転経費 など</p>																																														
取 組 実 績	<p>1 経常的経費・・・・・・・・全団地 (1) 共同利用施設の維持管理 ア 浄化槽・受水槽ポンプ、外灯等共用部分電気料 (2) 入居者の維持管理支援 ア 共同アンテナ用配線電柱共架料 イ 共用部環境整備 (3) その他 ア 個別住戸修繕、害虫駆除、支障木撤去</p> <p>2 義務的経費 解体時管理経費（原状復旧関係費・残地物処分費）・・仮設大橋団地ほか5団地</p> <p>3 団地集約化経費 応急仮設住宅間移転費・・・・仮設蛇田第1団地（1戸1世帯移転）</p> <p>応急仮設住宅管理状況等（令和2年3月末現在）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>本 庁</td> <td>河北総合支所</td> <td>雄勝総合支所</td> <td>河南総合支所</td> <td>桃生総合支所</td> <td>北上総合支所</td> <td>牡鹿総合支所</td> <td>合計</td> <td>解体済</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅</td> <td>1,244戸</td> <td>0戸</td> <td>56戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>1,300戸</td> <td>5,853戸</td> </tr> <tr> <td>仮設グループホーム</td> <td>32戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>32戸</td> <td>112戸</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,276戸</td> <td>0戸</td> <td>56戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>1,332戸</td> <td>5,965戸</td> </tr> </table>								本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計	解体済	仮設住宅	1,244戸	0戸	56戸	0戸	0戸	0戸	0戸	1,300戸	5,853戸	仮設グループホーム	32戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	32戸	112戸	計	1,276戸	0戸	56戸	0戸	0戸	0戸	0戸	1,332戸	5,965戸
	本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計	解体済																																						
仮設住宅	1,244戸	0戸	56戸	0戸	0戸	0戸	0戸	1,300戸	5,853戸																																						
仮設グループホーム	32戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	32戸	112戸																																						
計	1,276戸	0戸	56戸	0戸	0戸	0戸	0戸	1,332戸	5,965戸																																						
成 果	<p>県補助金を活用し、集会所の維持管理・敷地修繕・廃棄物処理を含め、応急仮設住宅の共同利用施設の適正な維持管理が図られた。 全ての団地で退去が完了しているため、順次県により解体工事が進められている。一部年度を跨ぐものやグラウンドの復旧工事が次年度となる団地があるものの、年度内に13団地の解体が完了し、原状復旧のうえ土地の返還を行った。</p>																																														
成果に係る評価	<p>応急仮設住宅については、特定延長制度のもとで供与期限が延長された世帯が入居している間の維持管理を行ってきたが、令和2年1月に最後の入居者が退去したことに伴い、維持管理業務は終了した。順次解体・復旧工事が進められていることから、解体・復旧業者との連絡調整を行うとともに、民間敷地の復旧工事も含め今年度内に応急仮設住宅の管理は終了する予定である。</p>																																														
(単位：円)																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	39,529,000	37,655,763			7,655,281	30,000,482																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																						
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																						
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																																																						
実施計画掲載ページ	P176		中 事 業	災害救助費																																																									
事業コード	002-101-004-00360	事 業 名	応急仮設住宅運営管理補助事業（仮設住宅コールセンター業務）																																																										
目的及び事業内容	災害救助法に基づき供与された応急仮設住宅及び共同利用施設について、迅速かつ適切な維持管理を図るため、コールセンターを設置することにより、入居者の利便性の向上を図る。																																																												
取組実績	<p>1 仮設住宅コールセンターの設置状況等</p> <p>(1) 委託期間：平成30年8月1日～令和元年7月31日 ※運用開始日：平成24年5月1日(火)</p> <p>(2) 電話受付時間：午前9時から午後5時まで（土日祝日を含む。2回線）</p> <p>(3) 現場対応時間：午前9時から午後5時まで</p> <p>(4) 現場対応体制：2チーム（1チーム2人1組）</p> <p>(5) 委託先：同和興業株式会社石巻営業所（同社内にコールセンター設置）</p> <p>(6) 対応内容等：仮設住宅等の不具合対応（小破修繕）、退去立会、受水槽・浄化槽の管理、害虫駆除等</p> <p>2 応急仮設住宅入居状況等（令和2年3月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本 庁</th> <th>河北総合支所</th> <th>雄勝総合支所</th> <th>河南総合支所</th> <th>桃生総合支所</th> <th>北上総合支所</th> <th>牡鹿総合支所</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工戸数</td> <td>4,174戸</td> <td>847戸</td> <td>161戸</td> <td>961戸</td> <td>331戸</td> <td>234戸</td> <td>445戸</td> <td>7,153戸</td> </tr> <tr> <td>解体済戸数</td> <td>2,930戸</td> <td>847戸</td> <td>105戸</td> <td>961戸</td> <td>331戸</td> <td>234戸</td> <td>445戸</td> <td>5,853戸</td> </tr> <tr> <td>入居戸数</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> </tr> <tr> <td>入居率</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>集会所等（プレハブ）</td> <td>9所</td> <td>3所</td> <td>1所</td> <td>1所</td> <td>0所</td> <td>0所</td> <td>0所</td> <td>14所</td> </tr> </tbody> </table>								本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合 計	着工戸数	4,174戸	847戸	161戸	961戸	331戸	234戸	445戸	7,153戸	解体済戸数	2,930戸	847戸	105戸	961戸	331戸	234戸	445戸	5,853戸	入居戸数	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	入居率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	集会所等（プレハブ）	9所	3所	1所	1所	0所	0所	0所	14所
		本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合 計																																																				
着工戸数	4,174戸	847戸	161戸	961戸	331戸	234戸	445戸	7,153戸																																																					
解体済戸数	2,930戸	847戸	105戸	961戸	331戸	234戸	445戸	5,853戸																																																					
入居戸数	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸																																																					
入居率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																					
集会所等（プレハブ）	9所	3所	1所	1所	0所	0所	0所	14所																																																					
成 果	<p>コールセンターを設置することにより、仮設住宅、共同利用施設の不具合について、迅速な現場対応、退去立会い・確認等、適正な維持管理が図られた。</p> <p>【依頼対応案件】</p> <p>（平成31年4月～令和元年7月）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0 件</th> <th>浄化槽、受水槽、排水関係</th> <th>5 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雨漏り、建付、鍵の不具合、網戸</td> <td>0 件</td> <td>浄化槽、受水槽、排水関係</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>カビの除去等</td> <td>0 件</td> <td>敷地内不具合（砂利、除草、外灯等）</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>スロープ・ステップ等建物関連</td> <td>0 件</td> <td>防虫、防鼠</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>照明器具・換気扇・アンテナ等不具合</td> <td>4 件</td> <td>その他（苦情、問い合わせ対応等）</td> <td>73 件</td> </tr> <tr> <td>給湯器、電化製品の不具合</td> <td>1 件</td> <td>絶対対応件数</td> <td>84 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【退去立会い対応案件】</p> <p>予約電話受付件数・・・20件 立会い実施件数・・・20件</p> <p>仮設住宅不具合の一次対応や退去立会いを行ってきたコールセンター業務については、プレハブ応急仮設住宅の入居率が昨年度末時点で1%を切ったため、令和元年7月末をもって閉鎖し、一部継続する退去立会いの業務は直営で行うこととした。</p> <p>令和2年1月に最後の入居者が退去し、プレハブ仮設住宅は解消となったため本事業は終了となったが、これまで仮設入居者に対する迅速な対応を行うことにより、仮設住宅の適正な維持管理が図られ、事業の目的は達成された。</p>								0 件	浄化槽、受水槽、排水関係	5 件	雨漏り、建付、鍵の不具合、網戸	0 件	浄化槽、受水槽、排水関係	5 件	カビの除去等	0 件	敷地内不具合（砂利、除草、外灯等）	1 件	スロープ・ステップ等建物関連	0 件	防虫、防鼠	0 件	照明器具・換気扇・アンテナ等不具合	4 件	その他（苦情、問い合わせ対応等）	73 件	給湯器、電化製品の不具合	1 件	絶対対応件数	84 件																														
	0 件	浄化槽、受水槽、排水関係	5 件																																																										
雨漏り、建付、鍵の不具合、網戸	0 件	浄化槽、受水槽、排水関係	5 件																																																										
カビの除去等	0 件	敷地内不具合（砂利、除草、外灯等）	1 件																																																										
スロープ・ステップ等建物関連	0 件	防虫、防鼠	0 件																																																										
照明器具・換気扇・アンテナ等不具合	4 件	その他（苦情、問い合わせ対応等）	73 件																																																										
給湯器、電化製品の不具合	1 件	絶対対応件数	84 件																																																										
予算の執行状況	（単位：円）																																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
		21,600,000	21,600,000	21,600,000																																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																	
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																	
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																																																	
実施計画掲載ページ	P188		中 事 業	被災者住宅再建補助事業費																																																				
事業コード	002-201-004-00683	事 業 名	被災者住宅再建支援事業【復興基金】																																																					
目的及び事業内容	東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため、被災住宅の再建を行う被災者に対し、住宅再建資金の一部を補助することにより、被災者の負担軽減を図り、本市への定住促進を促す。また、災害危険区域の指定日（平成24年12月1日）前に移転した被災者に対し、国の制度である「がけ地近接等危険住宅移転事業」と同等の支援を行なうことにより、被災者支援の格差の解消を図る。																																																							
取組実績	<p>1 東日本大震災被災者住宅再建事業補助金</p> <p>(1) 建設・購入</p> <p>ア 利子補給補助 上限額 444万円</p> <p>イ 取得費用補助 上限額 250万円</p> <p>ウ かさ上げ工事等 上限額 100万円（工事費用の1/1）</p> <p>(2) 補修</p> <p>ア 利子補給補助 上限額 150万円</p> <p>イ 補修費用補助 上限額 100万円（生活再建支援金の加算支援金を控除した金額の1/1）</p> <p>2 東日本大震災被災者危険住宅移転事業補助金</p> <p>(1) 住宅・土地取得等 上限額 786万円</p> <p>3 補助金交付件数及び交付金額</p> <p>(1) 被災者住宅再建事業補助金 交付件数 808件 交付金額 2,122,974,000円</p> <p>(2) 被災者危険住宅移転事業補助金 交付件数 0件 交付金額 0円</p>																																																							
	成 果	<p>住宅の建設・購入に係る費用を一部補助することにより、被災者の住宅再建を促進するとともに住宅再建制度における支援格差の解消に寄与した。</p> <p>被災者住宅再建補助事業 補助金交付件数及び金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">住宅再建事業</th> <th colspan="2">危険住宅移転事業</th> </tr> <tr> <th>実績件数</th> <th>金額</th> <th>実績件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>5,848 件</td> <td>7,794,672,000 円</td> <td>200 件</td> <td>894,415,000 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,650 件</td> <td>3,118,689,000 円</td> <td>25 件</td> <td>100,384,000 円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,284 件</td> <td>6,546,320,000 円</td> <td>5 件</td> <td>29,570,000 円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>959 件</td> <td>2,507,095,000 円</td> <td>2 件</td> <td>3,752,000 円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>934 件</td> <td>2,606,637,000 円</td> <td>1 件</td> <td>1,665,000 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,126 件</td> <td>2,716,660,000 円</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>808 件</td> <td>2,122,974,000 円</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,609 件</td> <td>27,413,047,000 円</td> <td>233 件</td> <td>1,029,786,000 円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業		実績件数	金額	実績件数	金額	H25	5,848 件	7,794,672,000 円	200 件	894,415,000 円	H26	1,650 件	3,118,689,000 円	25 件	100,384,000 円	H27	1,284 件	6,546,320,000 円	5 件	29,570,000 円	H28	959 件	2,507,095,000 円	2 件	3,752,000 円	H29	934 件	2,606,637,000 円	1 件	1,665,000 円	H30	1,126 件	2,716,660,000 円	0 件	0 円	R1	808 件	2,122,974,000 円	0 件	0 円	計	12,609 件	27,413,047,000 円	233 件
年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業																																																					
	実績件数	金額	実績件数	金額																																																				
H25	5,848 件	7,794,672,000 円	200 件	894,415,000 円																																																				
H26	1,650 件	3,118,689,000 円	25 件	100,384,000 円																																																				
H27	1,284 件	6,546,320,000 円	5 件	29,570,000 円																																																				
H28	959 件	2,507,095,000 円	2 件	3,752,000 円																																																				
H29	934 件	2,606,637,000 円	1 件	1,665,000 円																																																				
H30	1,126 件	2,716,660,000 円	0 件	0 円																																																				
R1	808 件	2,122,974,000 円	0 件	0 円																																																				
計	12,609 件	27,413,047,000 円	233 件	1,029,786,000 円																																																				
成果に係る評価	<p>本事業は、被災者の住宅再建及び国の制度との支援格差の解消に寄与してきたものである。また、本事業を含む補助金の対象世帯に対するアウトリーチとして、住まいの再建状況調査を平成30年度より継続して行ったことにより対象者に対し十分な周知が図られた。今後においては、令和2年度の事業終了に向け適切に補助金を交付するとともに、事業終了時期を含めた制度の周知を図る必要がある。</p>																																																							
予算の執行状況	（単位：円）																																																							
予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
		2,154,776,000	2,154,768,896	31,392,000						2,122,974,000	402,896																																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																														
	5 項	災害救助費				(2)	住まいの再建																																																														
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	恒久住宅の復旧・復興																																																														
実施計画掲載ページ		P181	中 事 業		復興公営住宅等移転支援事業費																																																																
事業コード		002-201-004-00927	事 業 名		復興公営住宅等移転支援事業〔復興基金〕																																																																
目的及び事業内容 東日本大震災により自ら居住していた住宅に被害を受けた者が応急仮設住宅等（みなし仮設住宅を含む）の応急一時的な住まいから復興公営住宅、民間賃貸住宅等の恒久的な住まいへの移転（市内での転居又は市外からの転入に限る。）を促し、応急仮設住宅の早期解消と被災者の再建を推進することを目的とし、応急仮設住宅等（みなし仮設住宅を含む）から市内の復興公営住宅、民間賃貸住宅等へ移転（引越し）をし、応急仮設住宅等の退去（明渡し）の手続きが完了した場合に補助金（上限額10万円）を交付する。																																																																					
取 組 実 績 1 支給概要 平成26年7月より、応急仮設住宅の早期解消と被災者の再建を推進することを目的として「復興公営住宅等移転補助金」の事業を実施している。 制度開始時は平成29年度で事業終了予定であったが、転居者の動向から平成30年度、令和元年度と2度延長を行った。 2 支給実績 支給件数 58件 支給額 5,395,000円																																																																					
成 果 令和元年度は、実績件数が見込め大きく下回ったものの、応急仮設住宅からの退去費用の負担軽減が図られ、復興公営住宅への円滑な移転を進めることができた。 補助金交付状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">浸水区域内</th> <th colspan="2">浸水区域外</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>125件</td> <td>12,500,000円</td> <td>5件</td> <td>500,000円</td> <td>130件</td> <td>13,000,000円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>860件</td> <td>82,887,000円</td> <td>24件</td> <td>2,276,000円</td> <td>884件</td> <td>85,163,000円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>981件</td> <td>95,088,000円</td> <td>23件</td> <td>2,214,000円</td> <td>1,004件</td> <td>97,302,000円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>469件</td> <td>46,093,000円</td> <td>17件</td> <td>1,655,000円</td> <td>486件</td> <td>47,748,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>358件</td> <td>33,929,000円</td> <td>8件</td> <td>800,000円</td> <td>366件</td> <td>34,729,000円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>57件</td> <td>5,295,000円</td> <td>1件</td> <td>100,000円</td> <td>58件</td> <td>5,395,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,850件</td> <td>275,792,000円</td> <td>78件</td> <td>7,545,000円</td> <td>2,928件</td> <td>283,337,000円</td> </tr> </tbody> </table>								年度	浸水区域内		浸水区域外		計		件数	金額	件数	金額	件数	金額	H26	125件	12,500,000円	5件	500,000円	130件	13,000,000円	H27	860件	82,887,000円	24件	2,276,000円	884件	85,163,000円	H28	981件	95,088,000円	23件	2,214,000円	1,004件	97,302,000円	H29	469件	46,093,000円	17件	1,655,000円	486件	47,748,000円	H30	358件	33,929,000円	8件	800,000円	366件	34,729,000円	R1	57件	5,295,000円	1件	100,000円	58件	5,395,000円	合計	2,850件	275,792,000円	78件	7,545,000円	2,928件	283,337,000円
年度	浸水区域内		浸水区域外		計																																																																
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																															
H26	125件	12,500,000円	5件	500,000円	130件	13,000,000円																																																															
H27	860件	82,887,000円	24件	2,276,000円	884件	85,163,000円																																																															
H28	981件	95,088,000円	23件	2,214,000円	1,004件	97,302,000円																																																															
H29	469件	46,093,000円	17件	1,655,000円	486件	47,748,000円																																																															
H30	358件	33,929,000円	8件	800,000円	366件	34,729,000円																																																															
R1	57件	5,295,000円	1件	100,000円	58件	5,395,000円																																																															
合計	2,850件	275,792,000円	78件	7,545,000円	2,928件	283,337,000円																																																															
成果に係る評価 仮設住宅から復興公営住宅への転居を支援するものであり、仮設住宅の解消に寄与した。 令和2年1月に全てのプレハブ仮設入居者の移転が完了し、本事業の目的を達成したとして令和元年度をもって事業を終了した。																																																																					
（単位：円）																																																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																
	5,403,000		5,397,952		国（県）支出金	地方債	その他 一般財源																																																														
						5,395,000	2,952																																																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	()																			
	5 項	災害救助費				()																			
	2 目	東日本大震災関係費				()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業		津波浸水区域被災住宅支援事業費																				
事業コード			事 業 名		津波浸水区域被災住宅小規模補修費補助金交付事業〔復興基金〕																				
目的及び事業内容 東日本大震災により被災した住宅を100万円以内で小規模な補修を行う被災者に対し、石巻市津波浸水区域被災住宅小規模補修補助金（50万円を上限（応急修理制度未利用者76万円を上限））を交付することにより、住宅の補修が未完了である被災者の負担軽減を図るもの。																									
取 組 実 績 市報やホームページ等による周知を行うとともに、未申請である対象世帯を個別訪問し、制度説明と利用の意向調査を行った。 1 補助額 応急修理制度利用済みの場合：最大50万円まで（応急修理制度未利用の場合：76万円まで） 2 交付要件（下記の全てを満たすこと） ・被災者生活再建支援制度「加算支援金（加算）」を受給していること。 ・被災者住宅再建事業補助金の交付を受けていないこと。 ・補修規模は100万円以内であること。 ・被災場所は「津波浸水区域」で、り災判定は「全壊」または「大規模半壊」であること。 ・市税等を完納、または分納誓約履行中であること。 ・暴力団員ではない。暴力団員でなくなった日から5年を経過していること。 ・契約先は、石巻地元工務店協同組合加盟・宮城県電機商業組合石巻支部加盟（石巻市内）又は石巻市の登録業者（市内）であること。																									
成 果 補助金の交付範囲であれば自己負担なく住まいの修繕が行えることから、被災者の資力に関係なくの住環境の改善に寄与した。 また、制度の周知を丁寧に行った結果、他の補助金（住宅再建事業補助金）の交付件数が増加するなどの相乗効果が見られた。 補助金交付の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">申請受付</th> <th colspan="2">交付決定</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>617件</td> <td>617件</td> <td>320,964,688円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>251件</td> <td>251件</td> <td>130,330,231円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>868件</td> <td>868件</td> <td>451,294,919円</td> </tr> </tbody> </table> うち 1件 500,000円は繰越明許								年度	申請受付	交付決定		件数	金額	H30	617件	617件	320,964,688円	R1	251件	251件	130,330,231円	計	868件	868件	451,294,919円
年度	申請受付	交付決定																							
		件数	金額																						
H30	617件	617件	320,964,688円																						
R1	251件	251件	130,330,231円																						
計	868件	868件	451,294,919円																						
成果に係る評価 平成30年度、令和元年度の2年間の事業であったが、これまで工事資金を捻出出来ずに住環境の改善が図れなかった被災世帯の住宅再建に寄与した。 また、平成30年度から継続的に未申請者に対して戸別訪問を行い、現状把握と利用勧奨を実施したことにより、対象者に対し十分な周知が図られた。																									
（単位：円）																									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																				
	130,651,000		130,065,511		国（県）支出金	地方債	その他 一般財源																		
						129,830,231	235,280																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																											
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																											
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																											
実施計画掲載ページ		P184	中 事 業		被災者生活支援事業費																													
事業コード		002-101-004-01249	事 業 名		応急仮設住宅から復興公営住宅等への移行に伴う孤立防止事業																													
目的及び事業内容		<p>蛇田地区の復興公営住宅等において、「孤立を生まない地域づくり事業」を行い、住民同士の支え合いで孤立や閉じこもりを防ぐコミュニティづくりを支援する。</p> <p>※「孤立を生まない地域づくり事業」の3つの取組</p> <p>①移動サロンを通じて生活相談に応じたり、社会参加を促す「つながりづくりの場」</p> <p>②支え合う地域づくりの大切さを学び合う「学びの場」</p> <p>③生活に課題を抱えている「支援が必要な人への支援」</p>																																
取組実績		<p>・「孤立を生まない地域づくり事業」の委託先 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（石巻・蛇田のより処まざらいん）</p> <p>1 つながりづくりの場 ・移動サロンの開催 住民相互の交流の場となるお茶会、健康クイズ、体操、調理活動等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>133 回</td> <td>1,223 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>143 回</td> <td>1,327 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学びの場 ・勉強会の開催 住民を対象とした地域づくりや支え合いに関する講話等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>4 回</td> <td>56 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4 回</td> <td>114 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・広報紙の発行 蛇田地区の各復興公営住宅、各種支援機関等に対し、住民の活動状況を掲載した広報誌を偶数月に2,000部発行した。</p> <p>3 支援が必要な人への支援 体調不良や持病により閉じこもりがちな住民宅への個別の定期訪問を実施し、必要に応じ各種支援機関に取り次ぐ対応を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>見守り対象</th> <th>うち随時訪問</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>15 世帯</td> <td>8 世帯</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22 世帯</td> <td>8 世帯</td> </tr> </tbody> </table>						年度	開催回数	延べ参加人数	H30	133 回	1,223 人	R1	143 回	1,327 人	年度	開催回数	延べ参加人数	H30	4 回	56 人	R1	4 回	114 人	年度	見守り対象	うち随時訪問	H30	15 世帯	8 世帯	R1	22 世帯	8 世帯
年度	開催回数	延べ参加人数																																
H30	133 回	1,223 人																																
R1	143 回	1,327 人																																
年度	開催回数	延べ参加人数																																
H30	4 回	56 人																																
R1	4 回	114 人																																
年度	見守り対象	うち随時訪問																																
H30	15 世帯	8 世帯																																
R1	22 世帯	8 世帯																																
成 果		<p>「つながりづくりの場」の参加人数は延べ1,327人で、顔の見える関係づくりに寄与できた。中には、参加者の気づきから、孤立していた高齢者を支援につなぐことができたケースもあった。</p> <p>また、一部ではあるが、高齢者同士で、お互いに支え合って暮らしていこうという意識の高まりが見えた復興公営住宅があった。</p>																																
成果に係る評価		<p>サロン活動や勉強会を継続的に開催することを通して、住民の閉じこもり防止につながり、また住民同士の支え合い活動のための基盤を整備することができた。</p> <p>本事業については、応急仮設住宅から復興公営住宅に移行する期間における孤立を防止するという観点から事業を実施してきたが、今後は復興公営住宅に留まらず、高齢化が進む公営住宅全体の課題として取り組む必要がある。</p> <p>今後は、公営住宅に係る関係部署と連携し、既存の枠組みを活用しながら、住民の孤立防止を図る必要がある。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																															
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	30,854,120	27,559,710	27,559,710																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																				
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																				
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																				
実施計画掲載ページ		P183	中 事 業		被災者生活支援事業費																						
事業コード		002-101-004-01177	事 業 名		支え合い活動支援事業																						
目的及び事業内容		<p>復興公営住宅等において継続的な見守りや地域での「顔の見える関係づくり」を進めるため、各種のサロン活動団体実践する小地域福祉活動を推進し、地域コミュニティの構築を図る。</p>																									
取組実績		<p>1 事業委託先：石巻市社会福祉協議会</p> <p>(1) 委託料：2,857,229円</p> <p>(2) 補助金：@30,000円×165団体=4,950,000円 (※年間上限：30,000円、助成期間：最長4年間) ：@28,741円、@12,100円、@20,929円=61,770円 (※上限額未滿3団体)</p> <p>交付金合計 5,011,770円 総合計(1)+(2) 7,868,999円</p> <p>サロン活動を実施する目的や、他のサロン活動支援事業の利用状況について調査を行うため、各サロン活動団体の代表者へアンケート調査を行った。</p>																									
成 果		<p>令和元年度は、前年度から17件増加し168団体から補助金の交付申請があった。各団体代表者へのアンケート調査の結果、申請団体のうち73.2%が住民交流促進を目的として活動を行っており、サロン活動を通じて小規模の地域コミュニティが形成され、地域での孤立や引きこもりのリスク軽減に繋がっている。</p> <p>(※平成28年度から事業開始)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付団体数</th> <th>補助金金額</th> <th>業務委託料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>82件</td> <td>2,460,000円</td> <td>2,556,360円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>111件</td> <td>3,330,000円</td> <td>3,380,400円</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>151件</td> <td>4,509,021円</td> <td>3,308,150円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>168件</td> <td>5,011,770円</td> <td>2,857,229円</td> </tr> </tbody> </table>							交付団体数	補助金金額	業務委託料	H28	82件	2,460,000円	2,556,360円	H29	111件	3,330,000円	3,380,400円	H31	151件	4,509,021円	3,308,150円	R1	168件	5,011,770円	2,857,229円
	交付団体数	補助金金額	業務委託料																								
H28	82件	2,460,000円	2,556,360円																								
H29	111件	3,330,000円	3,380,400円																								
H31	151件	4,509,021円	3,308,150円																								
R1	168件	5,011,770円	2,857,229円																								
成果に係る評価		<p>健康増進や生きがいがいづくり等のサロン活動を通じた小地域コミュニティ構築を図るため、サロン活動の継続を支援する事業を引き続き行う必要があるが、支え合い活動支援事業の新規受付については令和2年度で終了となることから、今後の新規団体等への支援について、石巻市社会福祉協議会と同様の制度を実施している関係課と調整を含めた支援方法の見直しが必要である。</p> <p>また、既存のサロン活動団体については、地域福祉コーディネーターと連携し、自立的な活動が可能になるよう支援していく必要がある。</p>																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																								
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	8,319,000	7,868,999	7,868,999																								